

## Ⅹ テーマ別分析

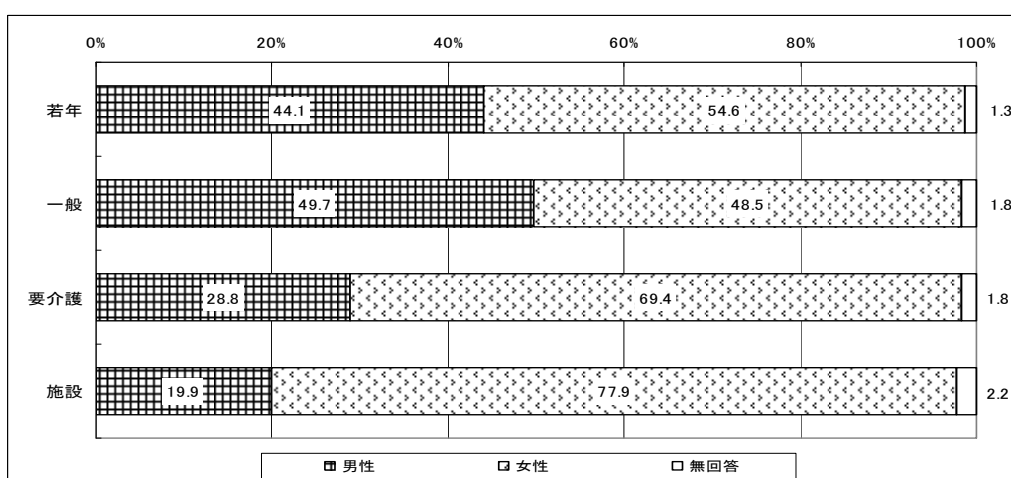
### 1. 若年者、一般高齢者、要介護者、施設入所者の比較

#### (1) 対象者の属性

##### ① 性別

対象者の性別は、一般高齢者は男女比がほぼ同割合であるのに対し、要介護者、施設入所者ともに女性の割合が高くなっており、要介護者で女性が約 70%、施設入所者で約 78%となっています。

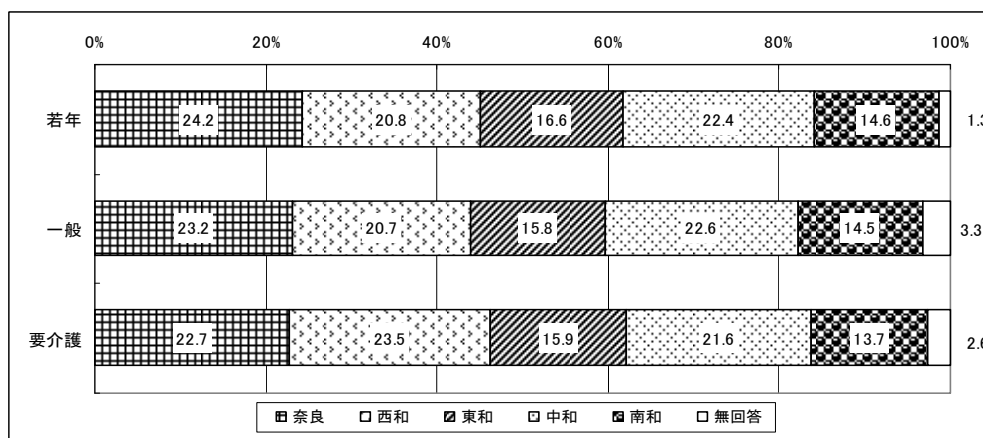
図表 448 性別



##### ② 圏域

若年者、一般高齢者、要介護者ともに圏域の割合がほぼ同じとなっていますが、要介護者については、「西和」の割合が他に比べてやや高くなっています。

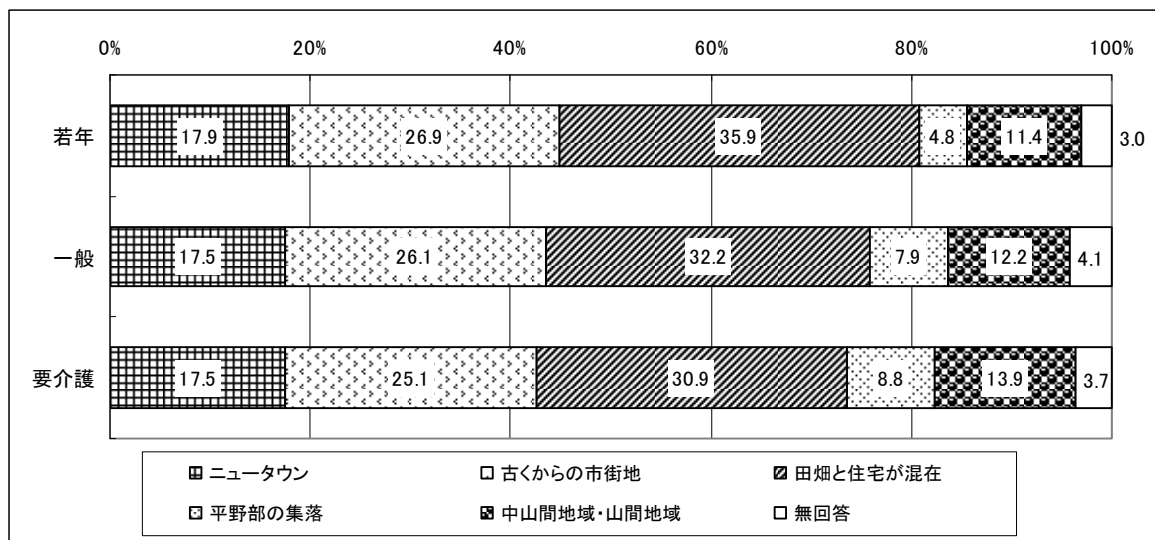
図表 449 圏域



### ③居住地域の特徴

居住地域の特徴については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに大きな違いはみられないものの、若年者では「田畑と住宅が混在」の割合が、要介護者では「中山間地域・山間地域」の割合が他に比べてやや高くなっています。

図表 450 居住地域の特徴

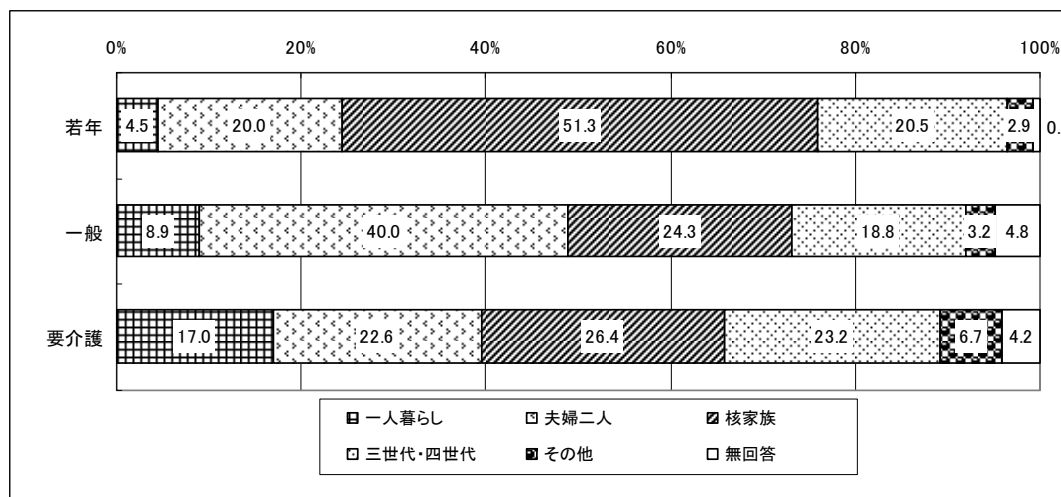


### ④家族構成

家族構成については、若年者は「核家族」が半数を占めています。一方、一般高齢者では「夫婦二人暮らし」が40%、「一人暮らし」が約9%で、概ね高齢者のみの世帯が半数近くとなっています。要介護者も「夫婦二人暮らし」が約23%、「一人暮らし」が17%と、約40%が概ね高齢者のみの世帯となっています。

世帯の平均人員は、若年者が3.42人、一般高齢者が2.87人、要介護者が2.96人となっており、若年者は「核家族」の割合が高いこともあり、やや家族人員数が多くなっています。

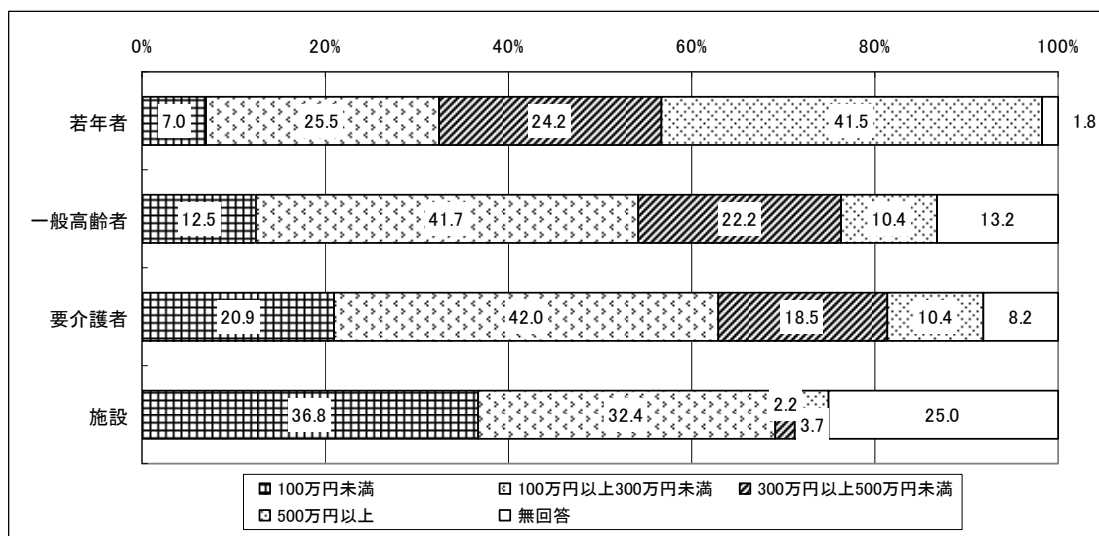
図表 451 家族構成



### ⑤世帯の収入状況

世帯の収入状況については、一般高齢者、要介護者では「100万円以上300万円未満」がそれぞれ約42%と最も高く、「100万円未満」を含めると、「300万円未満」の世帯は一般高齢者が約54%、要介護者が約63%を占めています。また、施設入所者では「100万円未満」が約37%と最も高くなっています。一方、若年者は「500万円以上」の割合が約42%と最も高くなっています。

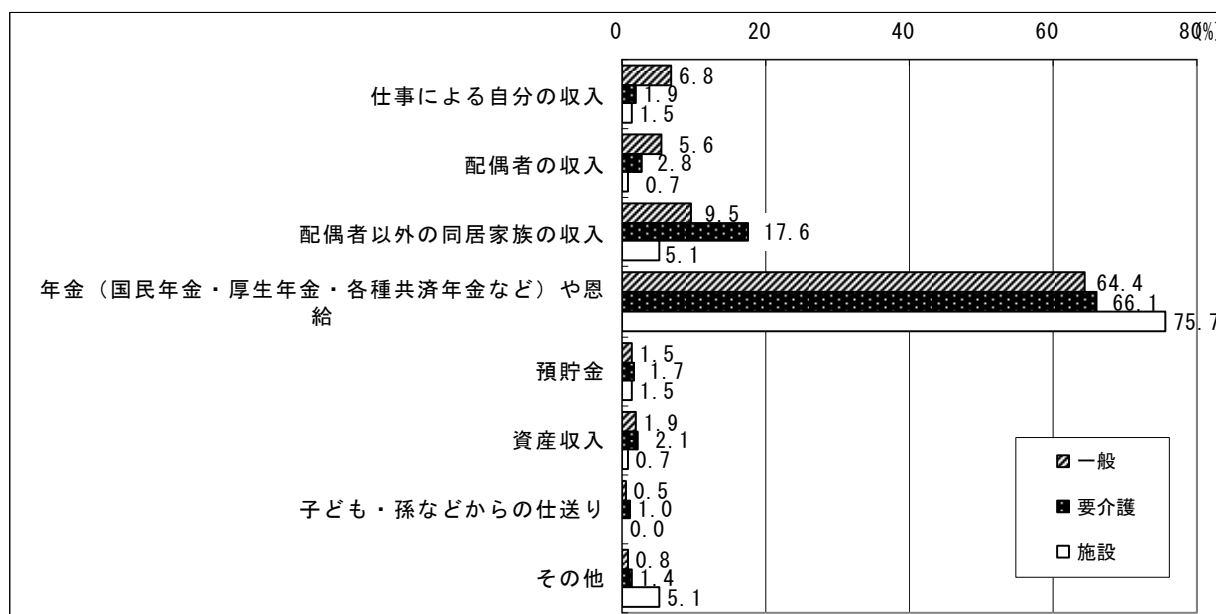
図表 452 世帯の収入状況



### ⑥世帯の収入源

世帯収入源については、一般高齢者、要介護者、施設入所者ともに「年金（国民年金・厚生年金・各種共済年金など）や恩給」とする人の割合が最も高くなっています。

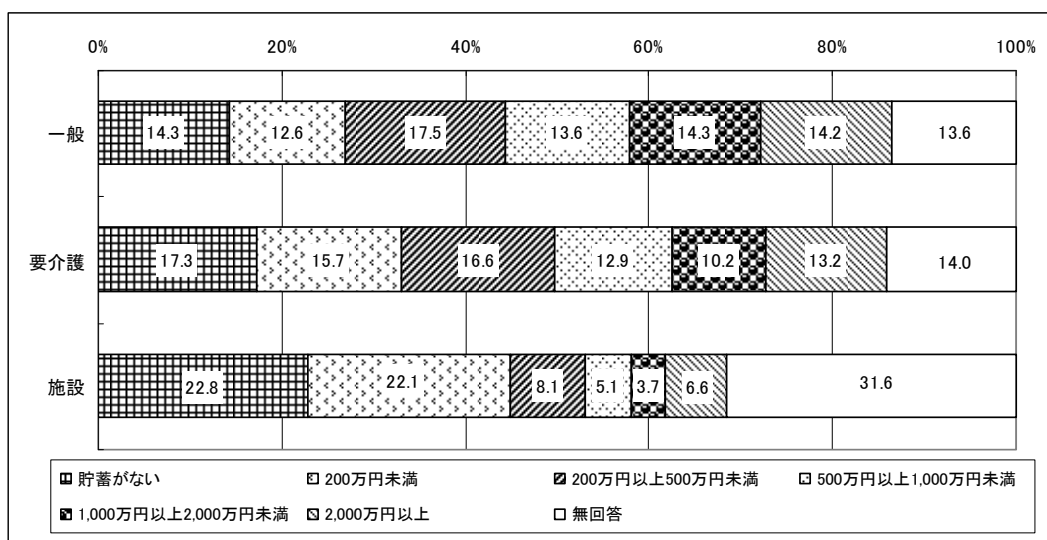
図表 453 世帯の収入源



## ⑦世帯の貯蓄額

世帯の貯蓄額については、一般高齢者と要介護者では、貯蓄額の層はほぼ同じような割合となっていますが、要介護者の方が一般高齢者よりやや貯蓄額が低い層の割合が高くなっています。一方、施設入所者では、「貯蓄がない」、「200万円未満」といった200万円未満が全体の約45%います。

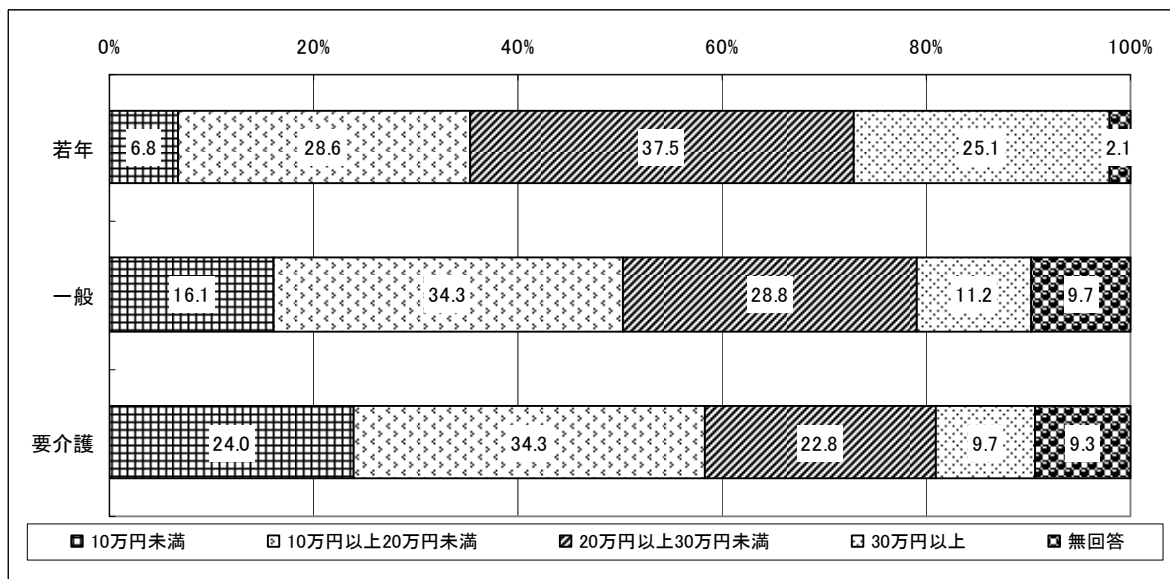
図表 454 世帯の貯蓄額



## ⑧世帯の1か月の生活費

世帯の1か月の生活費については、若年者は「20万円以上30万円未満」、一般高齢者、要介護者は「10万円以上20万円未満」の割合が最も高くなっていますが、次いで高いのは、若年者では「10万円以上20万円未満」の割合が、一般高齢者、「20万円以上30万円未満」、要介護者は「10万円未満」となっています。

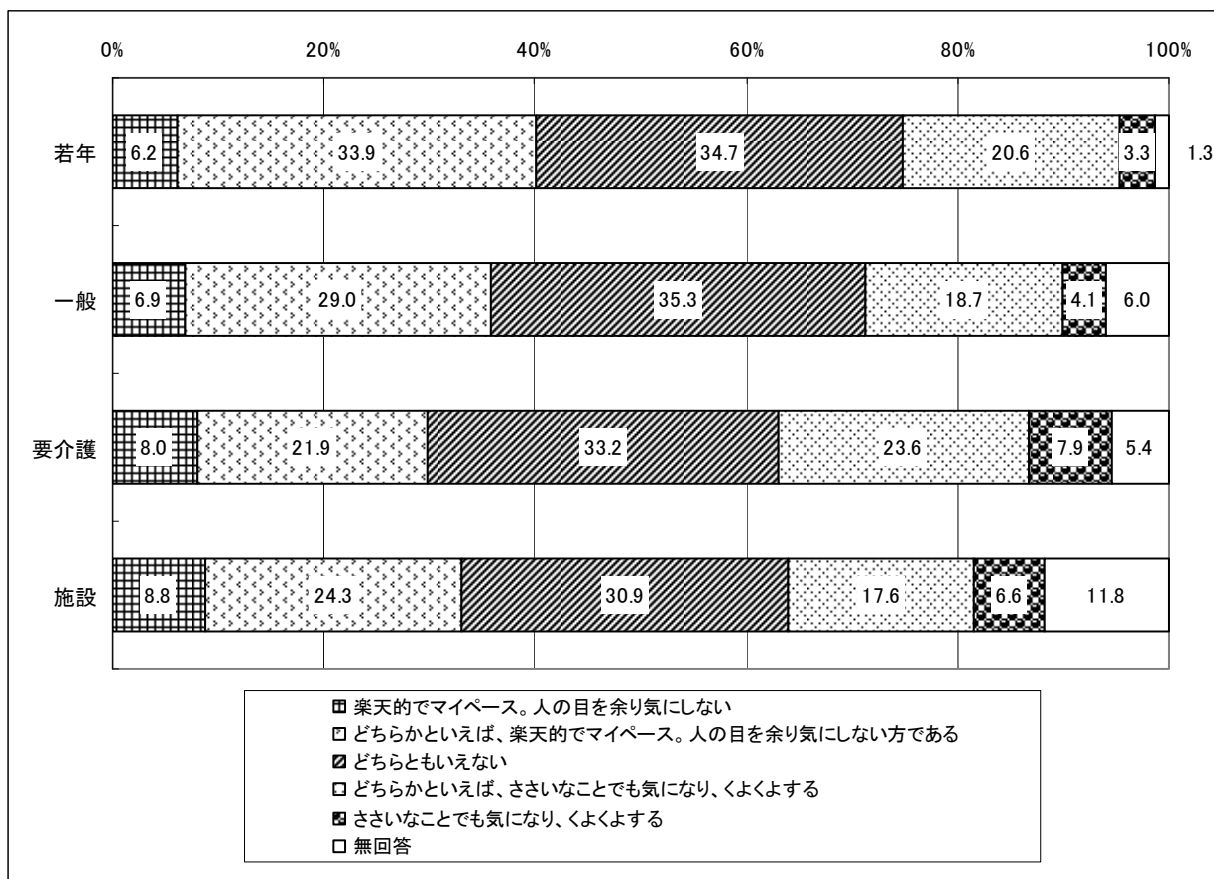
図表 455 世帯の1か月の生活費



### ⑨自分の性格

自分の性格については、概ね 30～40%が比較的楽天的でマイペースとしており、特に若年者が高くなっています。一方、比較的くよくよする人が概ね 23～32%おり、特に要介護者が高くなっています。

図表 456 自分の性格

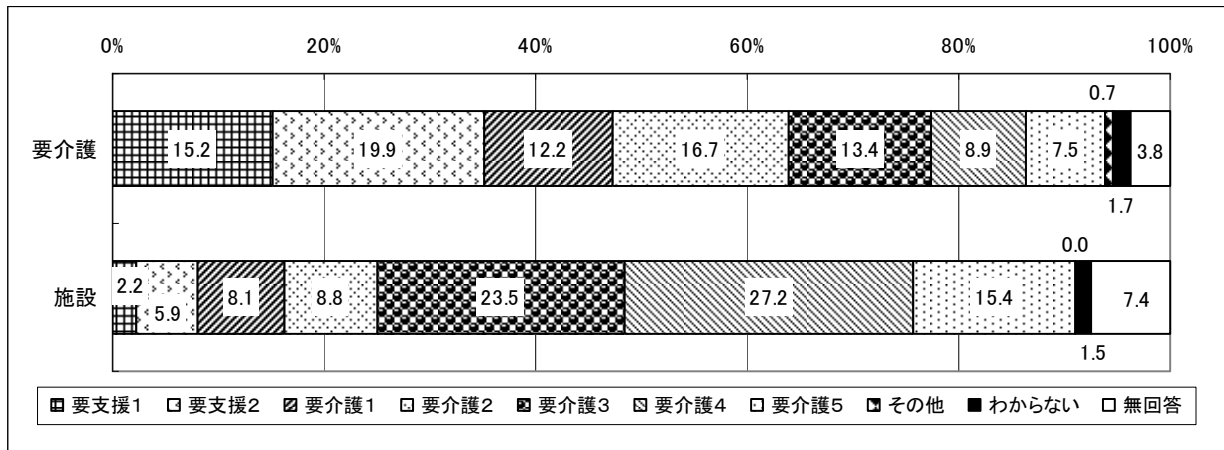


## (2) 心身の状況

### ① 要介護度

現在の介護状態については、要介護者では、「要支援1、2」、「要介護1」といった比較的軽度者が約半数を占めているのに対し、施設入所者では「要介護4、5」といった重度者が約43%、「要介護2、3」といった中度者が約32%となっており、施設入所者での重度化がうかがえます。

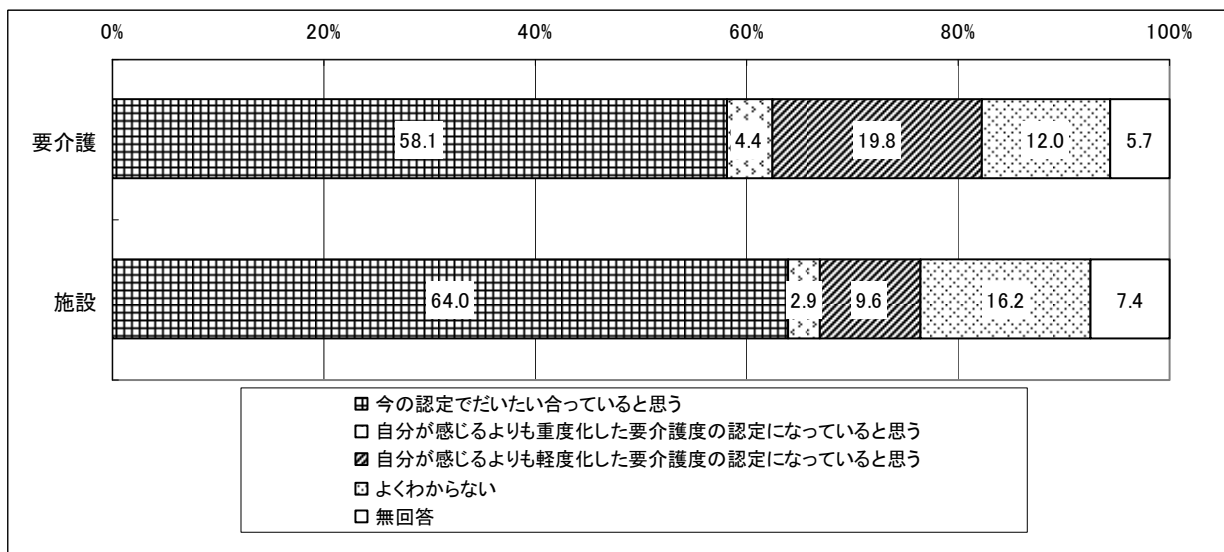
図表 457 要介護度



### ② 現在の要介護度認定について思うこと

現在の要介護度認定については、要介護者、施設入所者とも半数以上が「今の認定でいたい合っていると思う」としています。一方、「自分が感じるよりも軽度化した要介護度の認定になっていると思う」が要介護者では約20%おり、「自分が感じるより重度化した要介護度の認定になっている」人を含めると、要介護認定に不満を持っている人が約24%います。

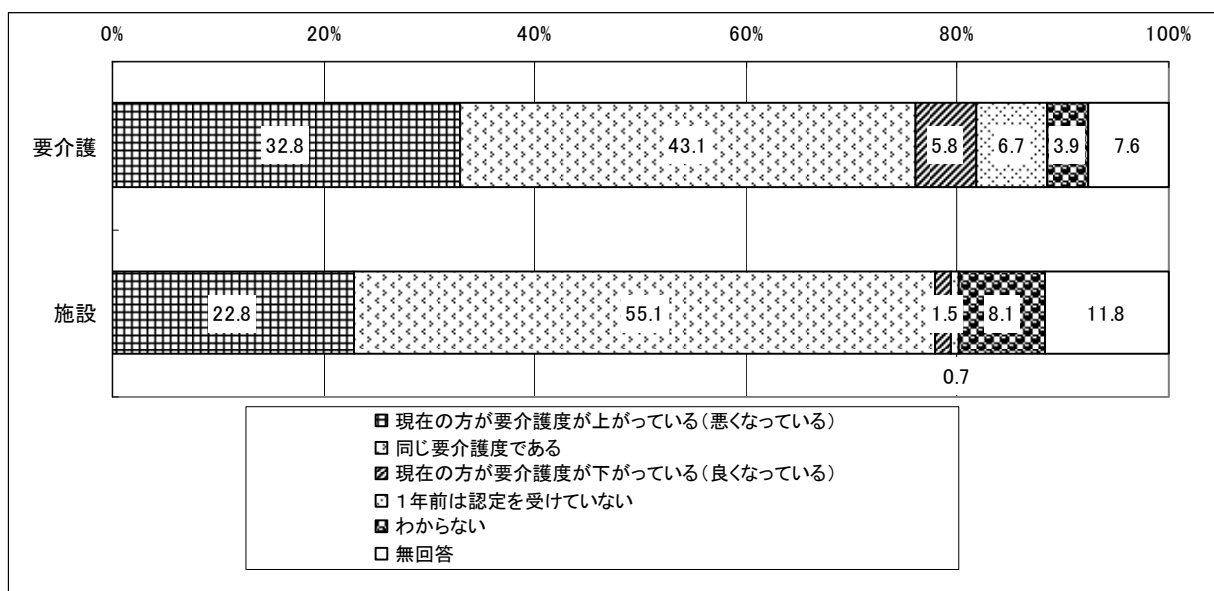
図表 458 現在の要介護度認定について思うこと



### ③1年前と比較した要介護度の変化

1年前と比較した要介護度の変化については、要介護者、施設入所者ともに「同じ要介護度である」とする人の割合が最も高いものの、要介護者では、「現在の方が要介護度が上がっている（悪くなっている）」とする人が約33%おり、施設入所者に比べて約10ポイント高く、在宅での要介護度の悪化がうかがえます。

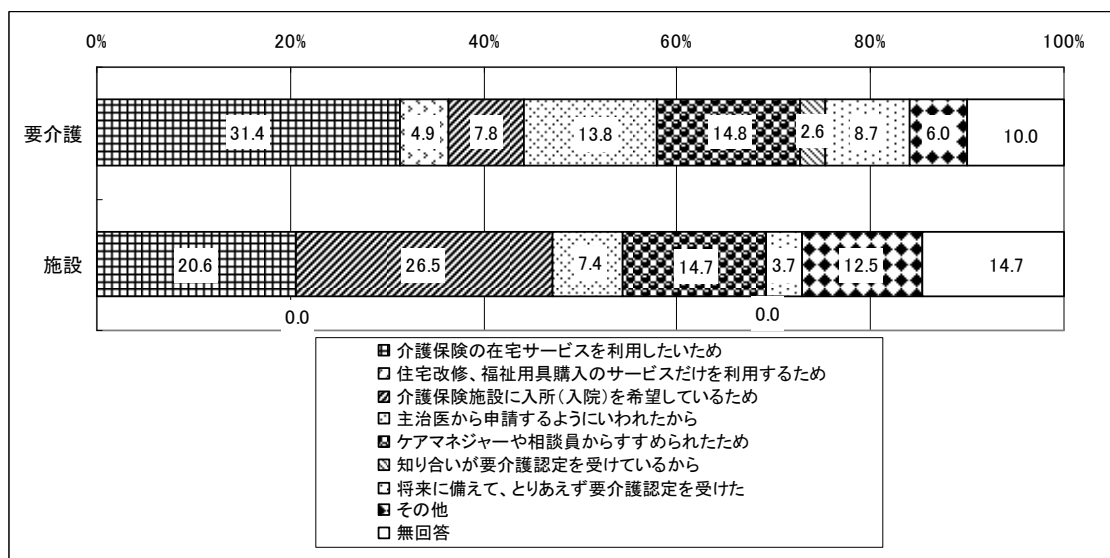
図表 459 1年前と比較した要介護度の変化



### ④要介護認定を申請した主な理由

要介護認定を申請した主な理由については、要介護者では「介護保険の在宅サービスを利用したいため」の割合が最も高く、施設入所者では「介護保険施設に入所（入院）を希望しているため」の割合が最も高くなっています。

図表 460 要介護認定を申請した主な理由

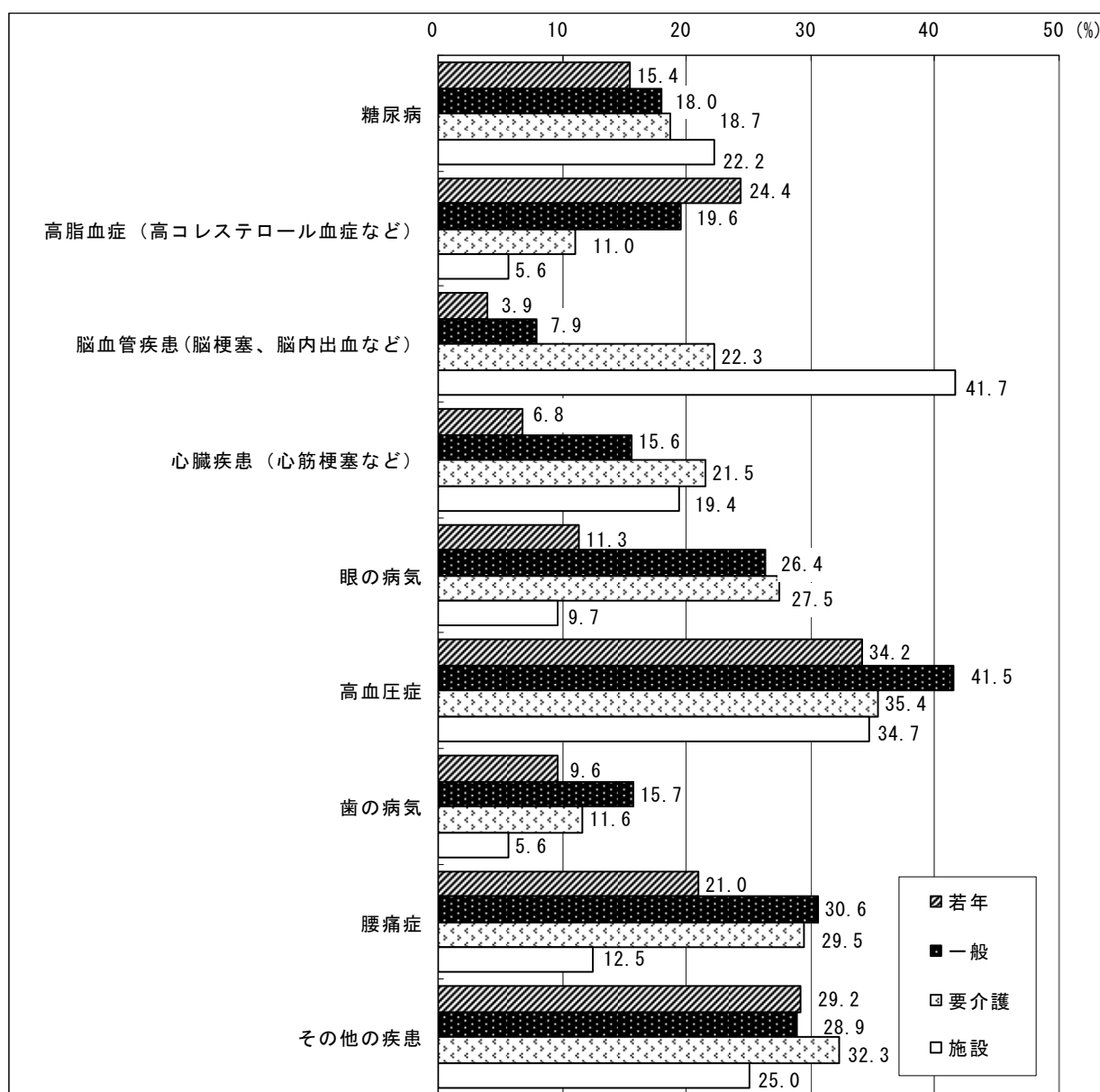


### ⑤治療中の疾患や疾患以外で気になること

現在治療中の疾患については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに「高血圧症」をあげる人の割合が最も高くなっています。その次に高いのは、一般高齢者、要介護者では「腰痛症」が、若年者では「高脂血症（高コレステロール血症）」となっています。また、施設入所者では「脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）」をあげる人の割合が最も高く、次いで、「高血圧症」となっています。

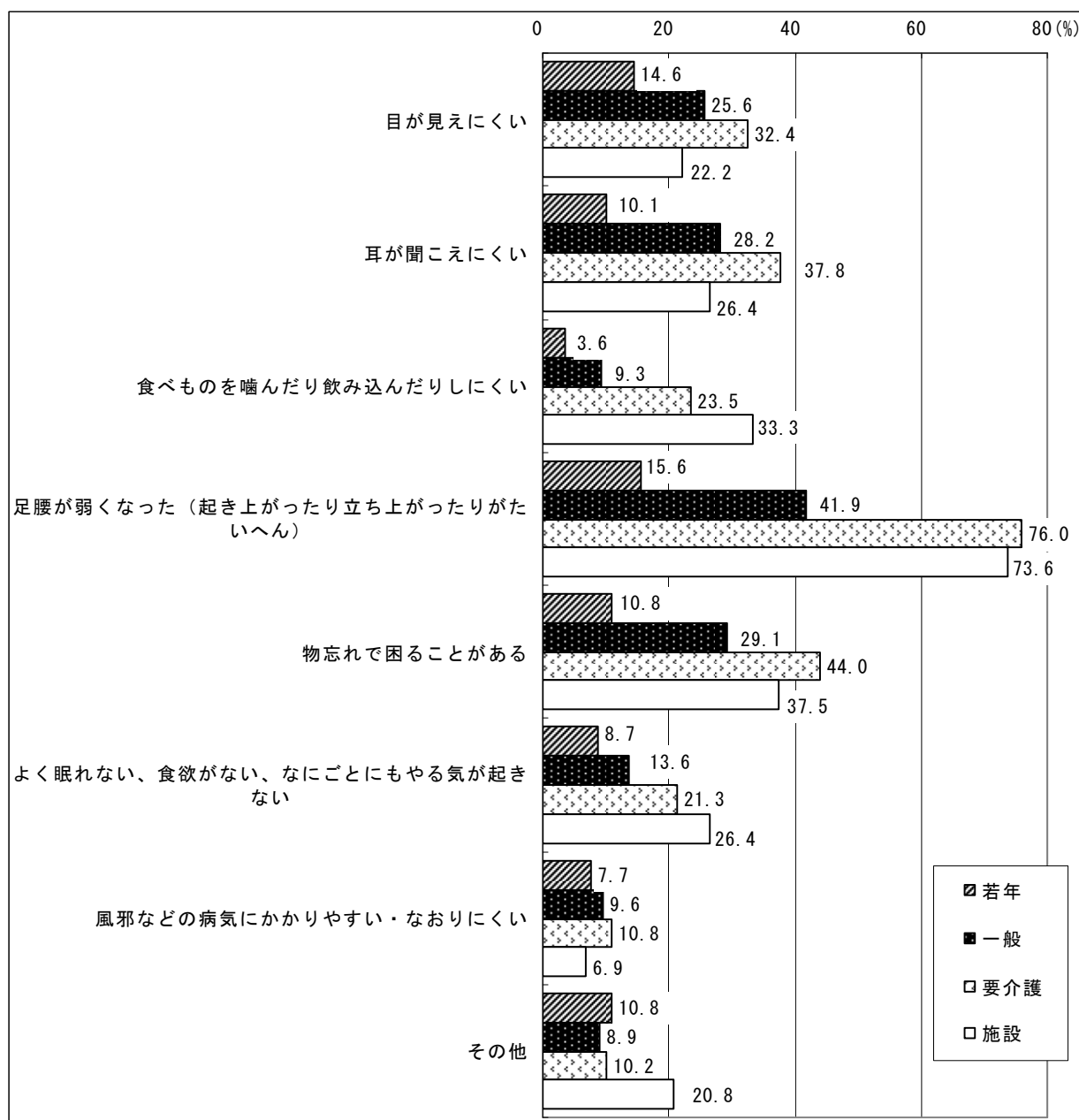
また、疾患以外で気になる症状については、一般高齢者、要介護者、施設入所者ともに「足腰が弱くなった（起き上がったり立ち上がったりがたいへん）」をあげる人の割合が最も高く、特に要介護者、施設入所者の約75%前後があげています。

図表 461 治療中の疾患（複数回答）





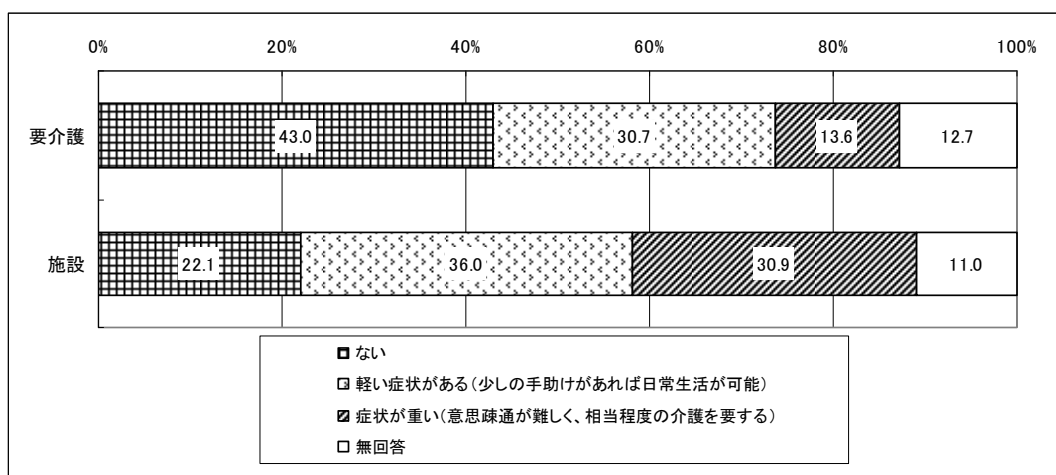
図表 462 疾患以外で気になる症状（複数回答）



## ⑥認知症の症状の有無

認知症の有無については、要介護者では「ない」が43%、施設入所者では約22%と要介護者の方が認知症のない人が約21ポイント高くなっています。一方、施設入所者では、認知症があるなかでも「症状が重い」人は約31%と、要介護者に比べて約17ポイント高くなっており、施設入所者は認知症の割合が高く、重度者が多いことがうかがえます。

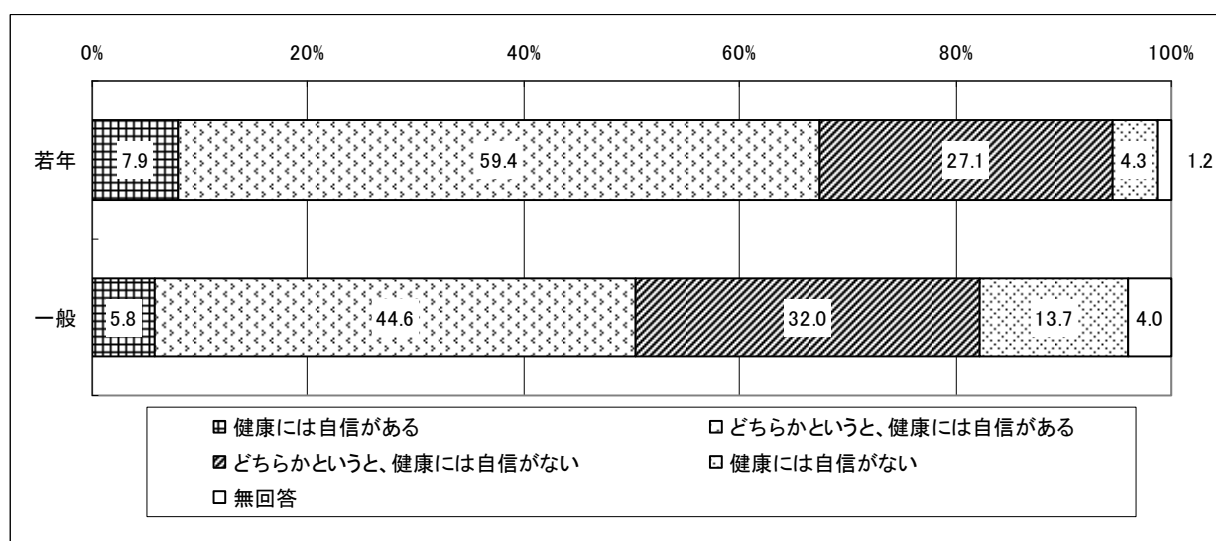
図表 463 認知症の症状の有無



## ⑦健康への自信

健康への自信については、「健康には自信がある」または「どちらかという、健康には自信がある」といった、比較的自信がある人は若年者が約67%、一般高齢者が約50%となっており、年齢とともに健康への自信が薄れていることがうかがえます。

図表 464 健康への自信

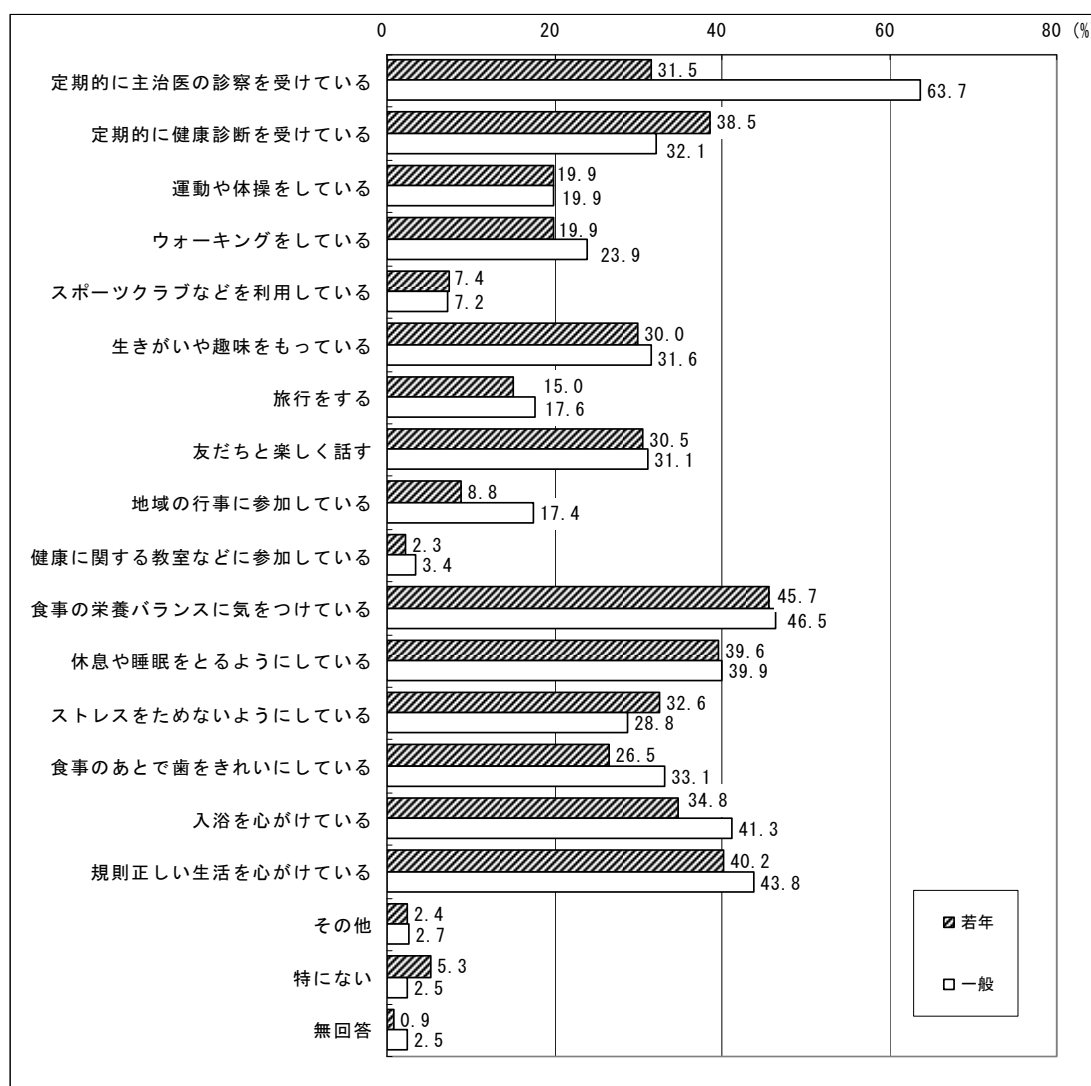


### ⑧健康維持のためしていること

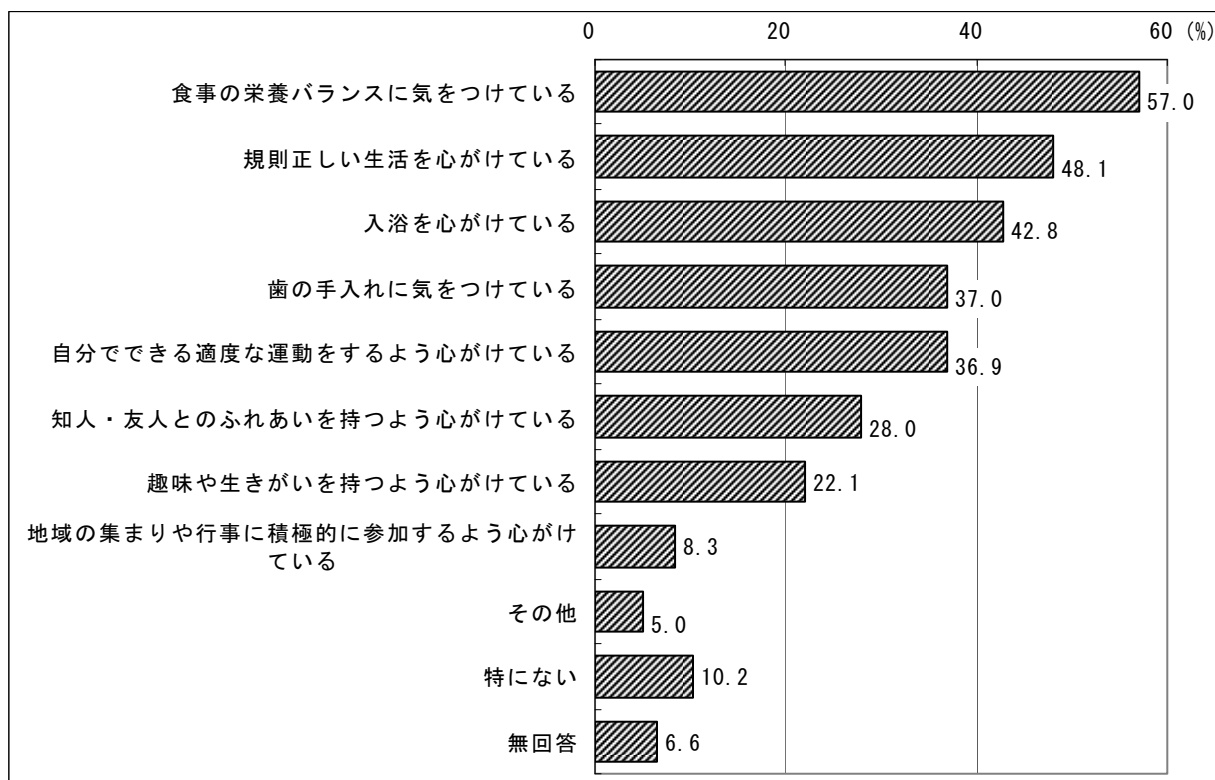
健康維持のために行っていることについては、一般高齢者は「定期的に主治医の診察を受けている」をあげる人が約 64%、若年者では「定期的に健康診断を受けている」をあげる人が約 39%と、頻度は異なりますが、定期的に自分の疾患の状況や健康状態の把握をしている人が若年者、一般高齢者ともに多くなっています。それ以外では、若年者、一般高齢者ともにあげられているものに大きな違いはみられず、「食事の栄養バランス」や「規則正しい生活」をあげる人がそれぞれ約 40~45%程度います。

一般高齢者と要介護者を比較すると、要介護者は「運動や体操をしている」人が約 37%おり、一般高齢者に比べて約 17 ポイント高くなっています。それ以外では、「食事の栄養バランス」や「規則正しい生活」、「食事の後の口腔ケア」などについて要介護者の方が気をつけている人の割合が高くなっています。一方、一般高齢者では、「生きがいや趣味を持っている」、「友達と楽しく話す」、「地域の行事に参加している」といったことに心がけている人の割合が要介護者に比べて高くなっており、一般高齢者は自分の身体の維持だけでなく、社会との交わりの中で健康維持に心がけを、要介護者は自分の身体を中心に健康維持に心がけをしていることがうかがえます。

図表 465 健康維持のためしていること[若年者・一般高齢者]（複数回答）



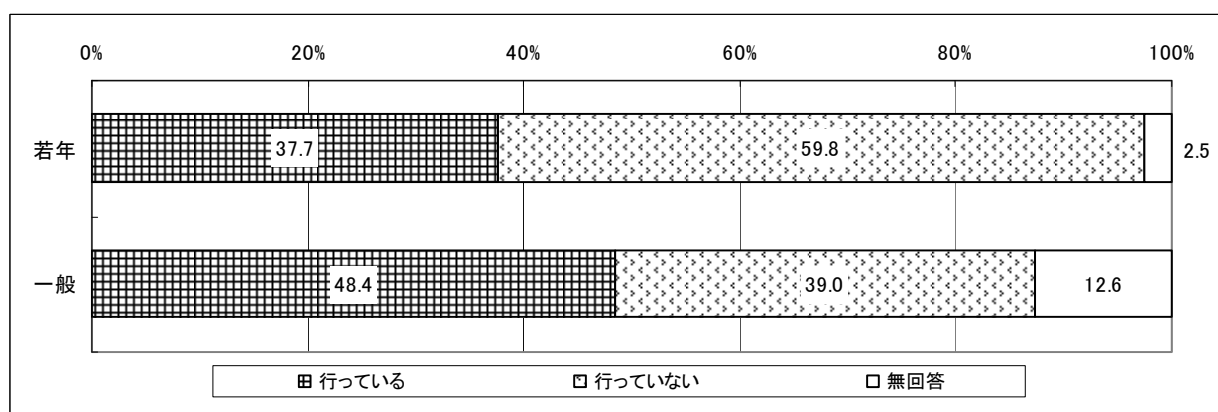
図表 466 健康維持のためしていること[要介護者] (複数回答)



### ⑨運動(意識的に体を動かすこと)を習慣的に行っているか

習慣的な運動(意識的に体を動かすこと)の有無については、一般高齢者では「行っている」が約48%と、若年者に比べて約11ポイント高くなっています。一方、若年者の約60%が「行っていない」としており、若年者の運動習慣があまり定着していないことがうかがえます。

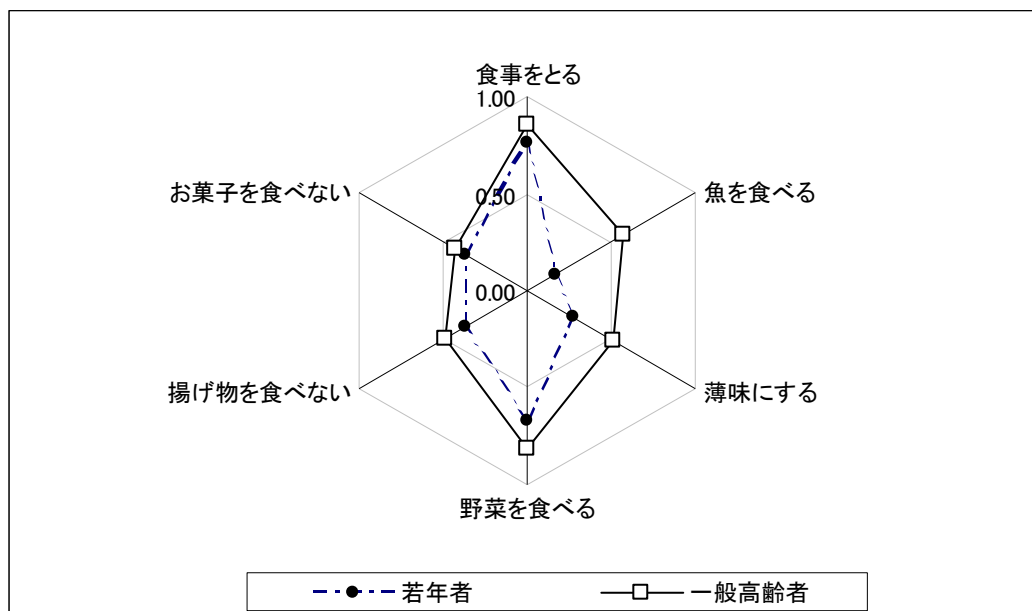
図表 467 運動(意識的に体を動かすこと)を習慣的に行っているか



### ⑩食生活について

一般高齢者、若年者の食生活について指標化を行い比較すると、全項目において一般高齢者の方が平均点が高くなっており、高齢者の食生活への配慮が大きいことがうかがえます。特に、「魚を食べる」、「薄味にする」は大きな差がみられます。

図表 468 食生活について

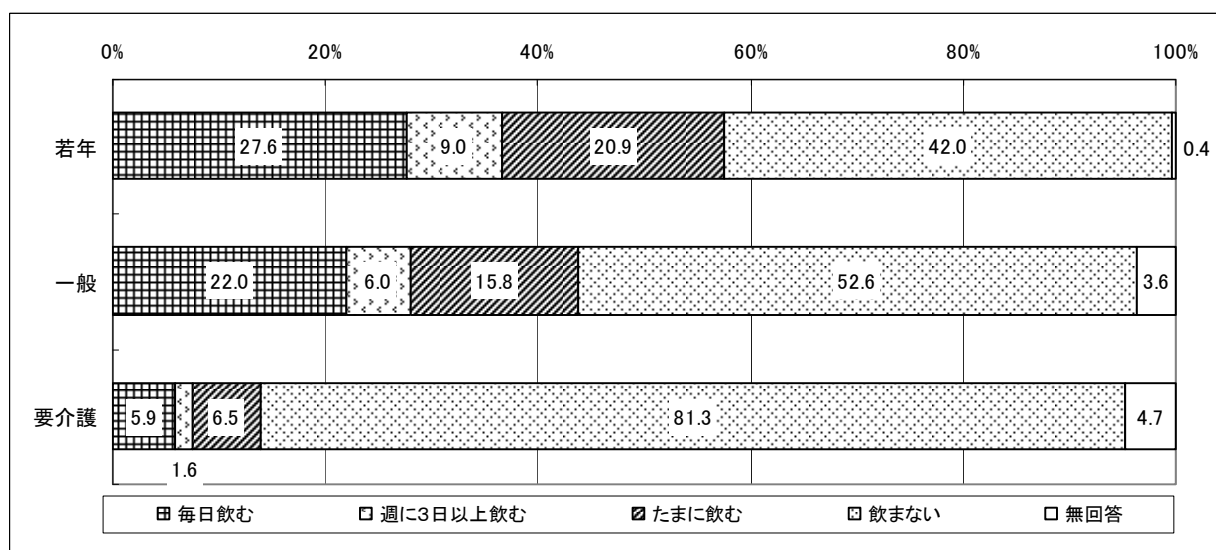


\* それぞれよい方を+1点、悪い方を-1とし、各項目の平均を計算

### ⑪飲酒状況

飲酒状況については、「毎日」または「週に3日以上飲む」人は、若年者が約 37%、一般高齢者が 28%、要介護者が約 8%います。

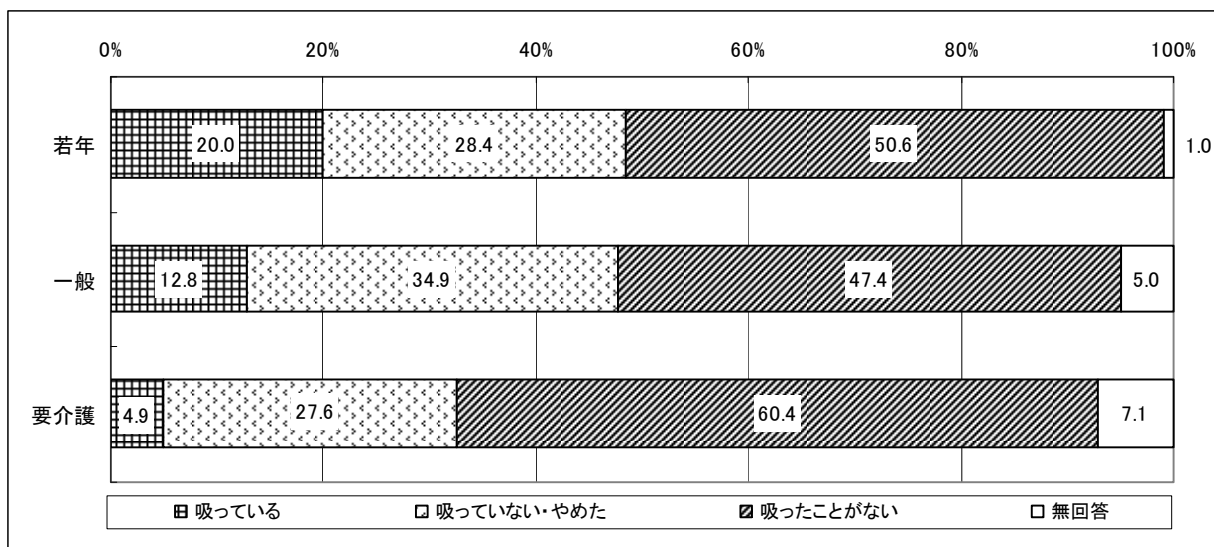
図表 469 飲酒状況



## ⑫喫煙状況

喫煙状況については、「吸っている」人は、若年者が20%、一般高齢者が約13%、要介護者で約5%います。

図表 470 喫煙状況



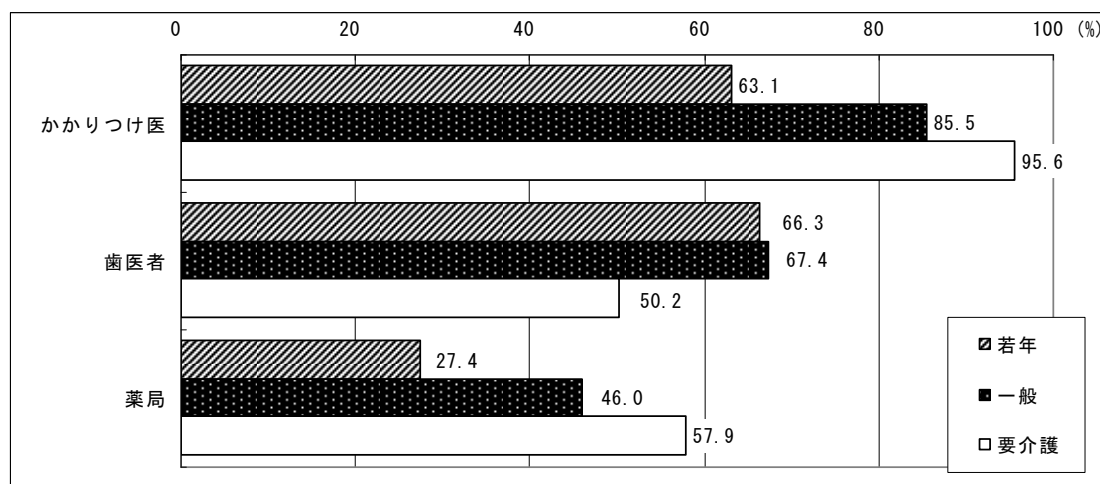
## ⑬かかりつけの医者などの有無

かかりつけの医者は、一般高齢者の約86%、要介護者の約96%が「いる」としています。一方、若年者では「いる」人は約63%となっています。

また、かかりつけの歯医者が「いる」人は、若年者が約66%、一般高齢者が約67%となっています。一方、要介護者は約50%にとどまっています。

かかりつけの薬局が「ある」人は、要介護者が約58%、一般高齢者が46%と半数前後の人がかかりつけの薬局があるのに対し、若年者は約27%にとどまっています。

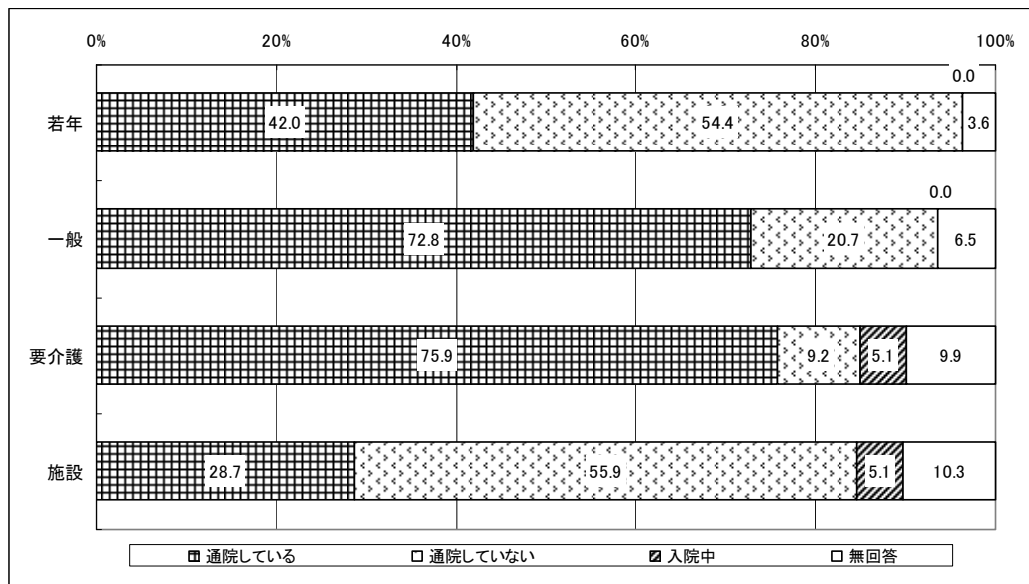
図表 471 かかりつけの医、歯医者、薬局の有無 (いる・あるのみ)



⑭現在の定期的な通院状況

現在の定期的な通院状況については、「通院している」のは、一般高齢者が約 73%、要介護者が約 76%であるのに対し、若年者は約 42%となっています。また、施設入所者も約 29%にとどまっています。

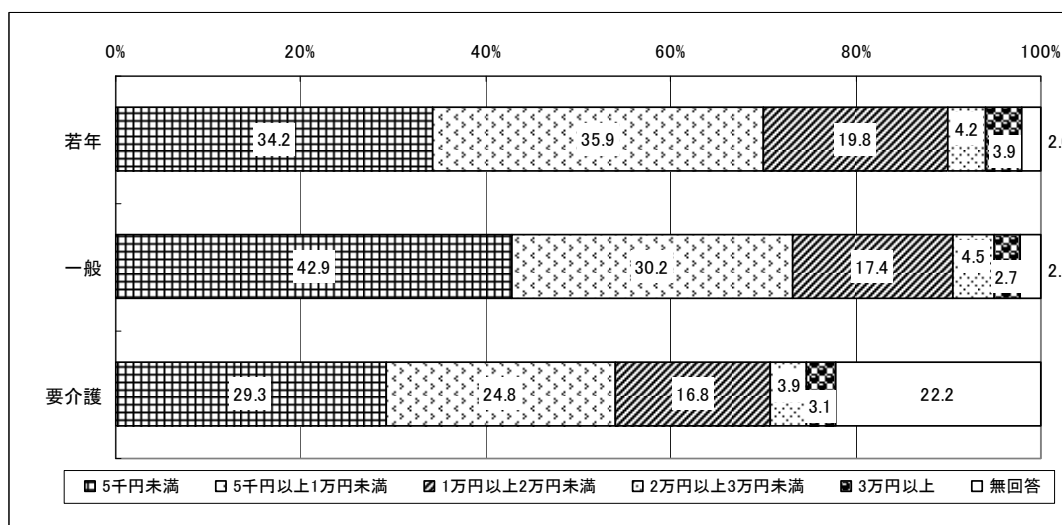
図表 472 現在の定期的な通院状況



⑮世帯の1か月の医療費

世帯の1か月の医療費については、一般高齢者、要介護者ともに「5千円未満」の割合が最も高く、それぞれ約 43%、約 30%を占めています。一方、若年者は「5千円未満」と「5千円以上1万円未満」の割合がそれぞれ約 35%とほぼ同割合となっており、一般高齢者、要介護者に比べて、若年者の世帯の1か月の医療費がやや高くなっています。

図表 473 世帯の1か月の医療費

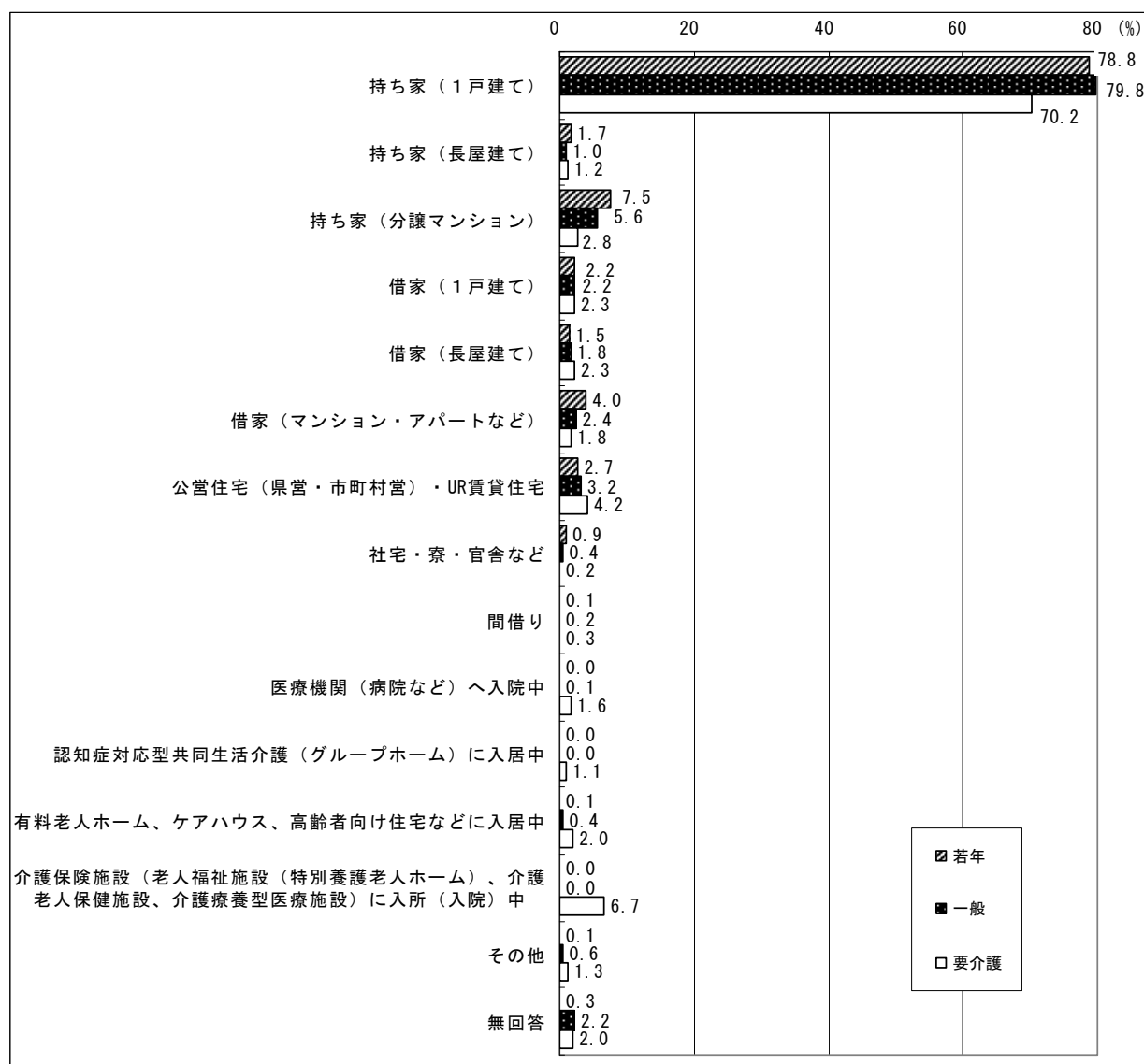


### (3) 日常生活について

#### ① 居住形態

居住形態については、「持ち家（1戸建て）」が若年者で約79%、一般高齢者が約80%を占めています。一方、要介護者は約70%となっています。

図表 474 居住形態

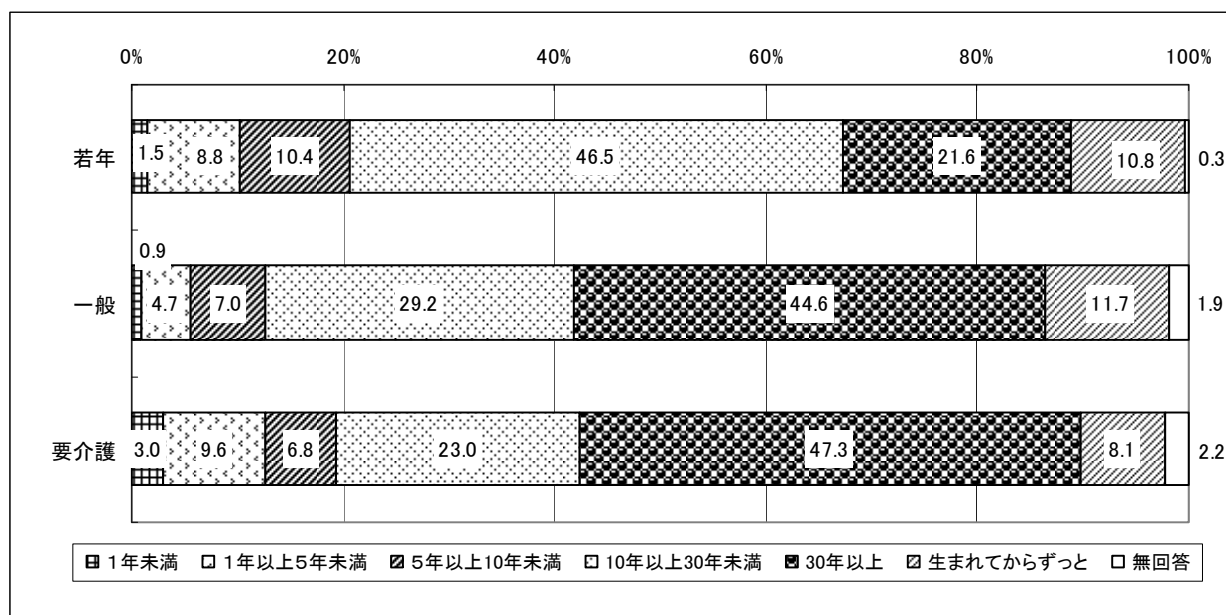




## ②居住年数

居住年数については、一般高齢者、要介護者ともに「30年以上」の割合が最も高く、それぞれ約45%、約47%となっており、「生まれてからずっと」をあわせると、一般高齢者、要介護者ともに半数以上は居住年数が長くなっています。一方、若年者は「10年以上30年未満」が約47%となっています。

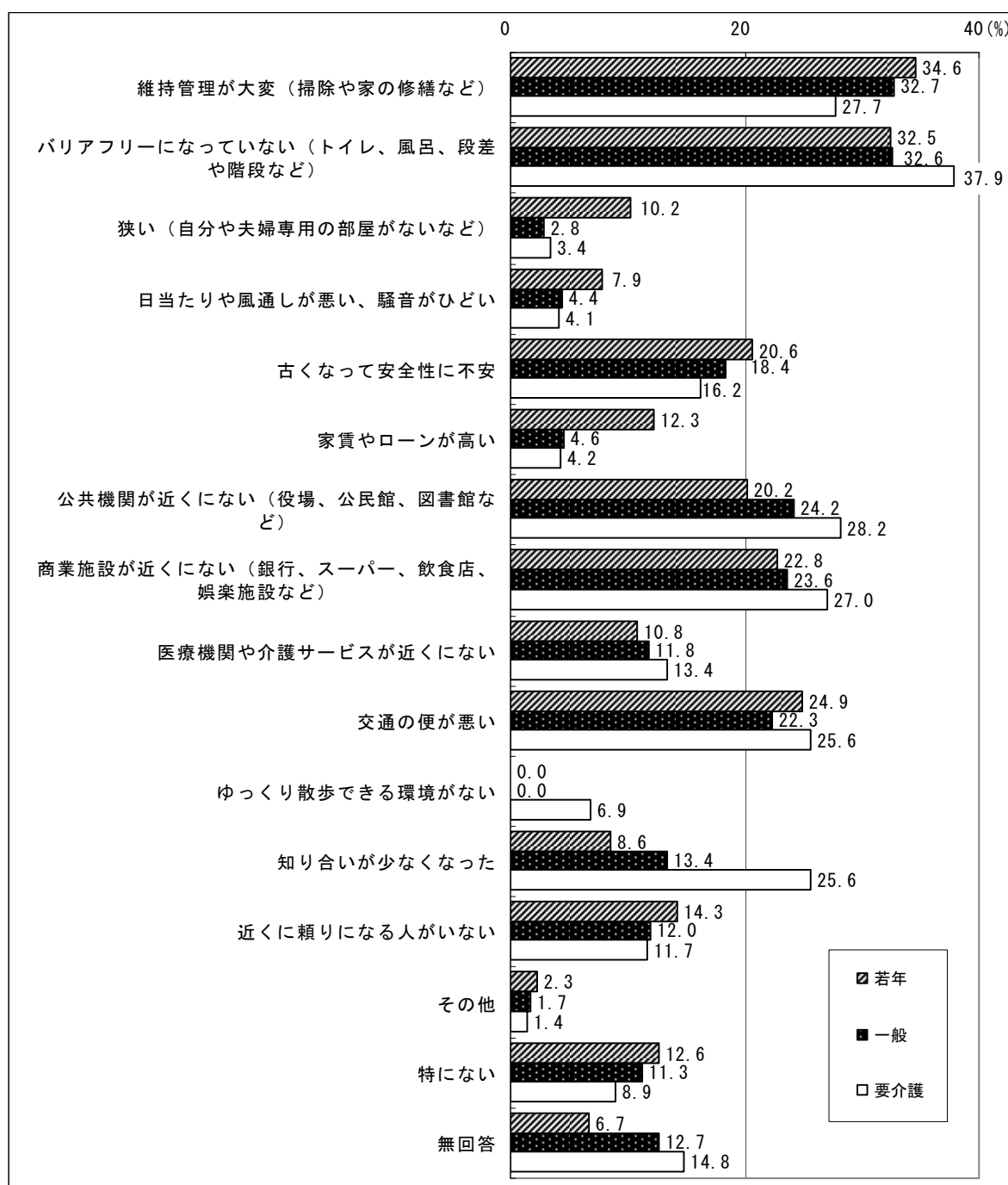
図表 475 居住年数



### ③居住環境での不便や困っていること

居住環境での不便や困っていることについては、若年者、一般高齢者、要介護者ともに上位にあげられているものに大きな違いはみられませんが、「維持管理が大変（掃除や家の修繕など）」、「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」をあげる人の割合が高くなっています。上位のもの以外では、要介護者において、若年者や一般高齢者に比べて大きく差がみられたものとしては、「知り合いが少なくなった」をあげる人の割合が高く、一般高齢者と約 12 ポイント、若年者と約 17 ポイントのひらきがあります。

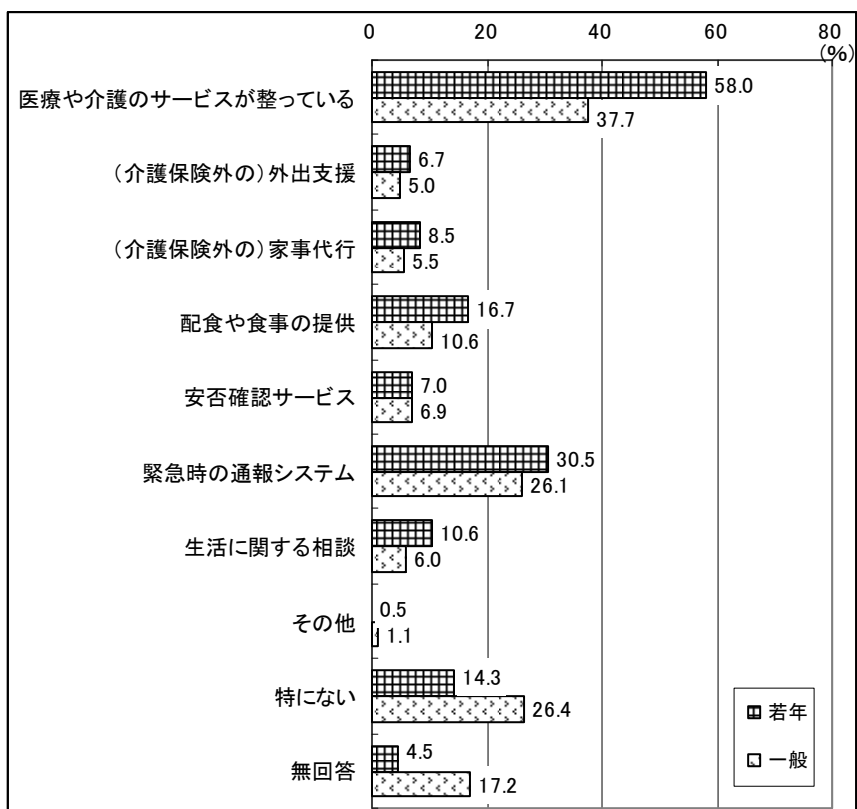
図表 476 居住環境での不便や困っていること（複数回答）



④身近なところであればよいサービス

身近なところであればよいサービスについては、若年者、一般高齢者ともに「医療や介護のサービスが整っている」が最も高くなっています。若年者では、次いで、「緊急時の通報システム」が高く、医療や介護、緊急時の対応に不安を持っている人が多いことがうかがえます。

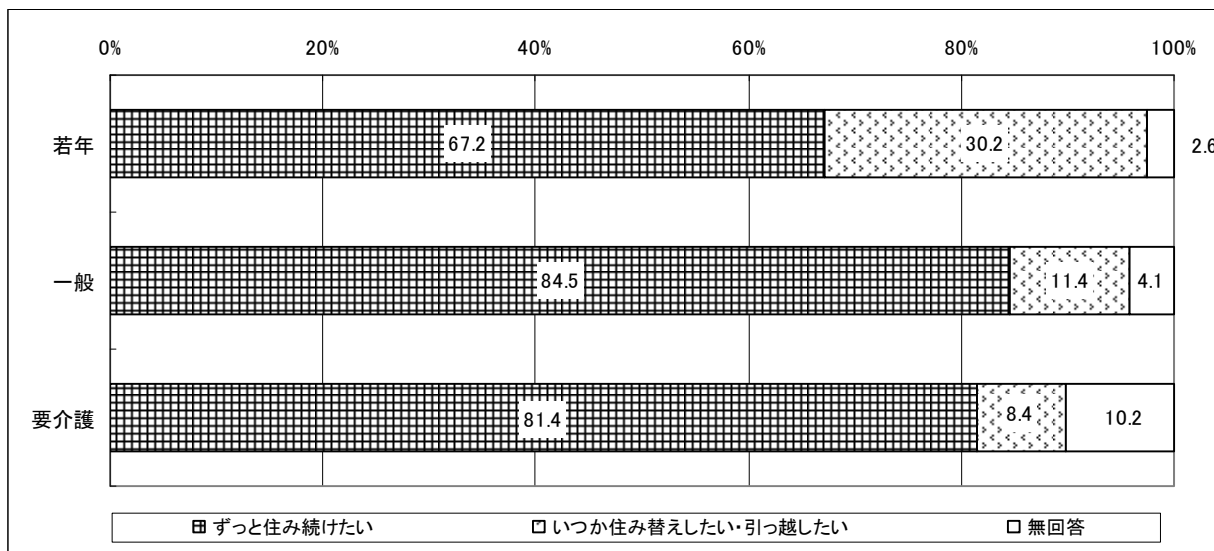
図表 477 身近なところであればよいサービス（複数回答）



### ⑤ 今後も今の自宅で住みたいか

今後も今の自宅で住みたいかについては、「ずっと住みたい」が一般高齢者では約 85%、要介護者では約 81%であるのに対し、若年者は約 67%となっており、若年者の住み替え意向が高くなっています。

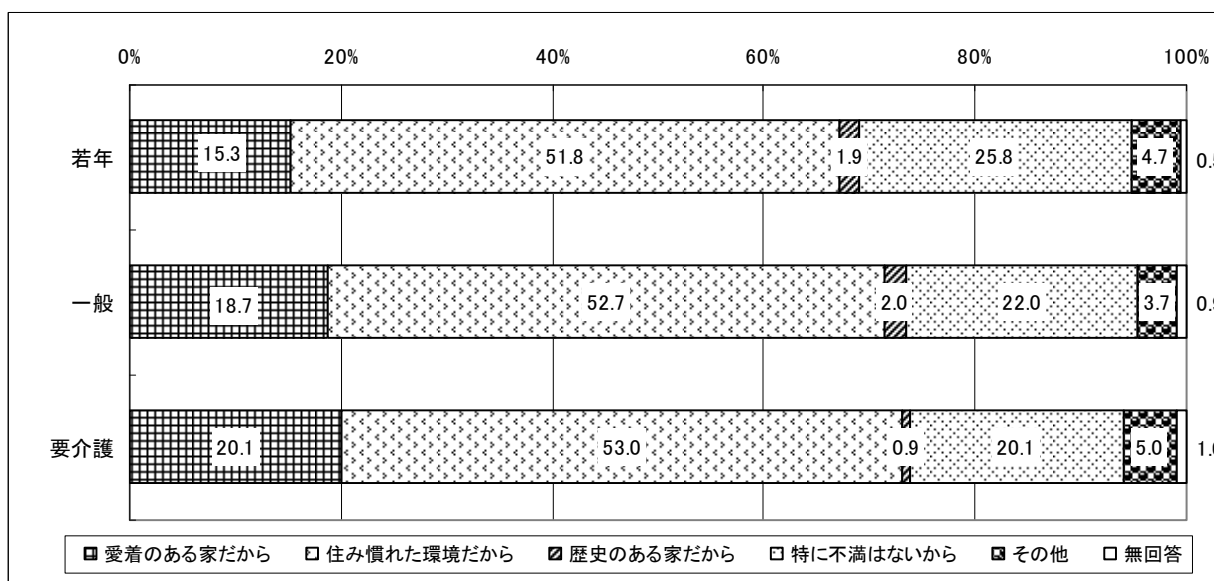
図表 478 今後も今の自宅で住みたいか



### ⑥ 住みたい理由

住みたい理由については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに半数が「住み慣れた環境だから」をあげています。

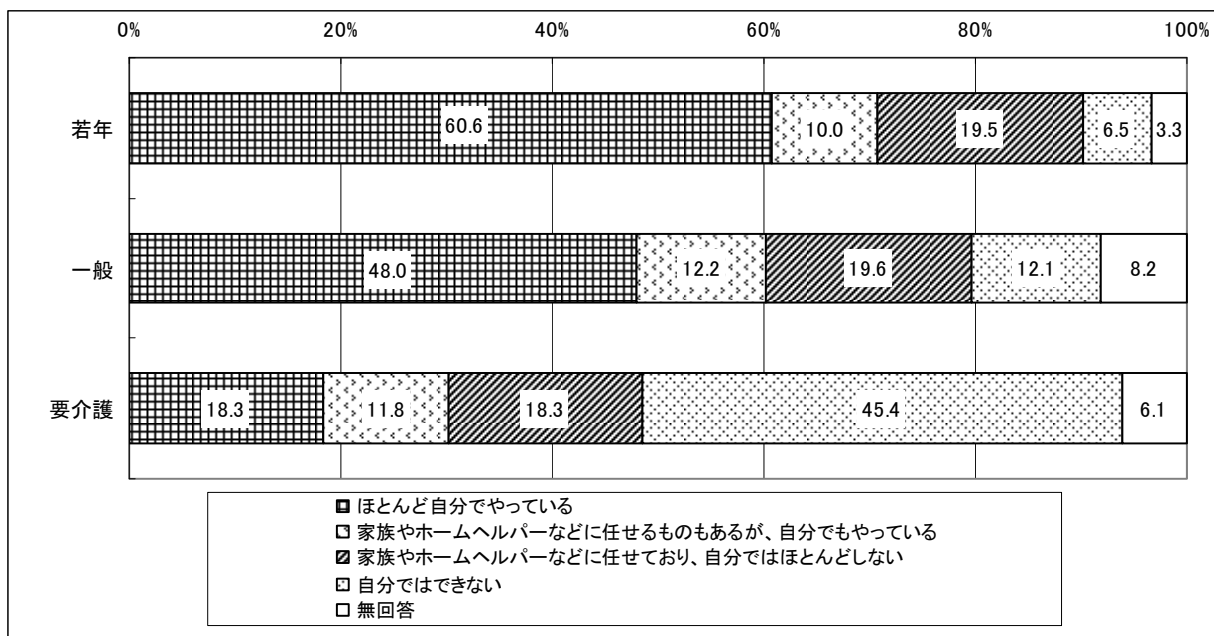
図表 479 住みたい理由



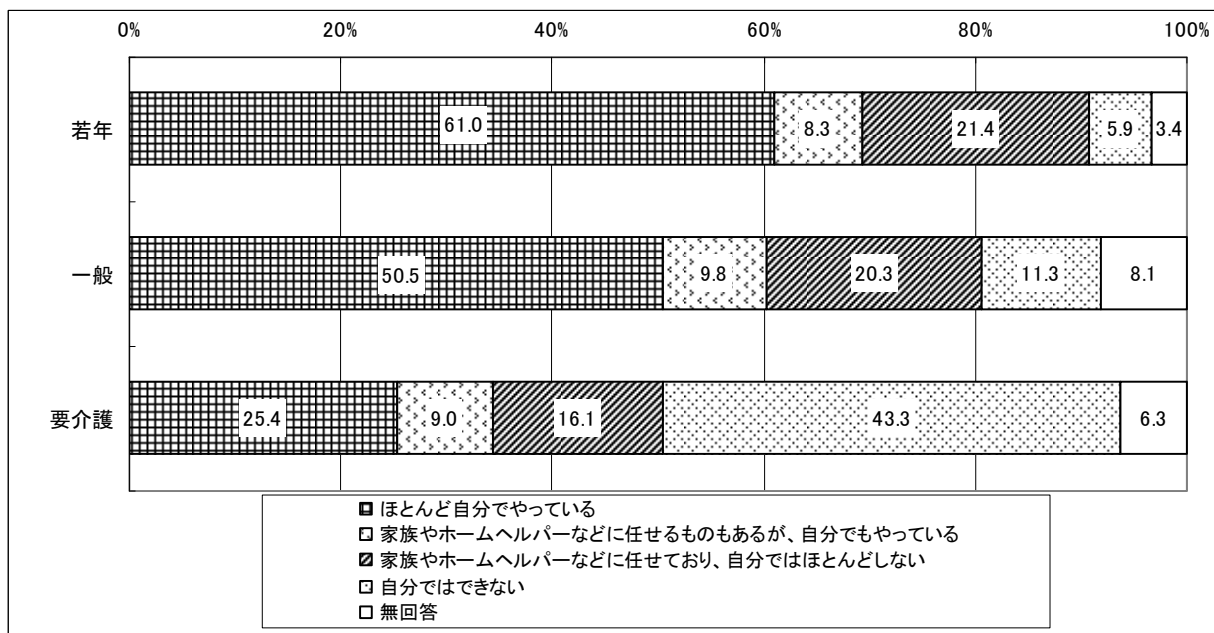
⑦ 日常の家事の状況

概ねどの日常の家事についても、若年者の約60%、一般高齢者の半数前後が「ほとんど自分でやっている」としているのに対し、要介護者は約12~25%にとどまっています。

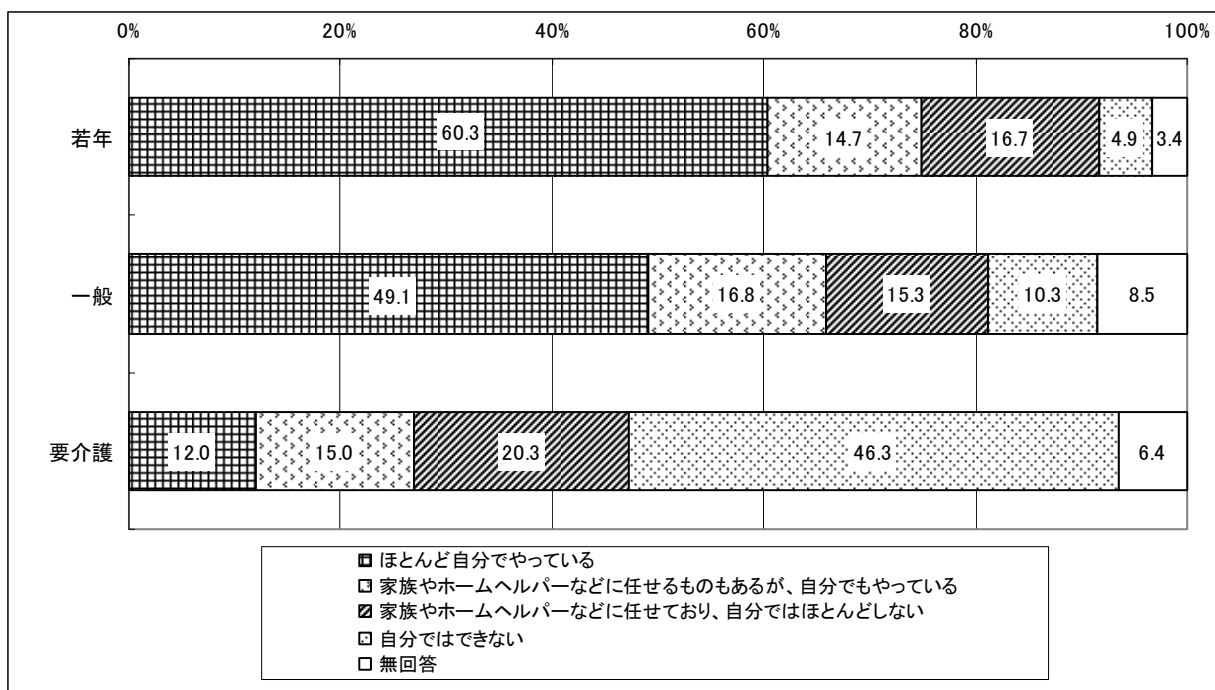
図表 480 日常の家事の状況[食事の準備]



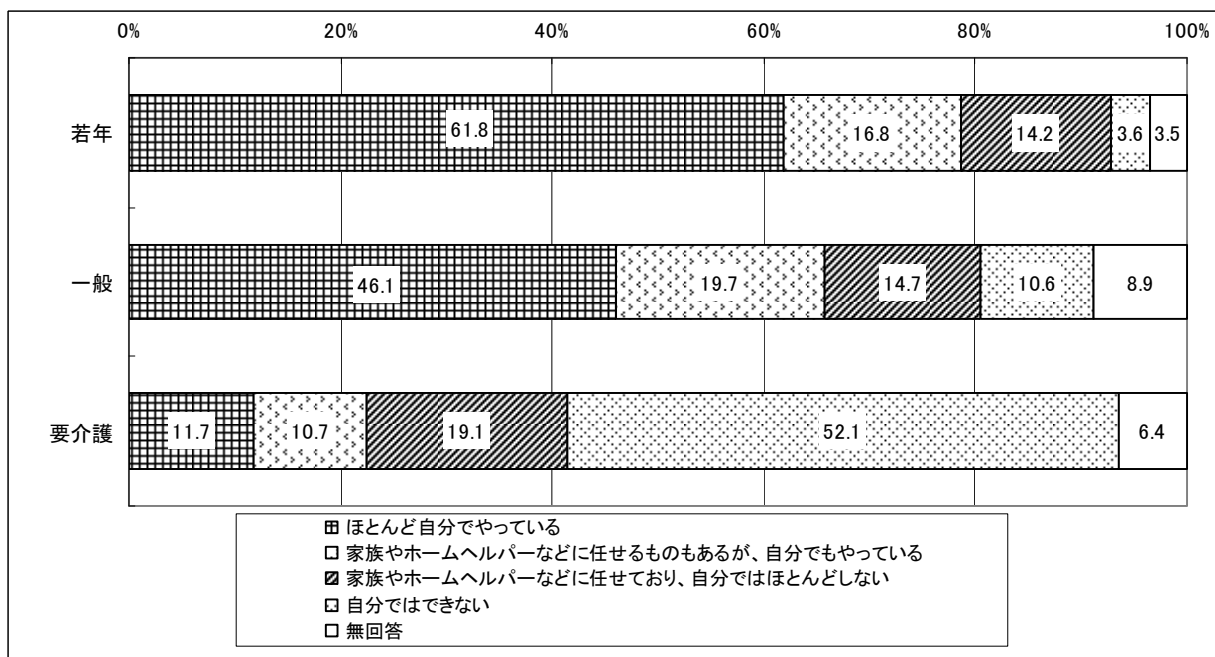
図表 481 日常の家事の状況[洗濯]



図表 482 日常の家事の状況[掃除]



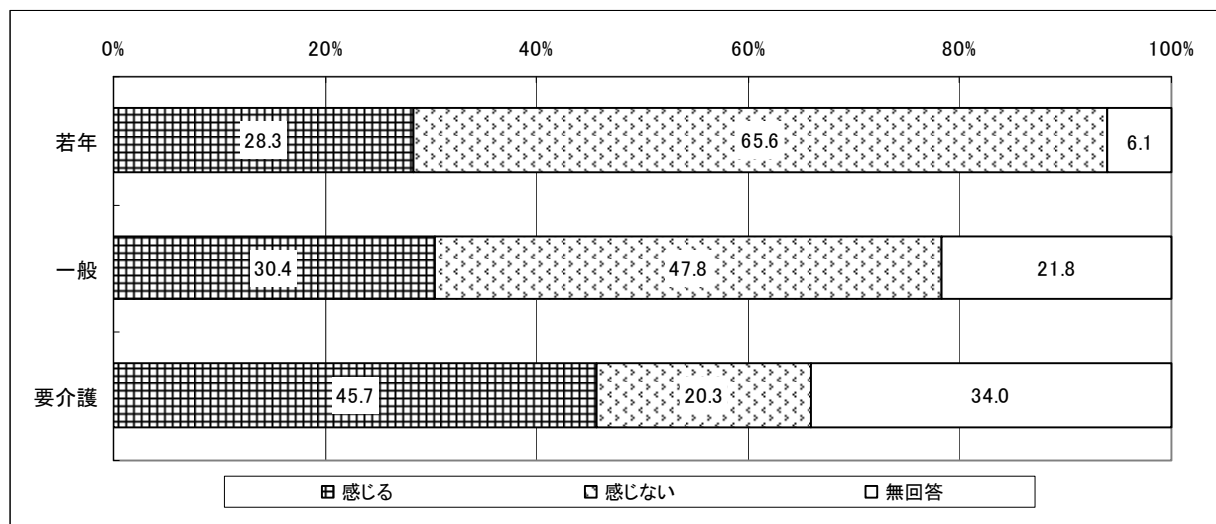
図表 483 日常の家事の状況[日常の買い物]



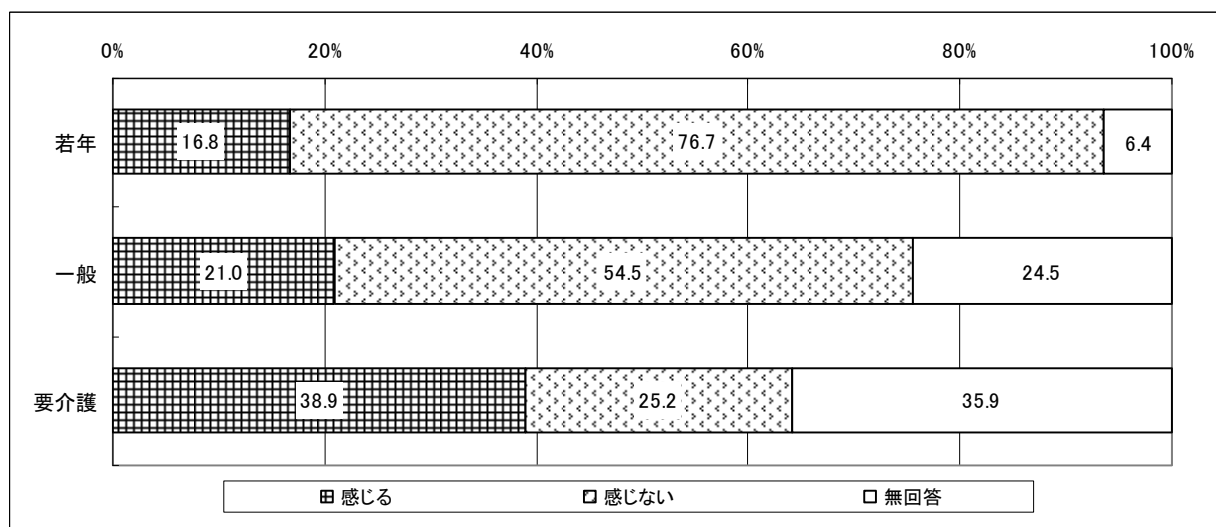
⑧家事の負担感

家事の負担感についてきいたところ、若年者の約 66～77%、一般高齢者の約 48～55%が「感じない」としています。一方、要介護者は「感じる」人が約 39～46%おり、要介護者の家事に対する負担感が大きいことがうかがえます。

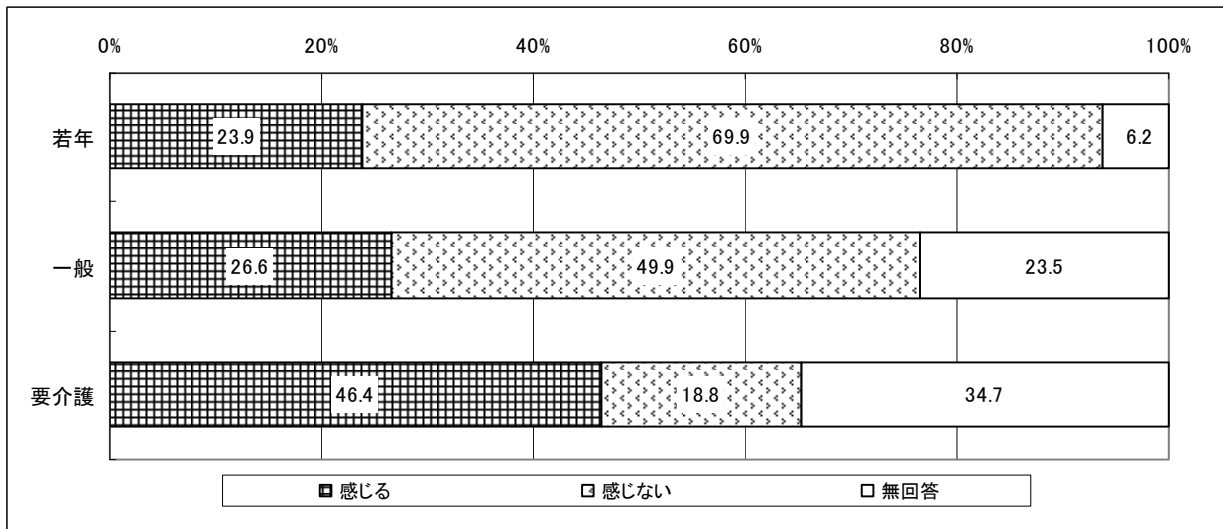
図表 484 家事の負担感[食事の準備]



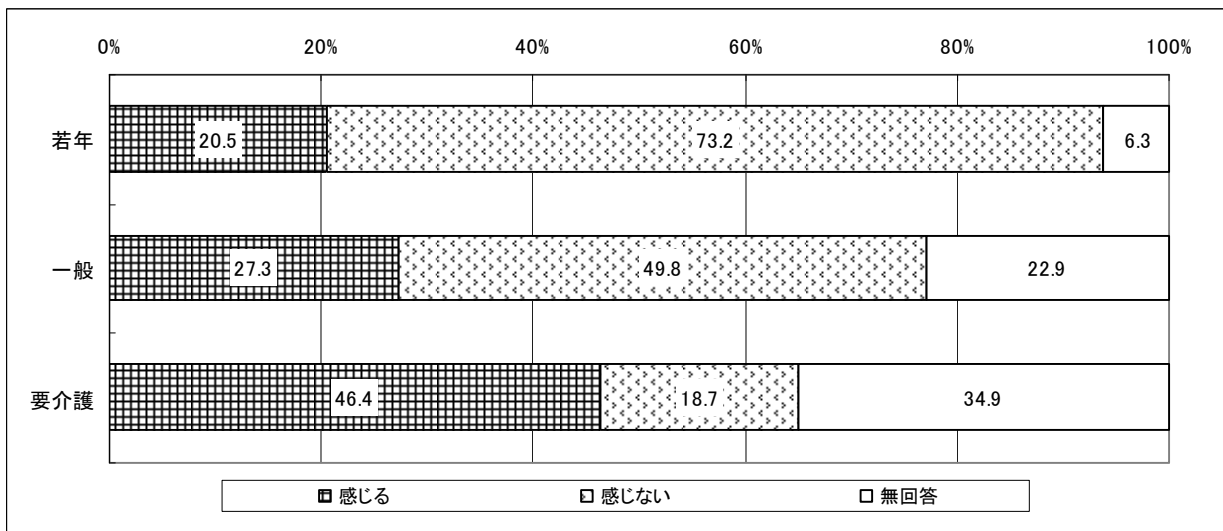
図表 485 家事の負担感[洗濯]



図表 486 家事の負担感[掃除]



図表 487 家事の負担感[日常の買い物]

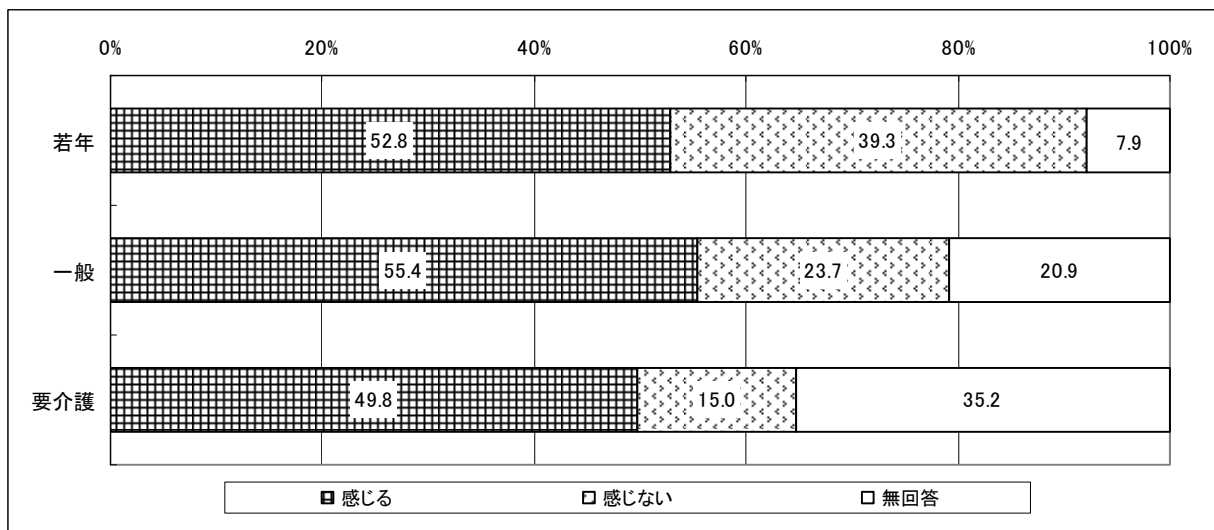




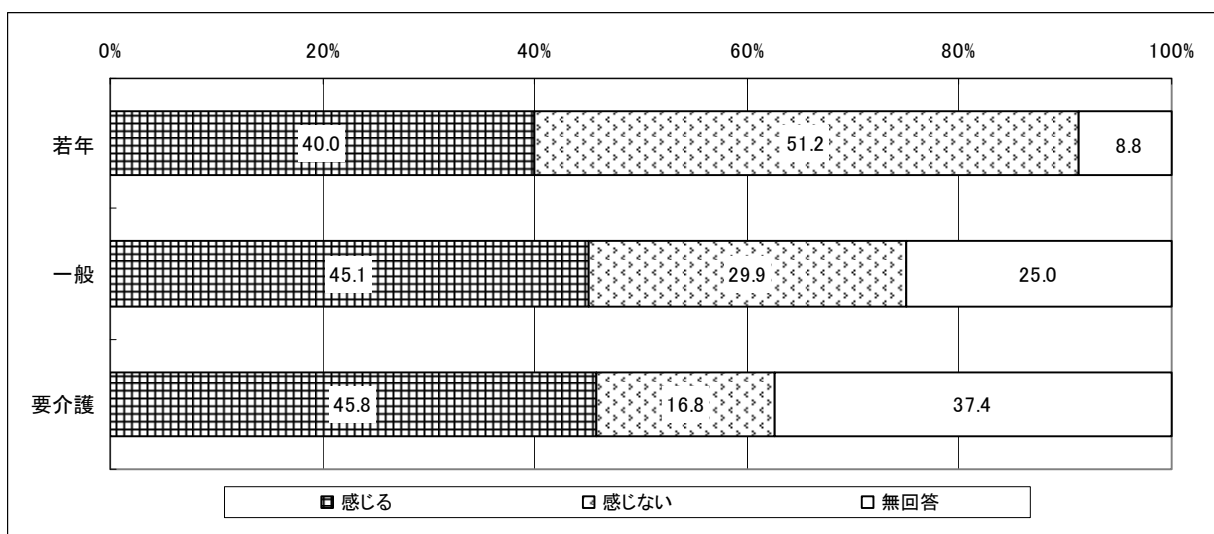
### ⑨家事についての将来の不安

家事についての将来の不安については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに大きな違いはみられず、どの家事についても半数前後が「感じる」としています。

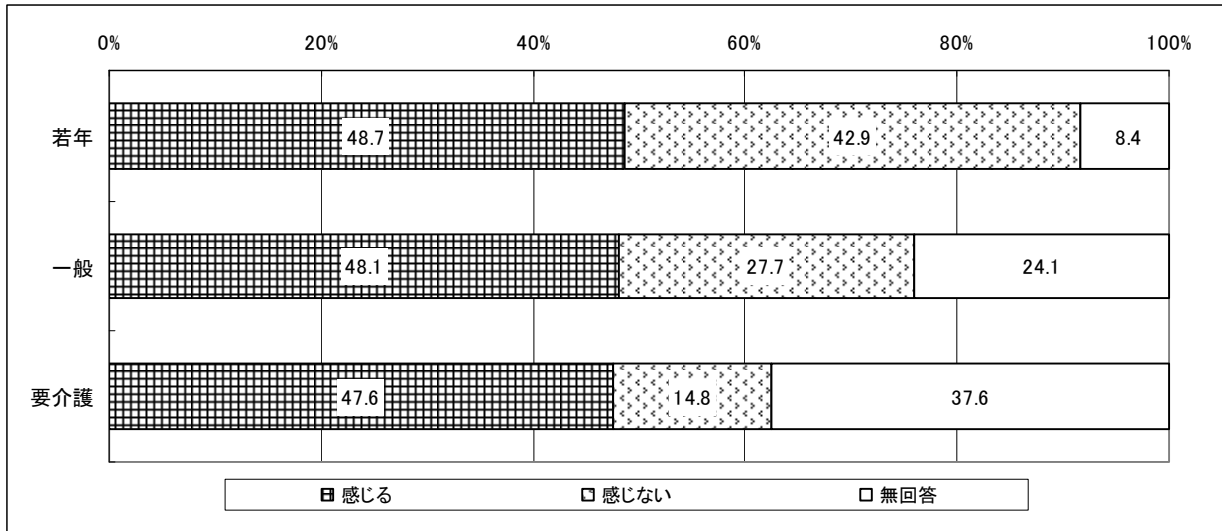
図表 488 家事についての将来の不安[食事の準備]



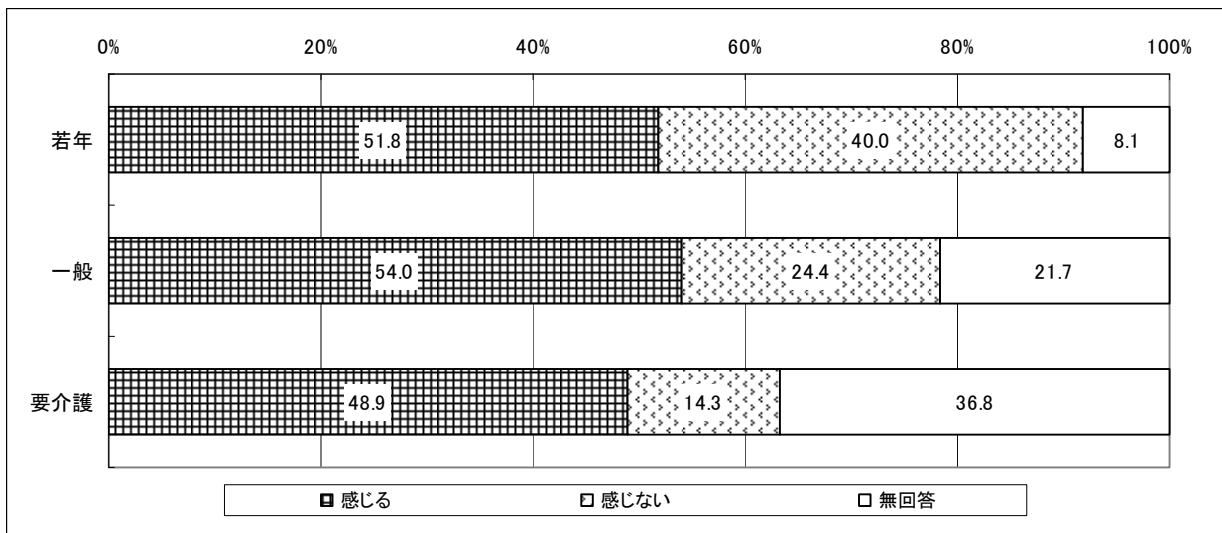
図表 489 家事についての将来の不安[洗濯]



図表 490 家事についての将来の不安[掃除]



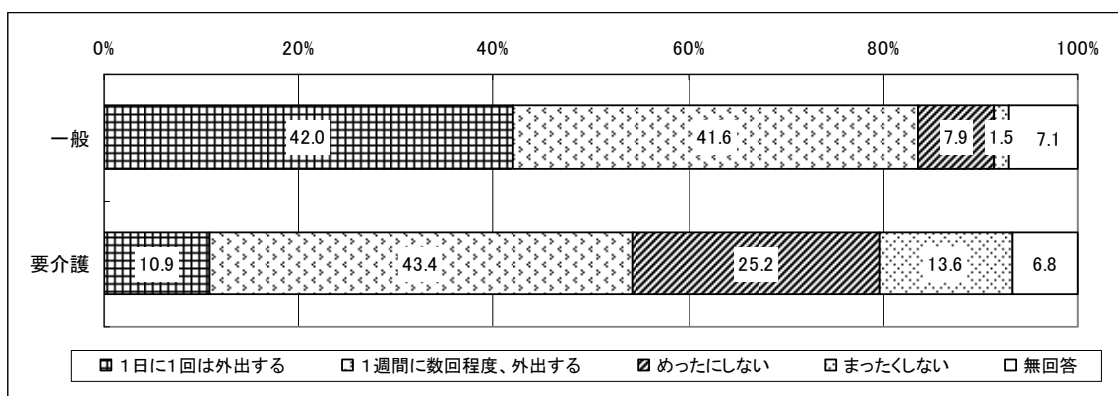
図表 491 家事についての将来の不安[日常の買い物]



### ⑩外出する機会

外出する機会については、「1日に1回は外出する」、「1週間に数回程度、外出する」といった比較的外出する人は、一般高齢者は約84%いるのに対し、要介護者は約54%となっています。一方、要介護者では、「めったにしない」、「まったくしない」といったほとんど外出しない人も約39%います。

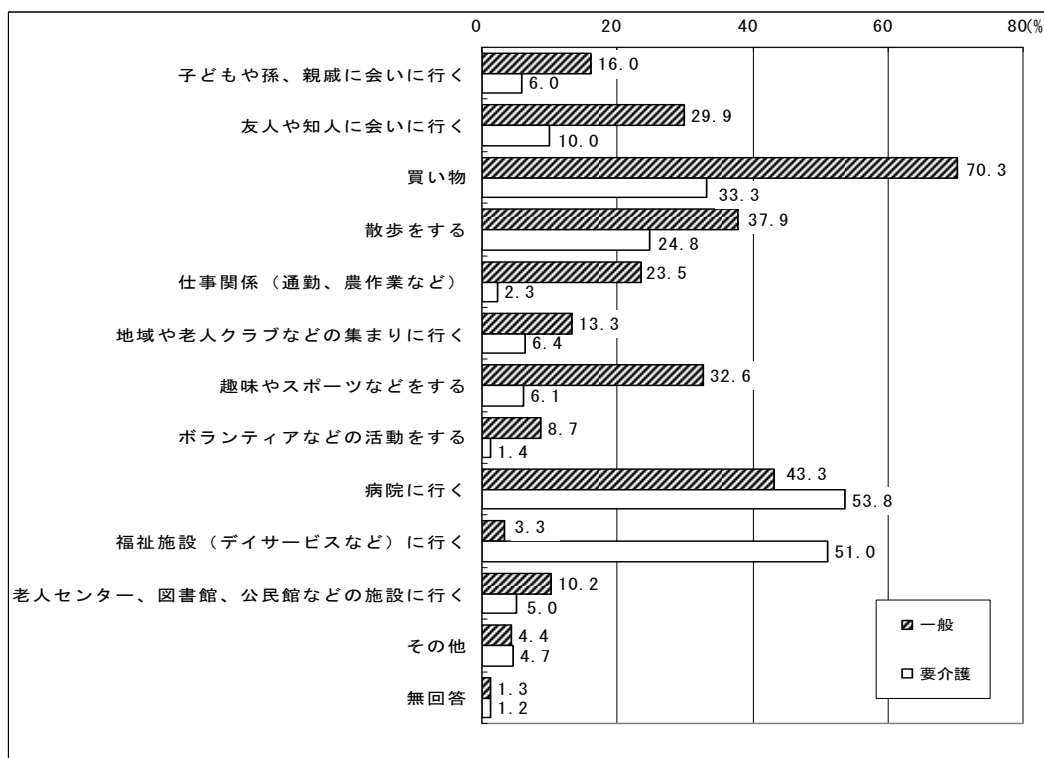
図表 492 外出する機会



### ⑪外出目的

外出目的については、一般高齢者は、「買い物」が約70%、「病院に行く」が約43%、「散歩をする」が約38%であるのに対し、要介護者では「病院に行く」、「福祉施設（デイサービスなど）に行く」がともに半数を超えています。

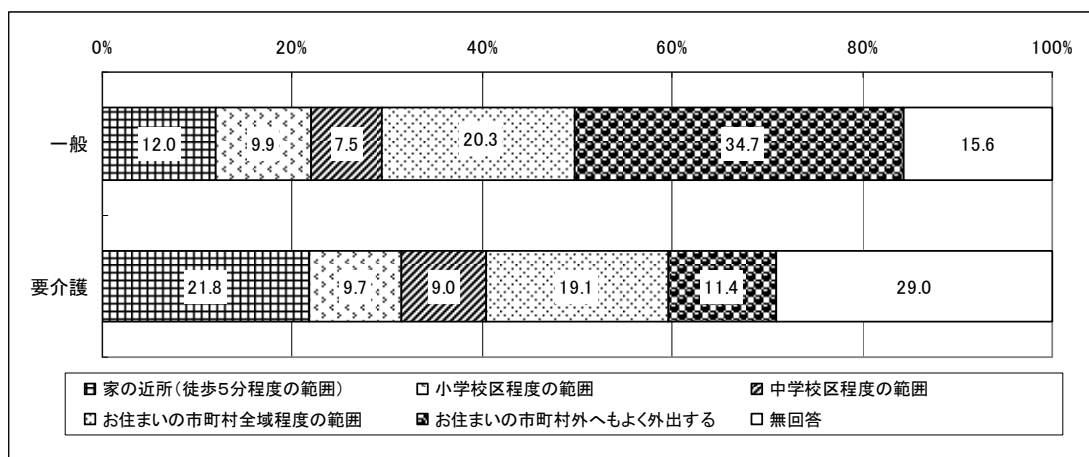
図表 493 外出目的（複数回答）



## ⑫外出範囲

外出範囲については、一般高齢者の約35%は「住まいの市町村外へもよく外出する」としてのに対し、要介護者は、「家の近所（徒歩5分程度の範囲）」をあげる人の割合が高く、一般高齢者は要介護者に比べて、行動範囲が広いことがうかがえます。

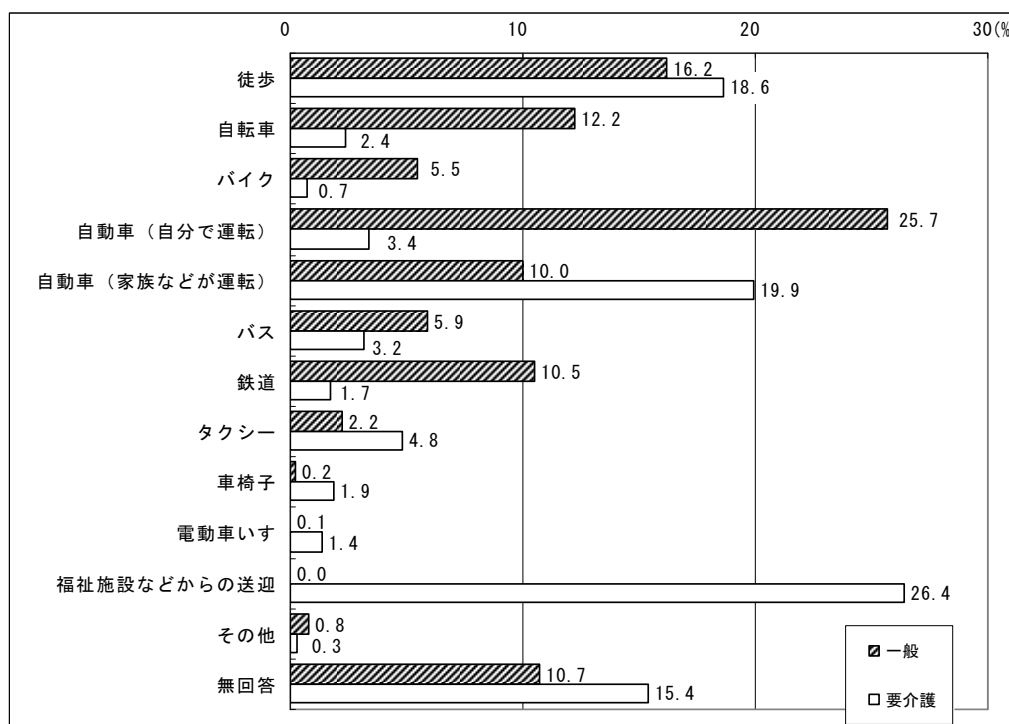
図表 494 外出範囲



## ⑬交通手段

交通手段については、一般高齢者は「自動車（自分で運転）」、「徒歩」、「自転車」をあげる人が多いのに対し、要介護者は「福祉施設などからの送迎」、「自動車（家族などが運転）」、「徒歩」をあげる人が多くなっています。

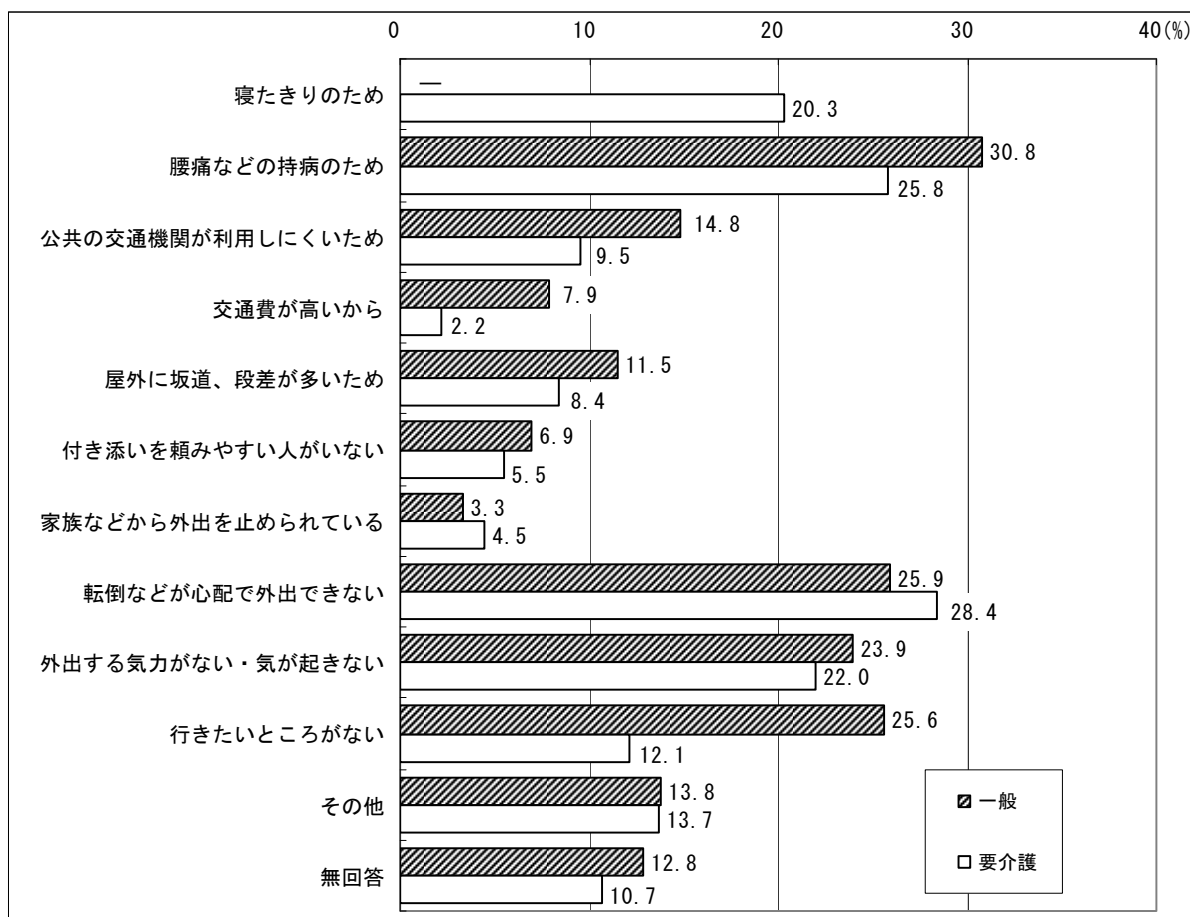
図表 495 交通手段



⑭外出しない理由

外出しない理由については、一般高齢者、要介護者ともに「腰痛などの持病のため」、「転倒などが心配で外出できない」をあげる人の割合が高くなっています。その他では、「行きたいところがない」、「外出する気力がない・気が起きない」をあげる人の割合が高くなっています。

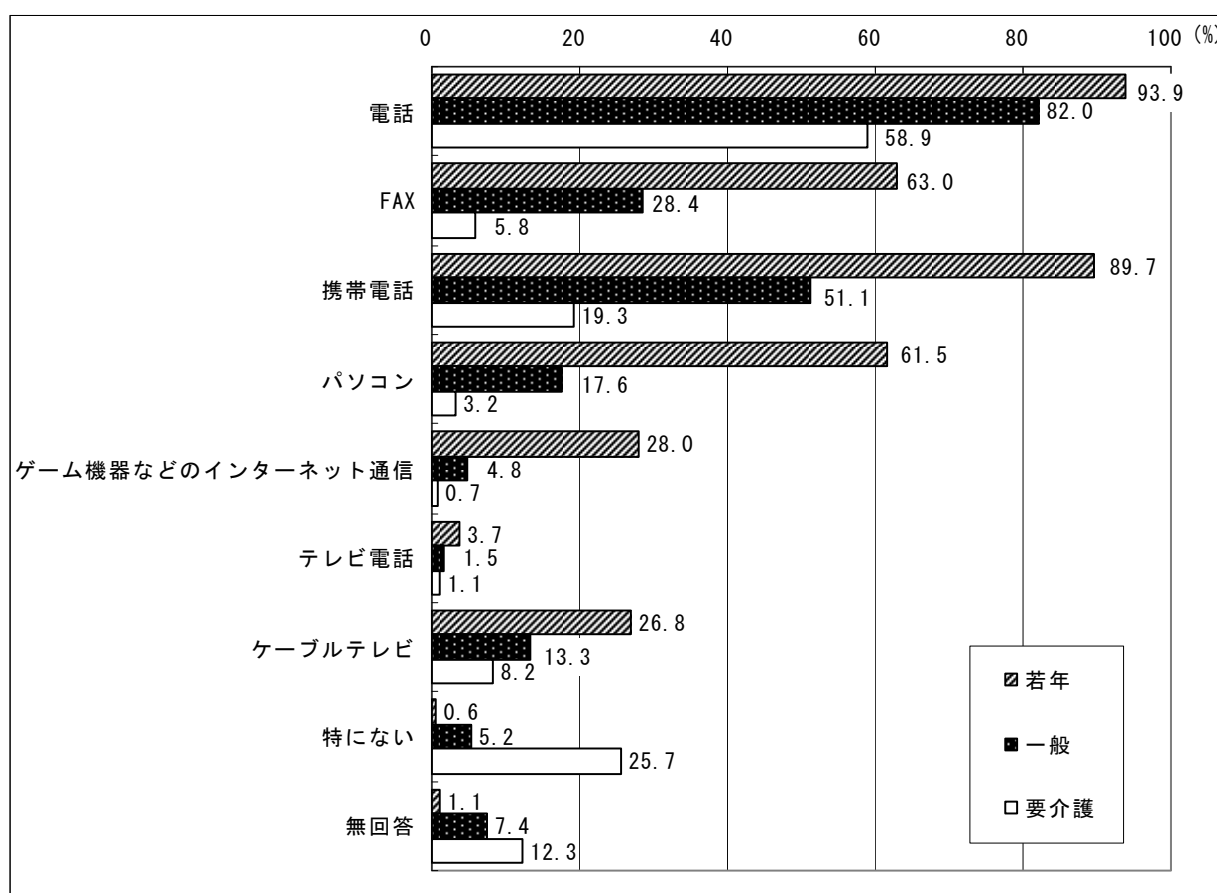
図表 496 外出しない理由（複数回答）



### ⑮利用している通信機器

利用している通信機器については、若年者、一般高齢者ともに「電話」の割合が最も高いのは同じですが、それ以外においては、「携帯電話」は若年者の約90%、一般高齢者の約51%が利用しています。一方、要介護者では「電話」が約59%、携帯電話は約19%の利用にとどまっています。

図表 497 利用している通信機器（複数回答）

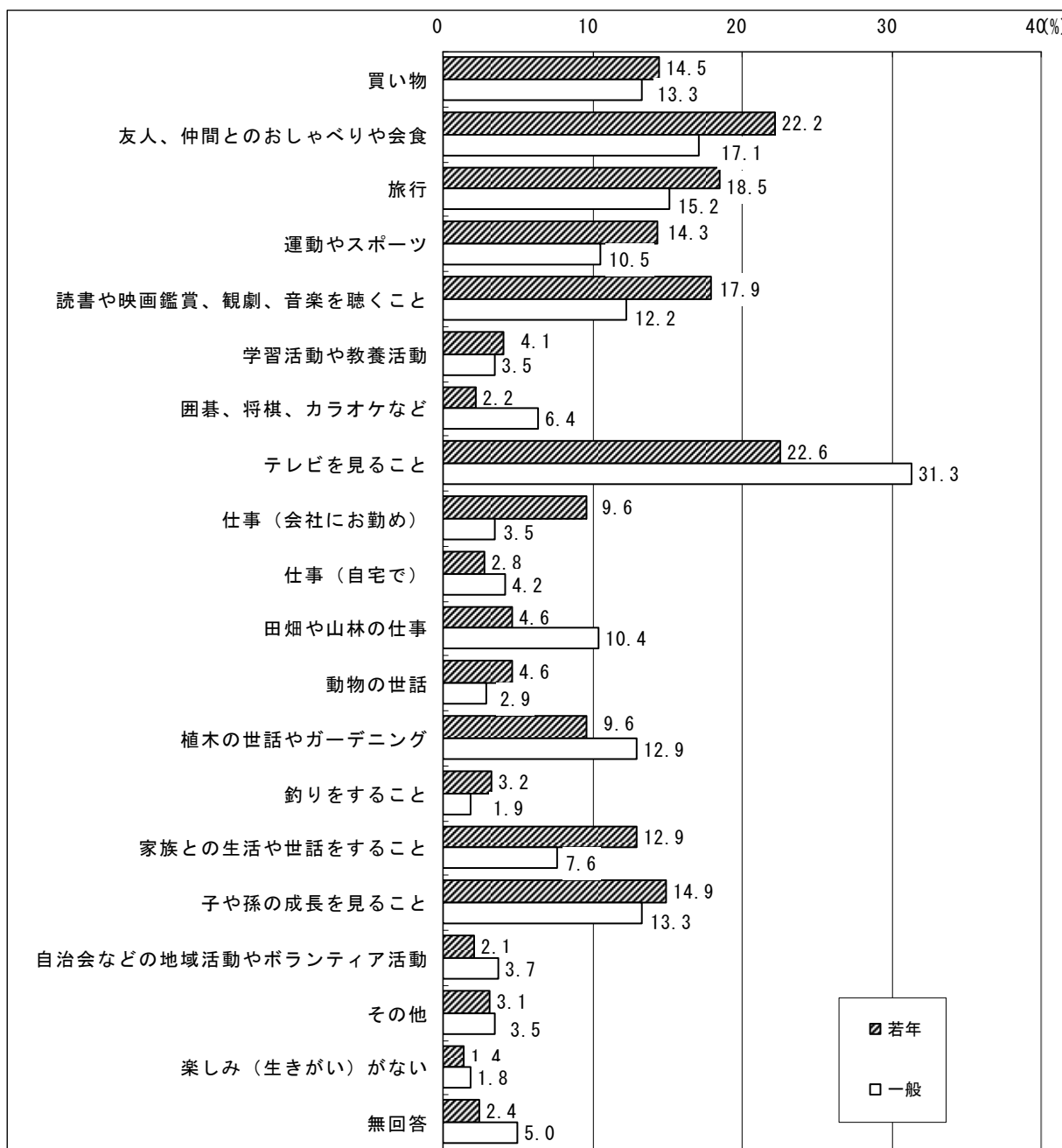


(4) 日常の楽しみや生きがい

① 日常の楽しみ(生きがい)

日常の楽しみ(生きがい)については、一般高齢者、若年者ともに「テレビを見ること」、「友人、仲間とおしゃべりや会食」、「旅行」を上位にあげているのは同じとなっています。

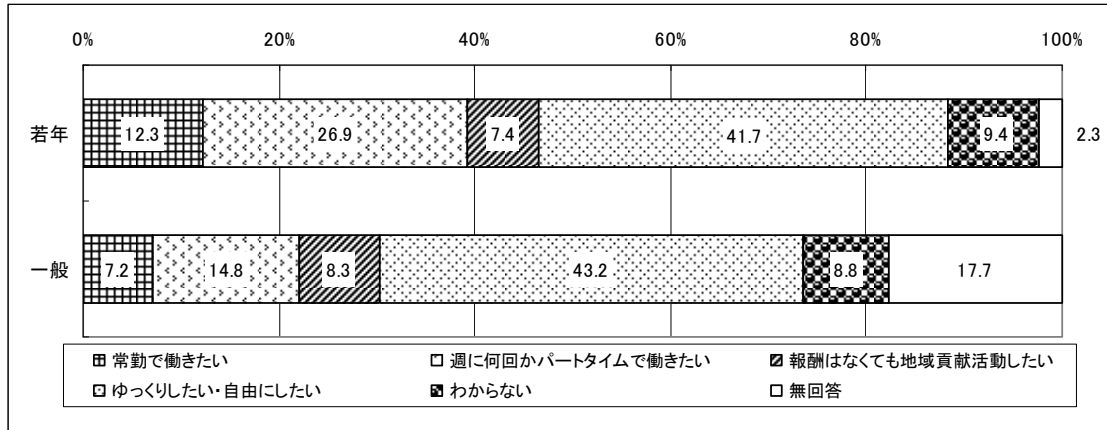
図表 498 日常の楽しみ(生きがい) [2つまで]



### ②65歳以降に働くことや活動することについて

65歳以降に働くことや活動することについては、常勤やパートタイムなど含めて、就労意向がある人は、一般高齢者が22%、若年者が約39%、「報酬はなくても地域貢献活動をしたい」人は一般高齢者が約8%、若年者が約7%、「ゆっくりしたい・自由にしたい」人は一般高齢者が約43%、若年者が約42%となっており、若年者の方が就労意向がある人の割合が約17ポイント高くなっています。それ以外については、ほぼ同割合となっています。

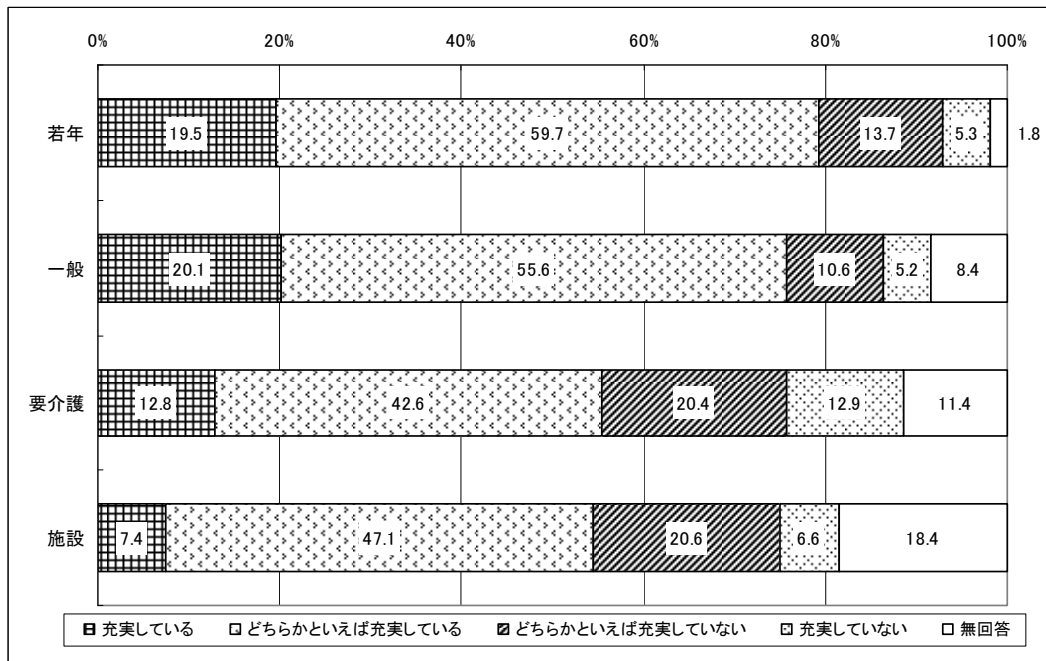
図表 499 65歳以降に働くことや活動することについて



### ③生活の充実度

生活の充実度については、一般高齢者、若年者ともに同様の傾向となっており、概ね充実していると感じている人が約76~79%いますが、要介護者、施設入所者では約55%にとどまっています。

図表 500 生活の充実度



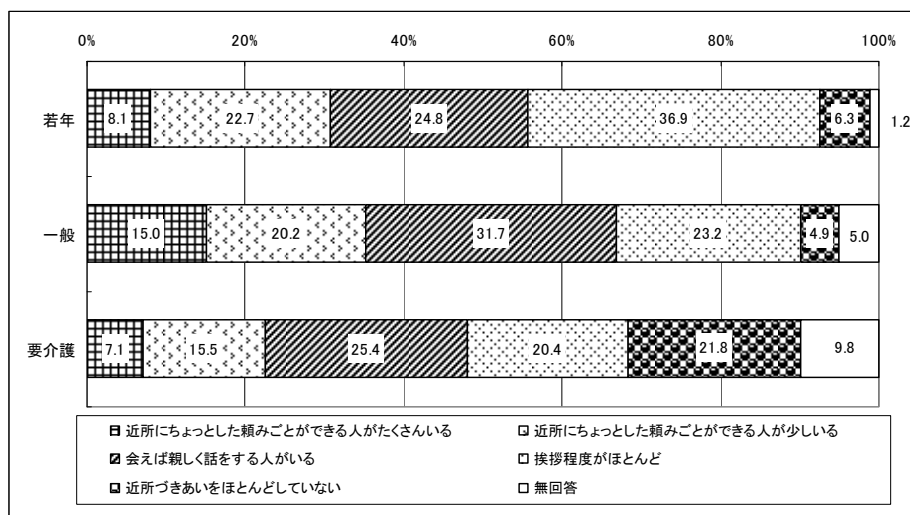


(5) 地域との関わり方

① 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度については、比較的親密な近所づきあいをしている人は、一般高齢者が約67%、要介護者が48%、若年者が約56%となっており、一般高齢者は親密な近所づきあいをしている人の割合が他に比べて高くなっています。

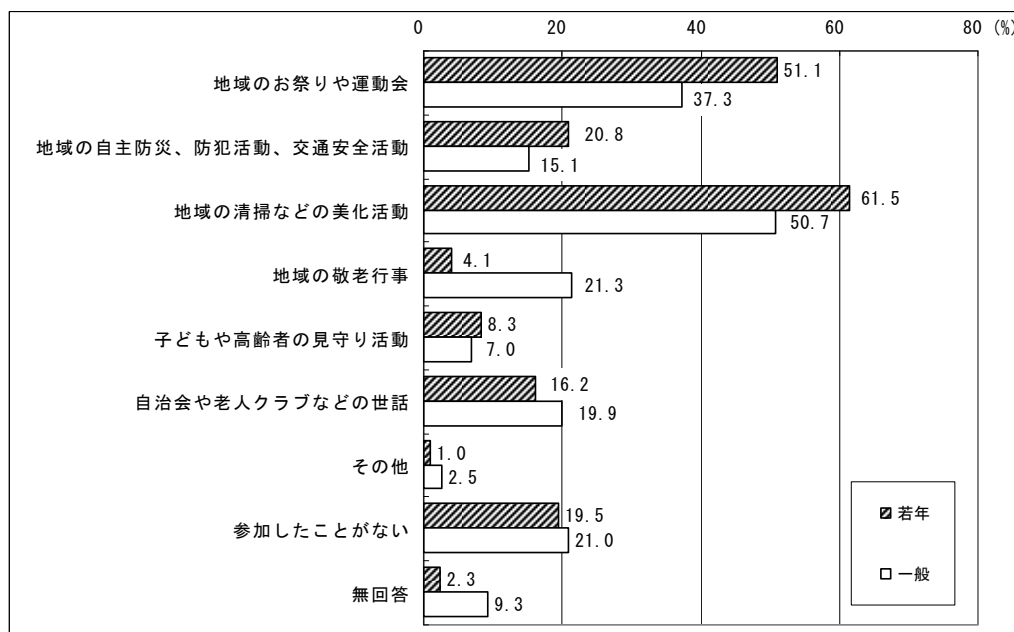
図表 501 近所づきあいの程度



② 参加したことがある地域行事や活動等

参加したことがある地域行事や活動等については、一般高齢者、若年者ともに概ね同様の傾向になっていますが、「地域の清掃などの美化活動」、「地域のお祭りや運動会」への参加率が高くなっています。一方、「参加したことがない」はともに20%前後となっています。

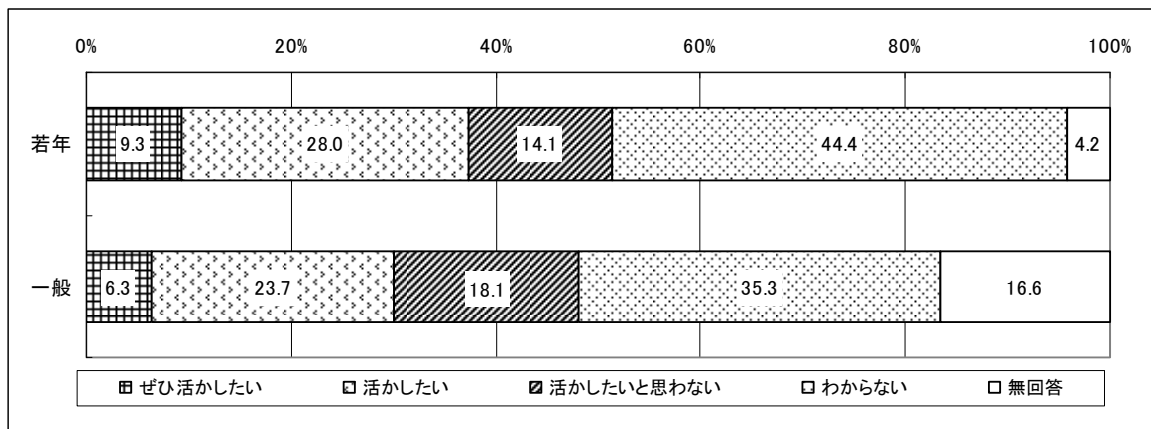
図表 502 参加したことがある地域行事や活動等（複数回答）



### ③高齢期に、経験や技術を活かしていきたいか

高齢期に、経験や技術を活かしていきたいかについては、活かしたいと考えている人が一般高齢者が30%、若年者が約37%います。

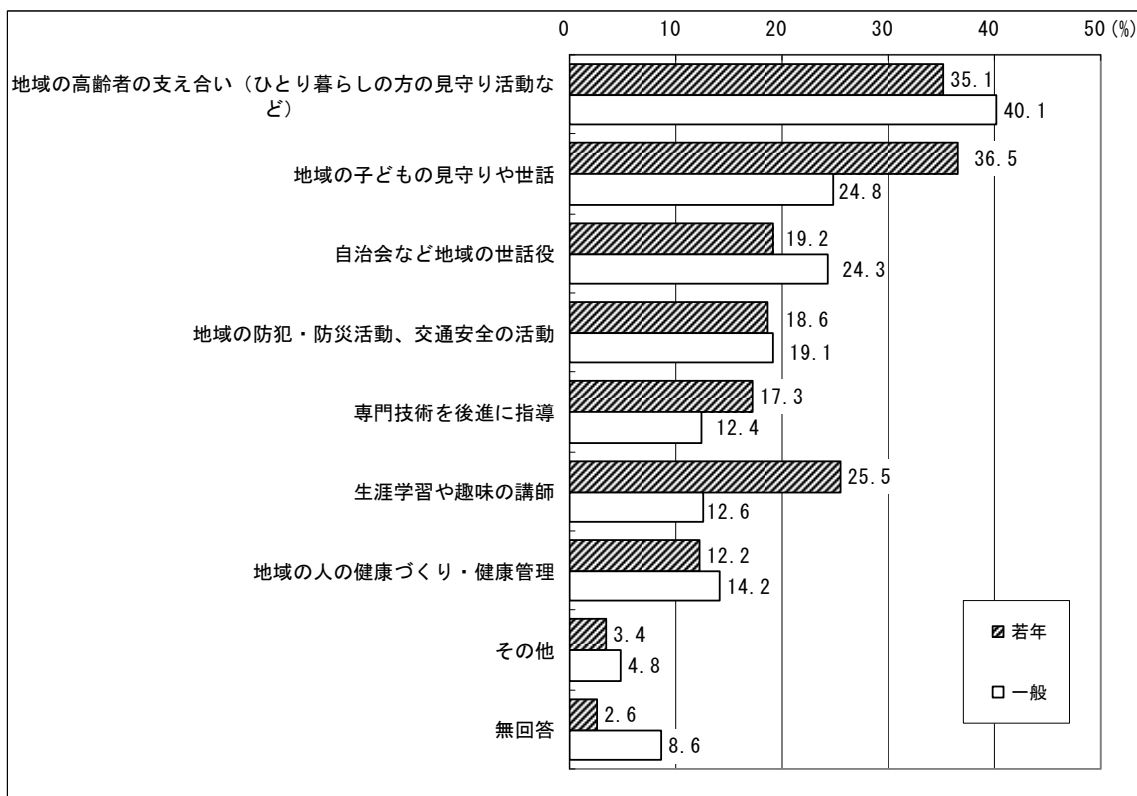
図表 503 高齢期に、経験や技術を活かしていきたいか



### ④経験や技術を活かしたい場面

経験や技術を活かしたい場面については、一般高齢者は「地域の高齢者の支え合い（ひとり暮らしの方の見守り活動など）」の割合が約40%と最も高くなっていますが、若年者は「地域の子どもの見守りや世話」の割合が約37%と最も高くなっています。

図表 504 経験や技術を活かしたい場面（複数回答）

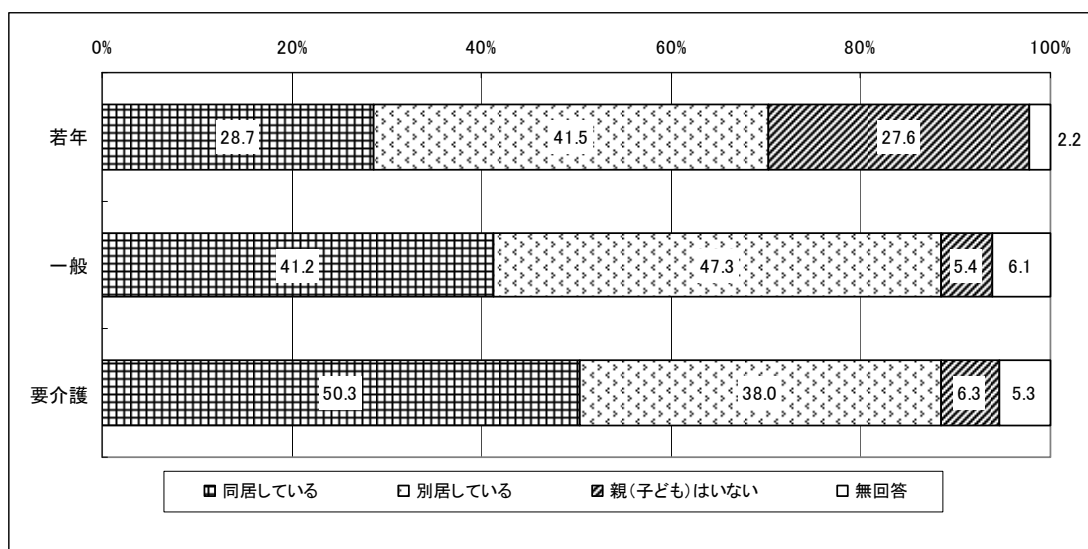


(6) 世代間のかかわり方

① 世帯の同居状況

世帯の同居状況については、「同居している」のは、若年者が約 29%、一般高齢者が約 41%、要介護者が約 50%となっています。

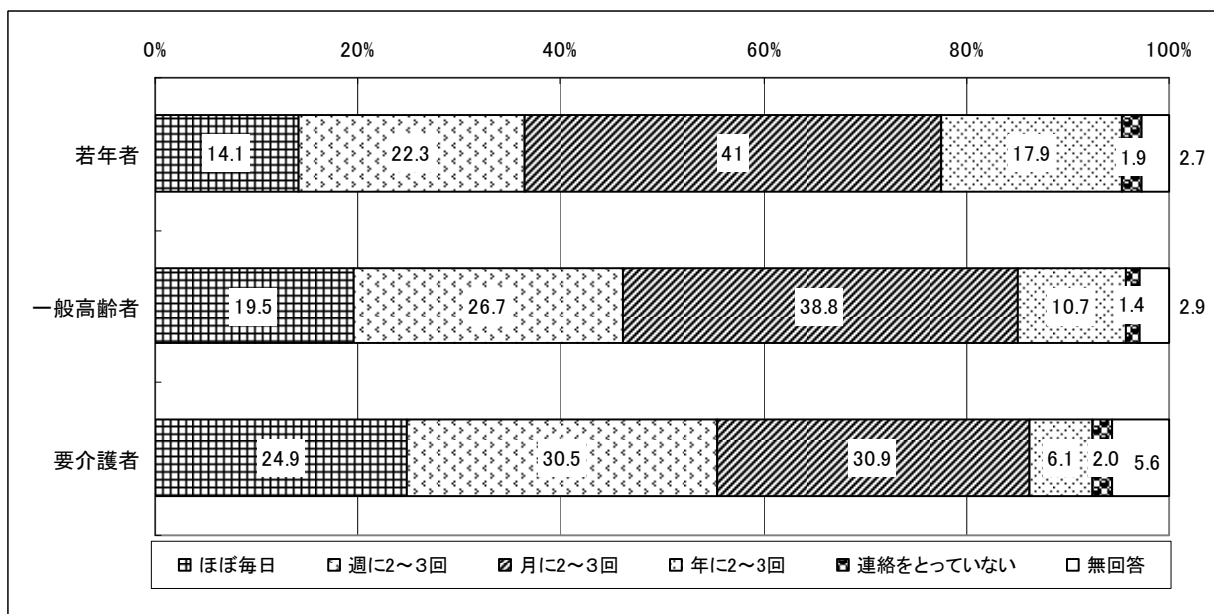
図表 505 世帯の同居状況



② 別居している親(子ども)と連絡をとる頻度

別居している親(子ども)と連絡をとる頻度については、「ほぼ毎日」、「週に2~3回」といったように頻繁に連絡をとっている人は、若年者が約 35%、一般高齢者が約 46%、要介護者が約 55%となっています。

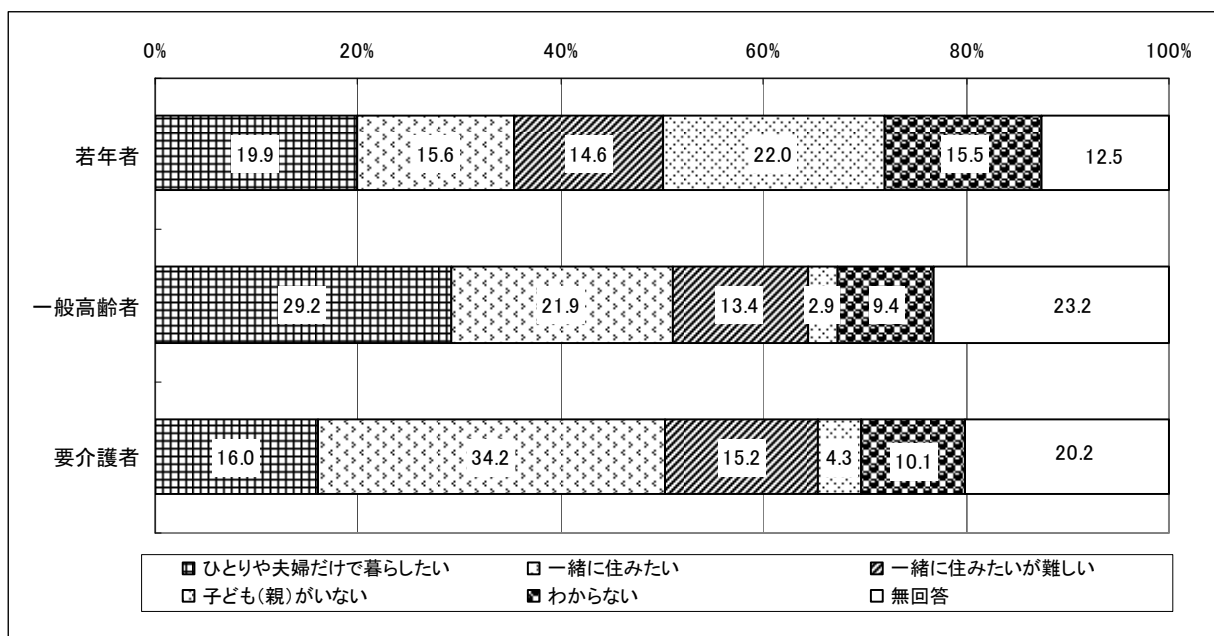
図表 506 別居している親(子ども)と連絡をとる頻度



### ③子ども(親)との今後の同居意向

子ども(親)との今後の同居意向については、「ひとりや夫婦だけで暮らしたい」が、若年者で約20%、一般高齢者で約29%となっていますが、要介護者は「一緒に住みたい」が約34%を占めています。

図表 507 子ども(親)との今後の同居意向



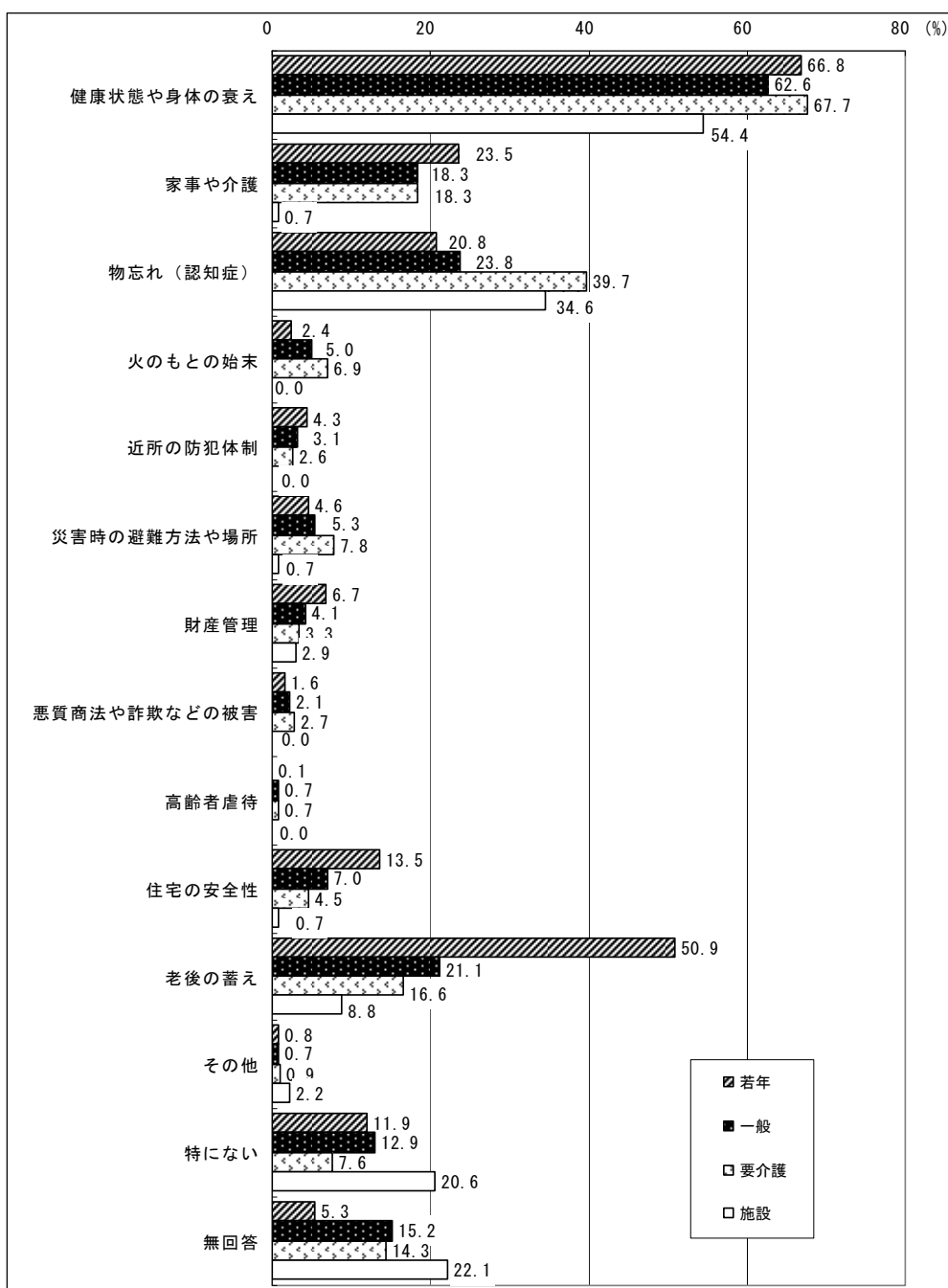
(7)安全・安心について

①自身や身近な人に関する不安

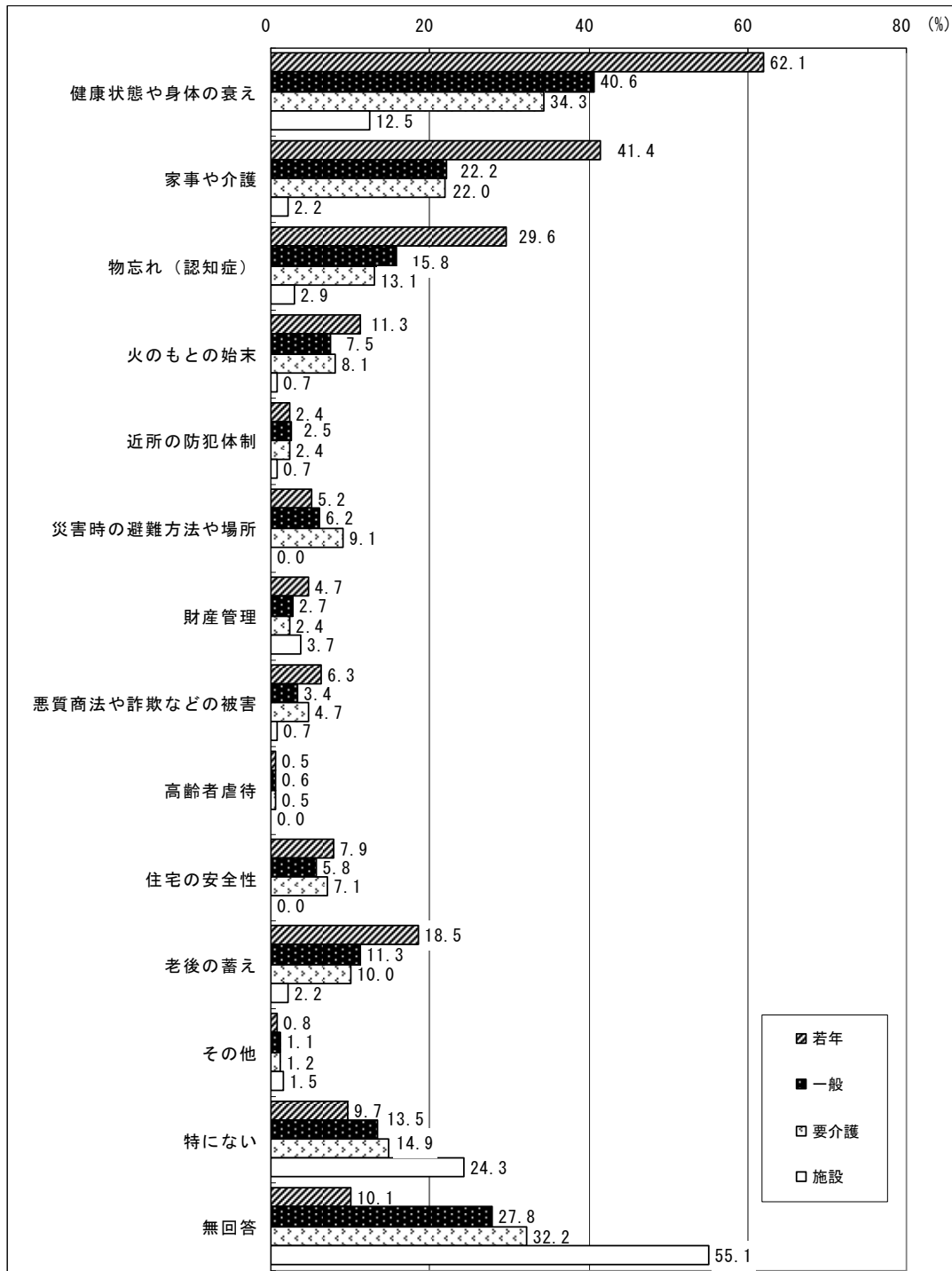
自身に関する不安については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに「健康状態や身体の衰え」をあげる人の割合が最も高くなっているのは同じですが、その他では、若年者は「老後の蓄え」を、一般高齢者、要介護者では「物忘れ（認知症）」をあげる人の割合が高くなっています。

また、身近な人に関する不安については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに「健康状態や身体の衰え」、「家事や介護」、「物忘れ（認知症）」をあげる人の割合が高くなっています。

図表 508 自身に関する不安（3つまで）



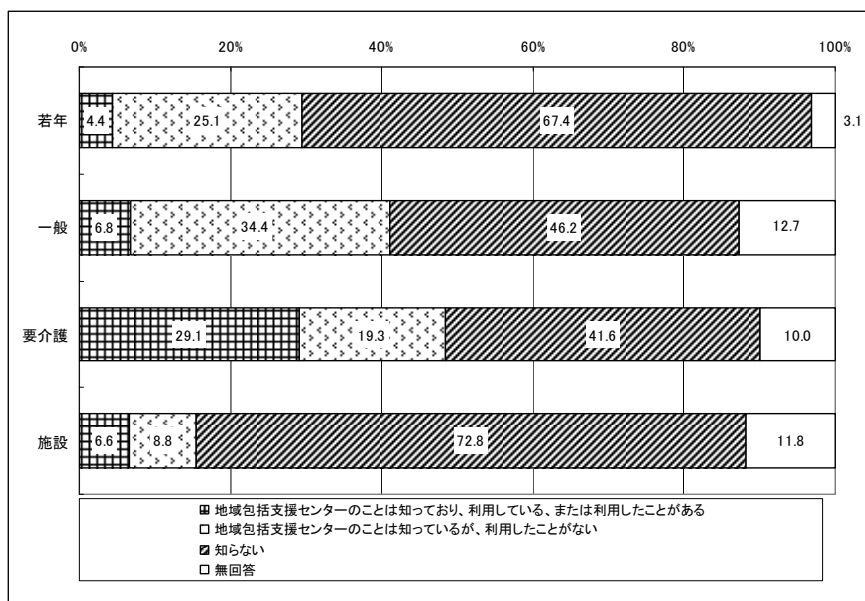
図表 509 身近な人に関する不安 (3つまで)



## ②地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知状況については、「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」のは、要介護者で約29%であるのに対し、一般高齢者、若年者ともに約4～7%にとどまっています。また、地域包括支援センターを知っている人は要介護者が約48%、一般高齢者が約41%、若年者が約30%となっており、若年者の認知度の低さがめだちます。

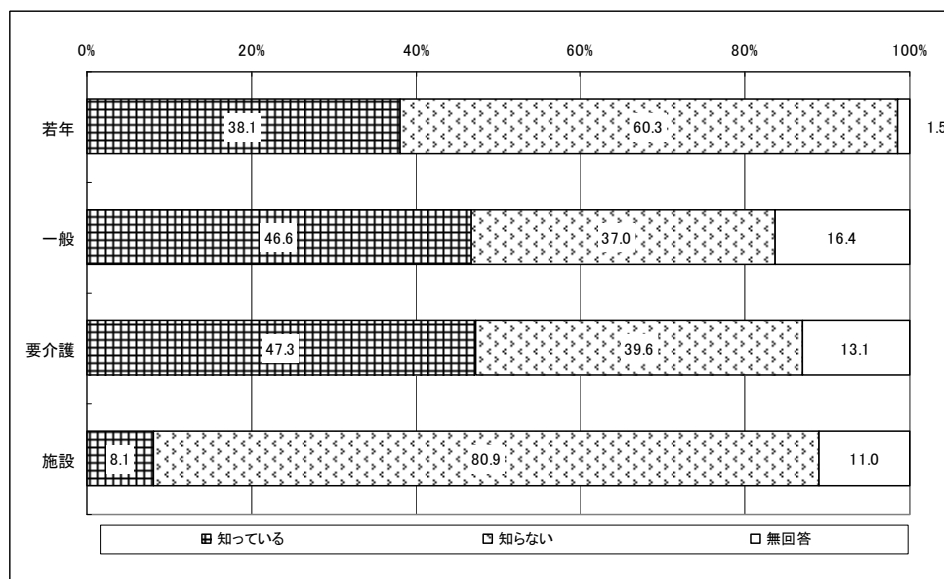
図表 510 地域包括支援センターの認知状況



## ③地区担当の民生委員の認知度

地区担当の民生委員を知っているかについては、一般高齢者、要介護者の半数弱が「知っている」としている一方で、若年者は約38%にとどまっています。

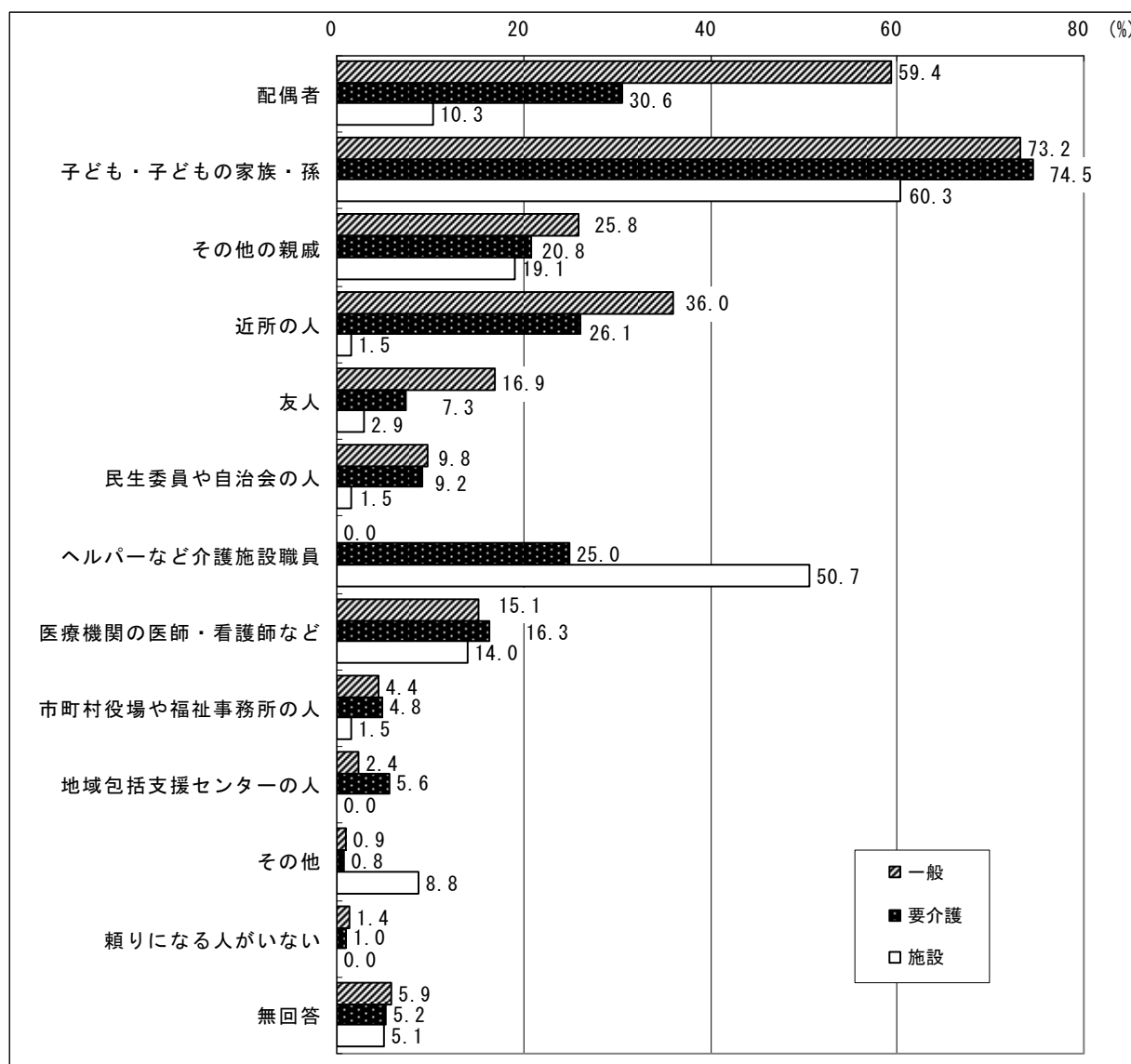
図表 511 地区担当の民生委員の認知度



#### ④緊急時に頼りになる人

緊急時に頼りになる人については、一般高齢者、要介護者、施設入所者ともに「子ども・子どもの家族・孫」をあげる人の割合が最も高くなっています。それ以外では、一般高齢者、要介護者は「配偶者」をあげる人の割合が高いのに対し、施設入所者では「ヘルパーなど介護施設職員」をあげる人の割合が高くなっています。

図表 512 緊急時に頼りになる人（複数回答）



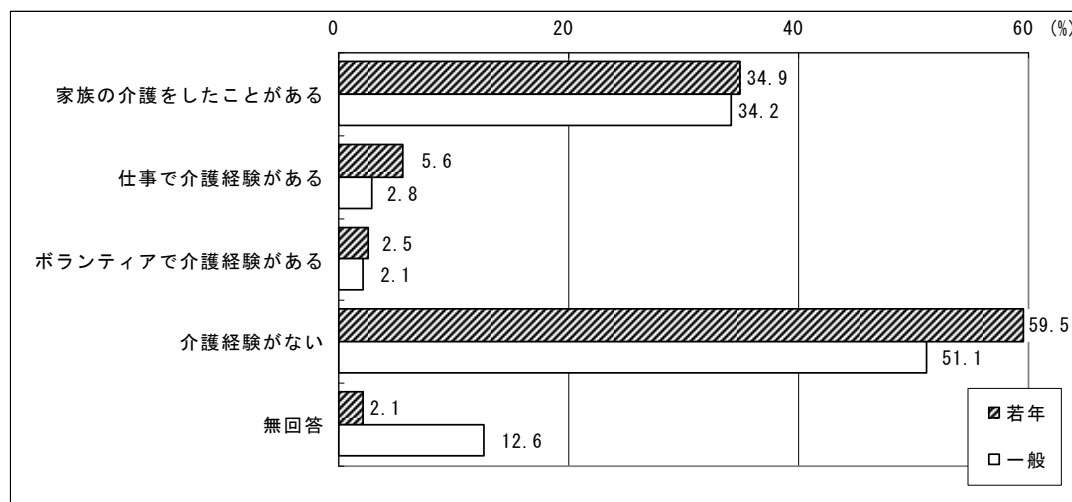


## (8) 介護保険や介護などについて

### ① 介護経験について

介護経験については、若年者、一般高齢者ともに、「介護経験がない」が約半数を占めています。一方、何らかの介護経験のある人は約 36～38%おり、なかでも「家族の介護をしたことがある」が大半を占めています。

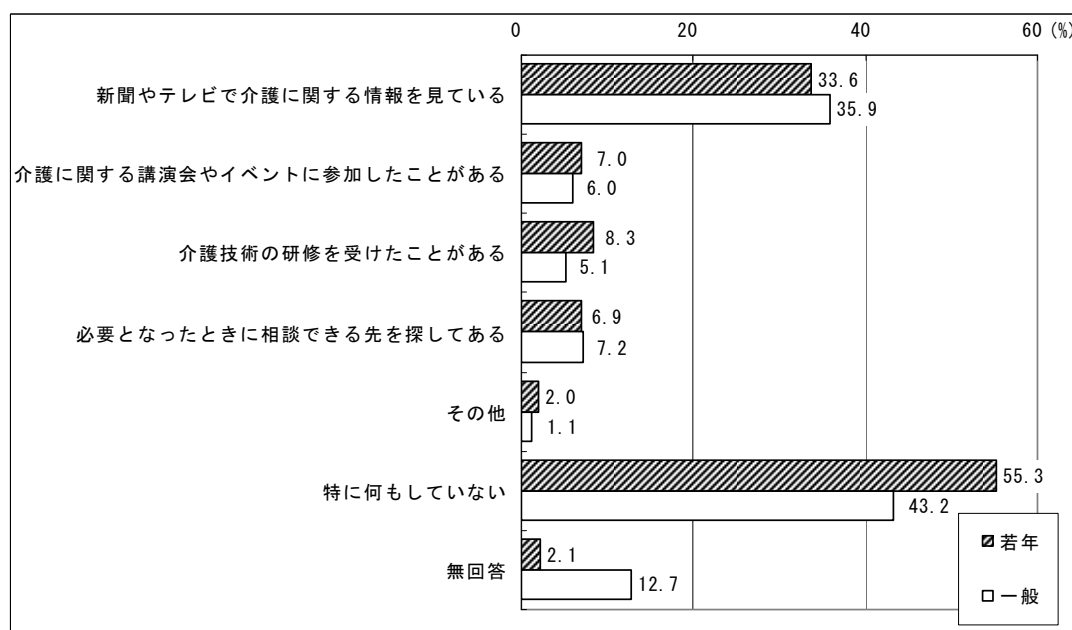
図表 513 介護経験について（複数回答）



### ② 介護予防について何かしていること

介護予防について何かしていることは、若年者、一般高齢者ともに「特に何もしていない」の割合が最も高く、それぞれ約 55%、約 43%となっています。一方、何かしている人はともに 45%前後おり、なかでも「新聞やテレビで介護に関する情報を見ている」が高くなっています。

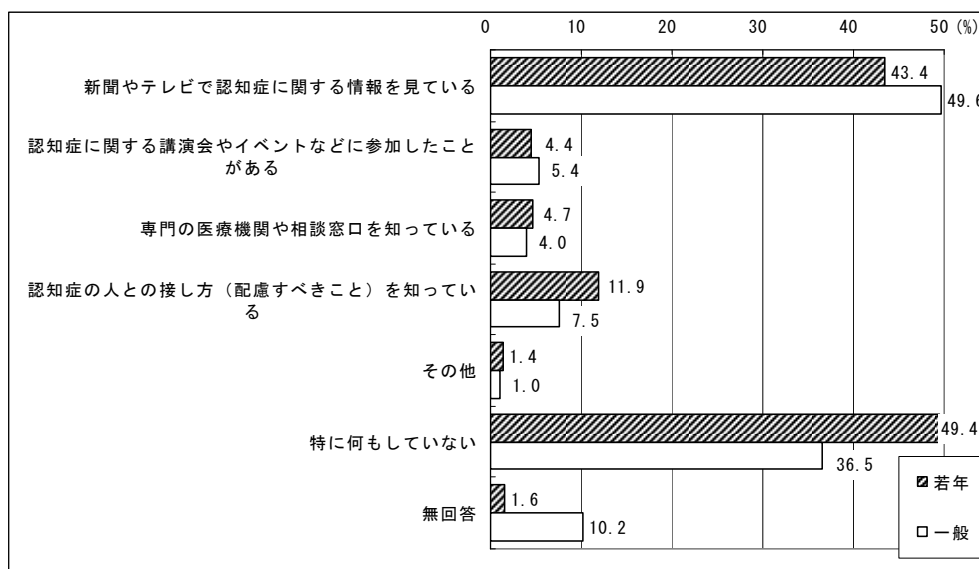
図表 514 介護予防について何かしていること（複数回答）



### ③認知症について何かしていること

認知症について何かしている人は、若年者、一般高齢者ともに50%前後おり、なかでも「新聞やテレビで認知症に関する情報を見ている」の割合が最も高くなっています。

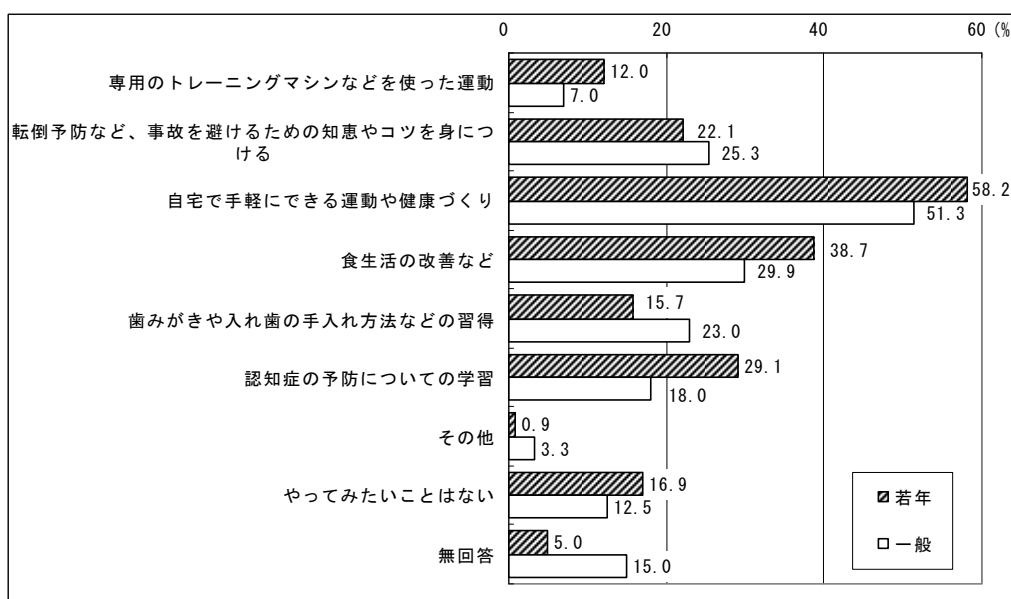
図表 515 認知症について何かしていること（複数回答）



### ④要介護にならないための取組みをやってみたいこと

要介護にならないための取組みについては、若年者、一般高齢者ともに上位にあげられているものに大きな違いはみられず、「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」をあげる人が半数を超えています。その他では、「食生活の改善など」、「転倒予防など事故を避けるための知恵やコツを身につける」があげられています。

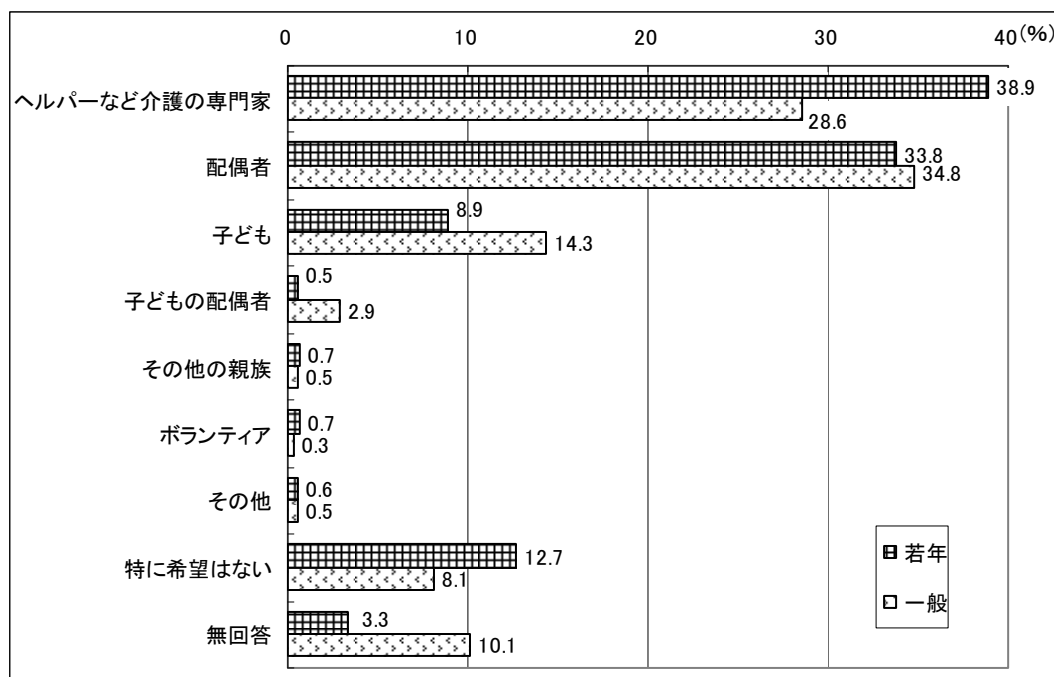
図表 516 要介護にならないための取組みをやってみたいこと（複数回答）



### ⑤自分が自宅で介護される場合に希望する介護者

自分が自宅で介護される場合に希望する介護者は、若年者、一般高齢者ともに「ヘルパーなど介護の専門家」、「配偶者」をあげる人の割合が高くなっていますが、若年者は一般高齢者に比べて「ヘルパーなど介護の専門家」をあげる人の割合が約10ポイント高くなっています。

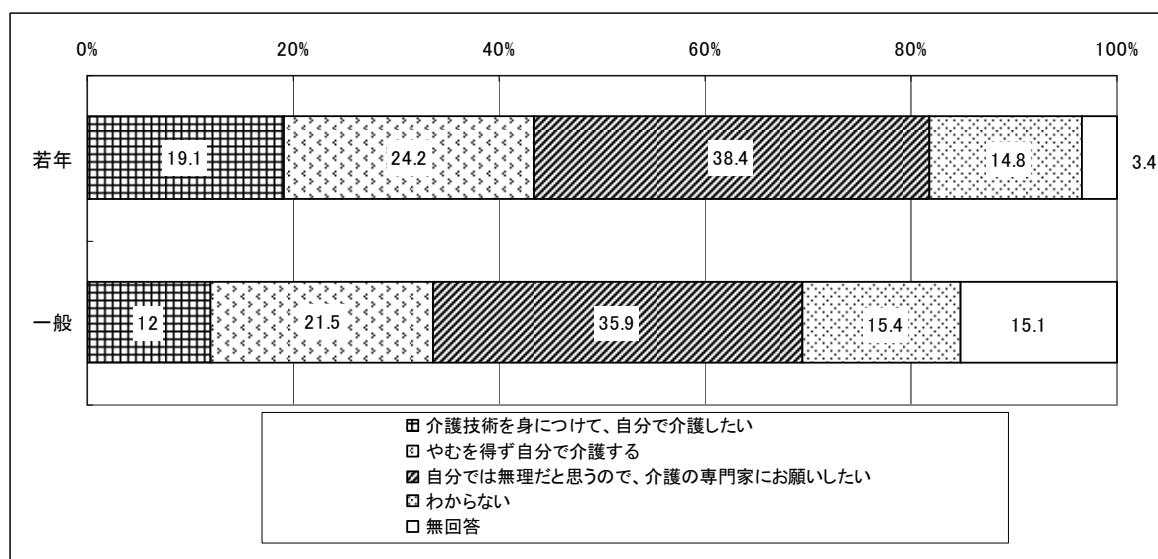
図表 517 自分が自宅で介護される場合に希望する介護者



### ⑥配偶者や親など親族を介護することについて

配偶者や親など親族を介護することについては、若年者、一般高齢者ともに「自分では無理だと思うので、介護の専門家をお願いしたい」をあげる人の割合が最も高くなっています。

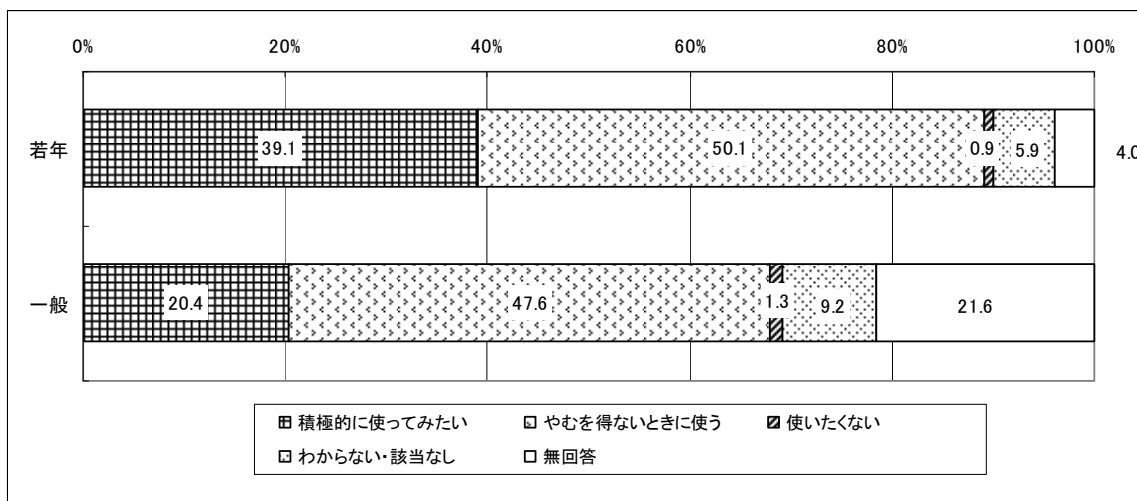
図表 518 配偶者や親など親族を介護することについて



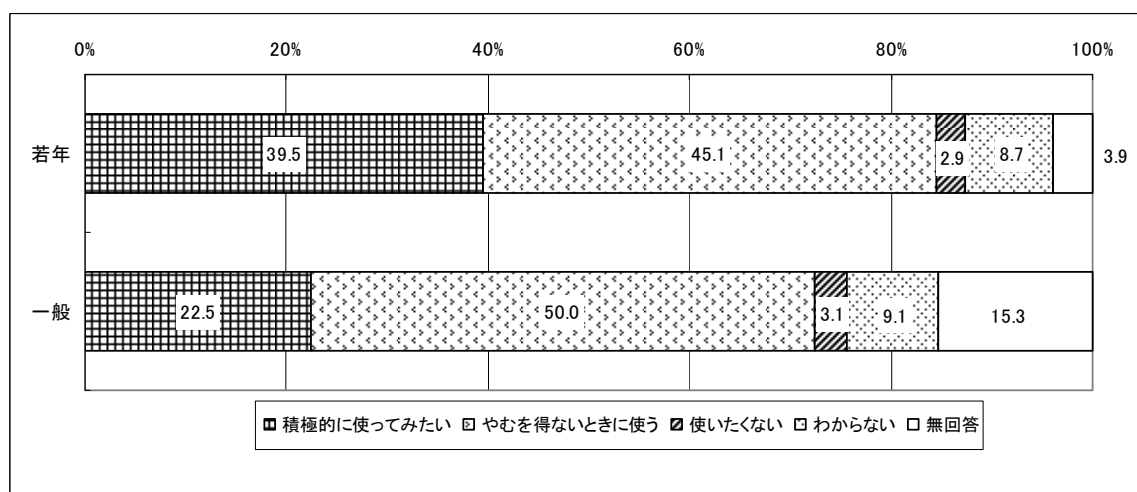
### ⑦介護をする場合や介護を受ける場合の介護サービスの利用希望

親や配偶者の介護をする場合、自分自身が介護を受ける場合の介護サービスの利用希望については、どちらも若年者、一般高齢者ともに約半数が「やむを得ないときに使う」としていますが、それ以外では、若年者は「積極的に使ってみたい」が40%弱입니다。

図表 519 親や配偶者の介護をする場合の介護サービスの利用希望



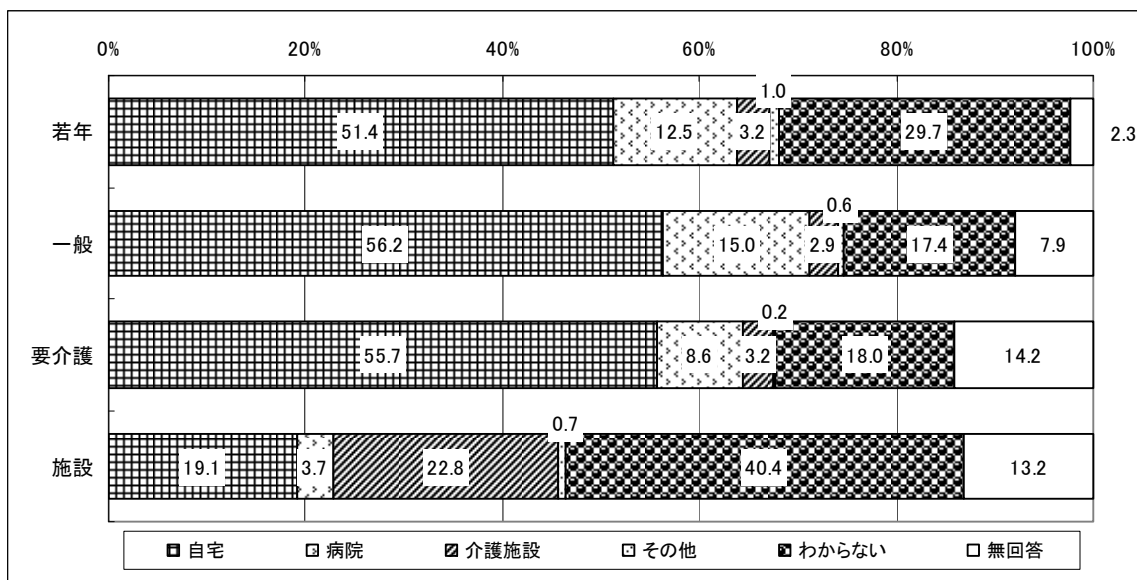
図表 520 介護を受ける場合の介護サービスの利用希望



### ⑧最期を迎えたい場所

どこで最期を迎えたいと思うかについては、若年者、一般高齢者、要介護者ともに半数強が「自宅」をあげています。

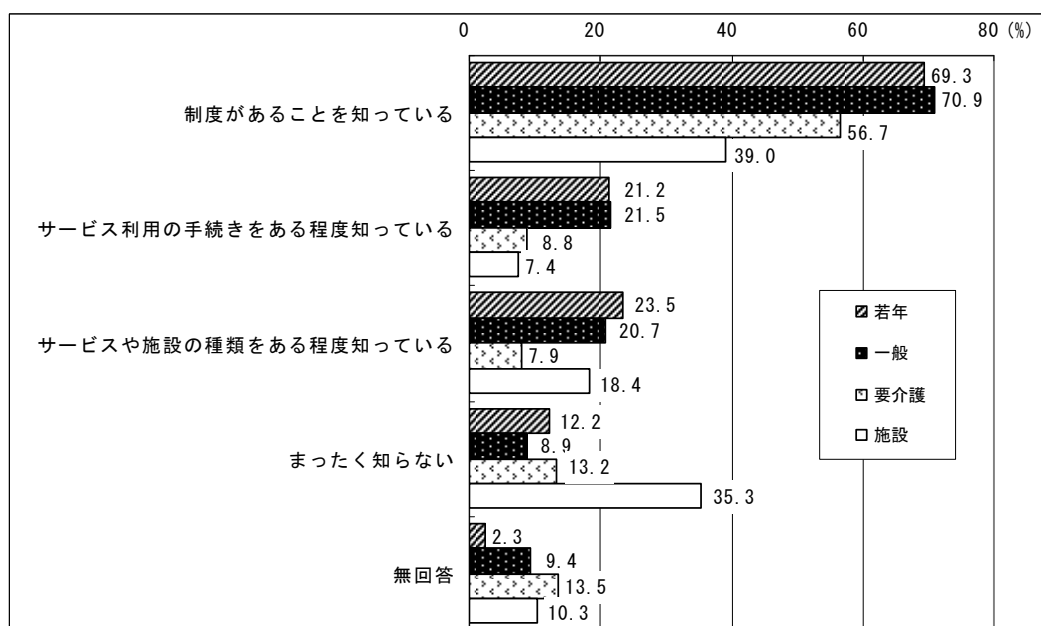
図表 521 最期を迎えたい場所



### ⑨介護保険制度についての認知度

介護保険制度についての認知度については、若年者、一般の70%前後が「制度があることを知っている」としてはいますが、要介護者は約57%、施設入所者は39%にとどまっています。その他では、「サービス利用の手続きをある程度知っている」、「サービスや施設の種別をある程度知っている」をあげているのは、若年者、一般高齢者ともに約21~24%となっています。

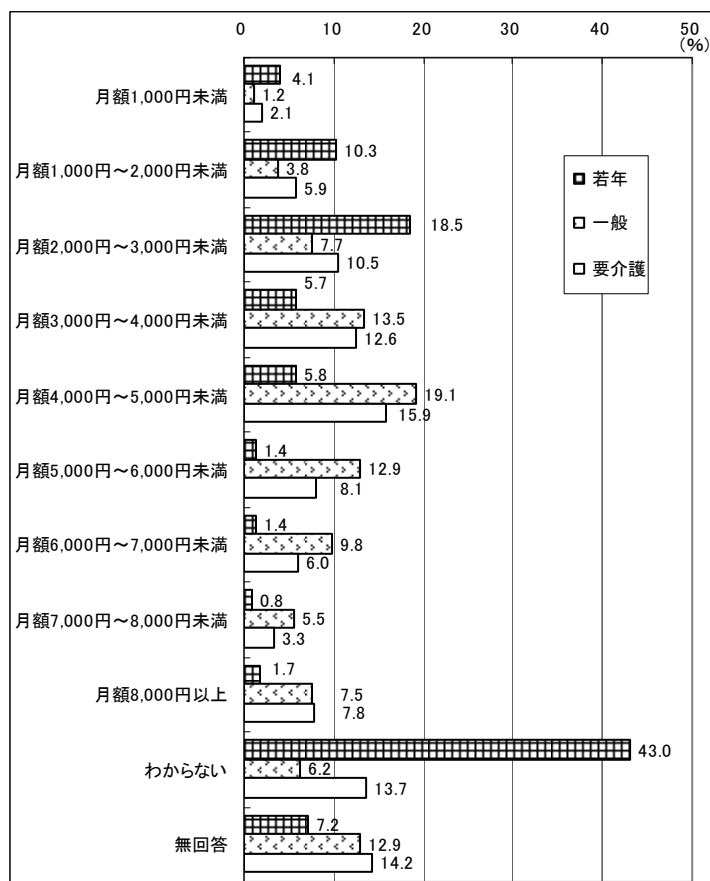
図表 522 介護保険制度についての認知度



### ⑩現在支払っている介護保険料

現在支払っている介護保険料については、一般高齢者、要介護者ともに「月額 4,000 円～5,000 円未満」の割合が最も高く、次いで、「月額 3,000 円～4,000 円未満」となっています。

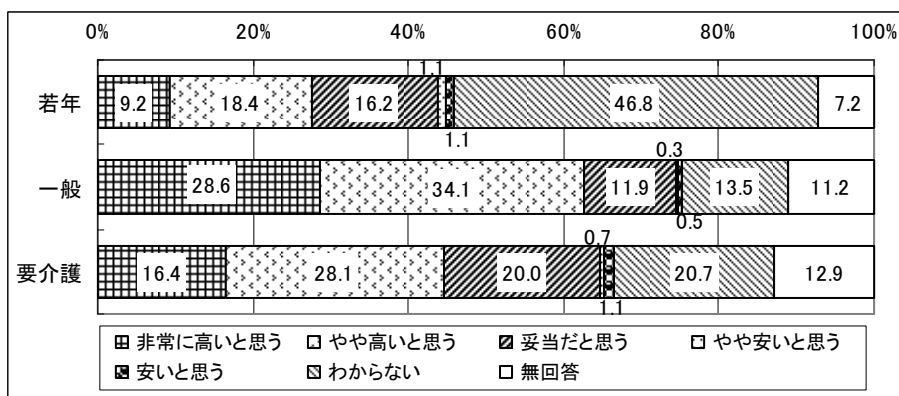
図表 523 現在支払っている介護保険料



### ⑪支払っている介護保険料の金額についての考え

支払っている介護保険料の金額については、高いと感じている人は一般高齢者で約 63%、要介護者で約 45%と、一般高齢者の方が約 18 ポイント高くなっています。

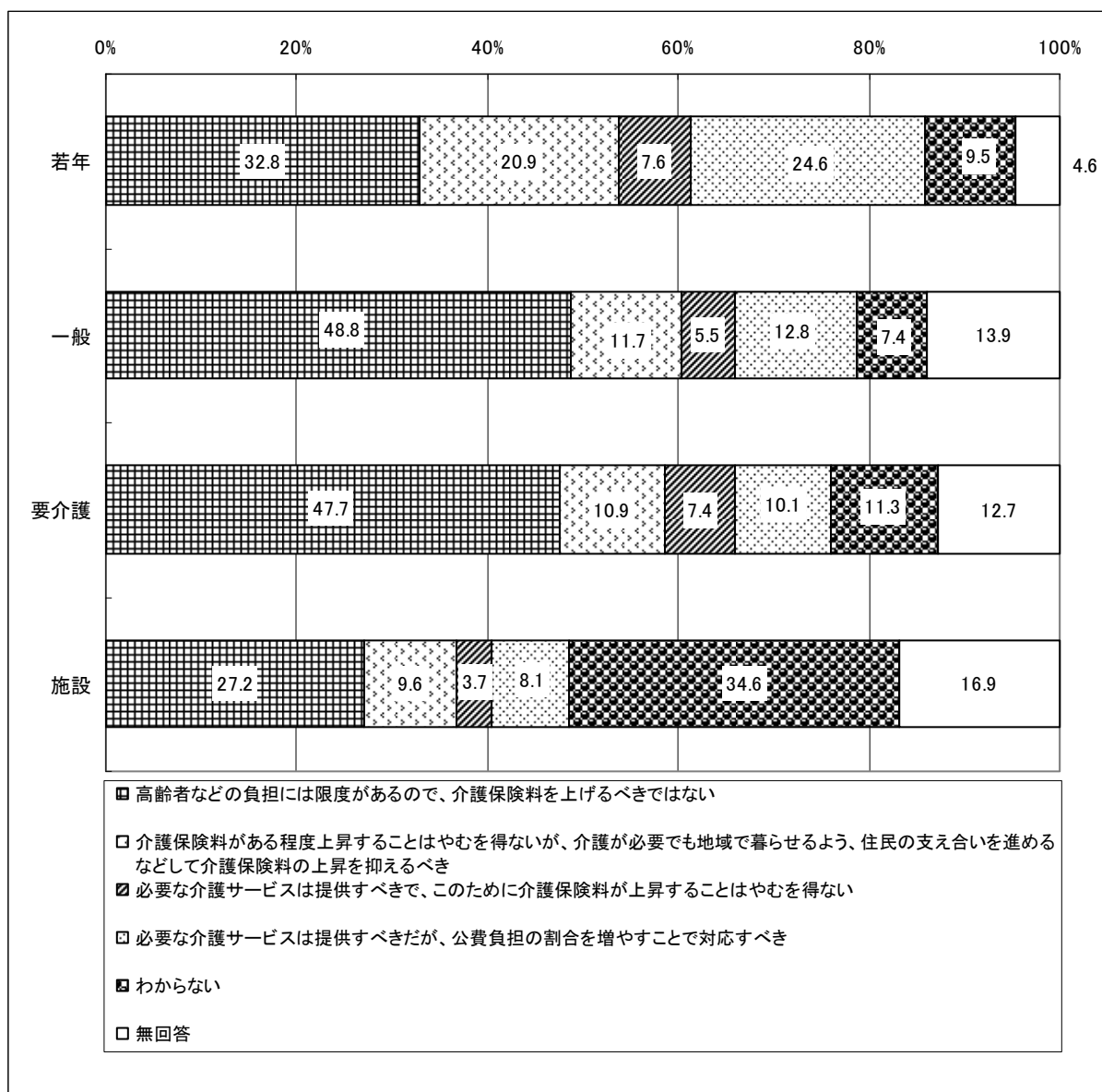
図表 524 支払っている介護保険料の金額について



⑫介護保険の今後の費用負担のあり方について

介護保険の今後の費用負担のあり方については、一般高齢者、要介護者では半数弱が「高齢者などの負担には限度があるので、介護保険料を上げるべきではない」としています。一方、若年者では「高齢者などの負担には限度があるので、介護保険料を上げるべきではない」をあげる人の割合が約 33%であるの対し、「必要な介護サービスは提供すべきだが、公費負担の割合を増やすことで対応すべき」が約 25%、「介護保険料がある程度上昇することはやむを得ないが、介護が必要でも地域で暮らせるよう、住民の支え合いを進めるなどして介護保険料の上昇を抑えるべき」が約 21%と、費用負担のあり方に対する意見が分かれています。

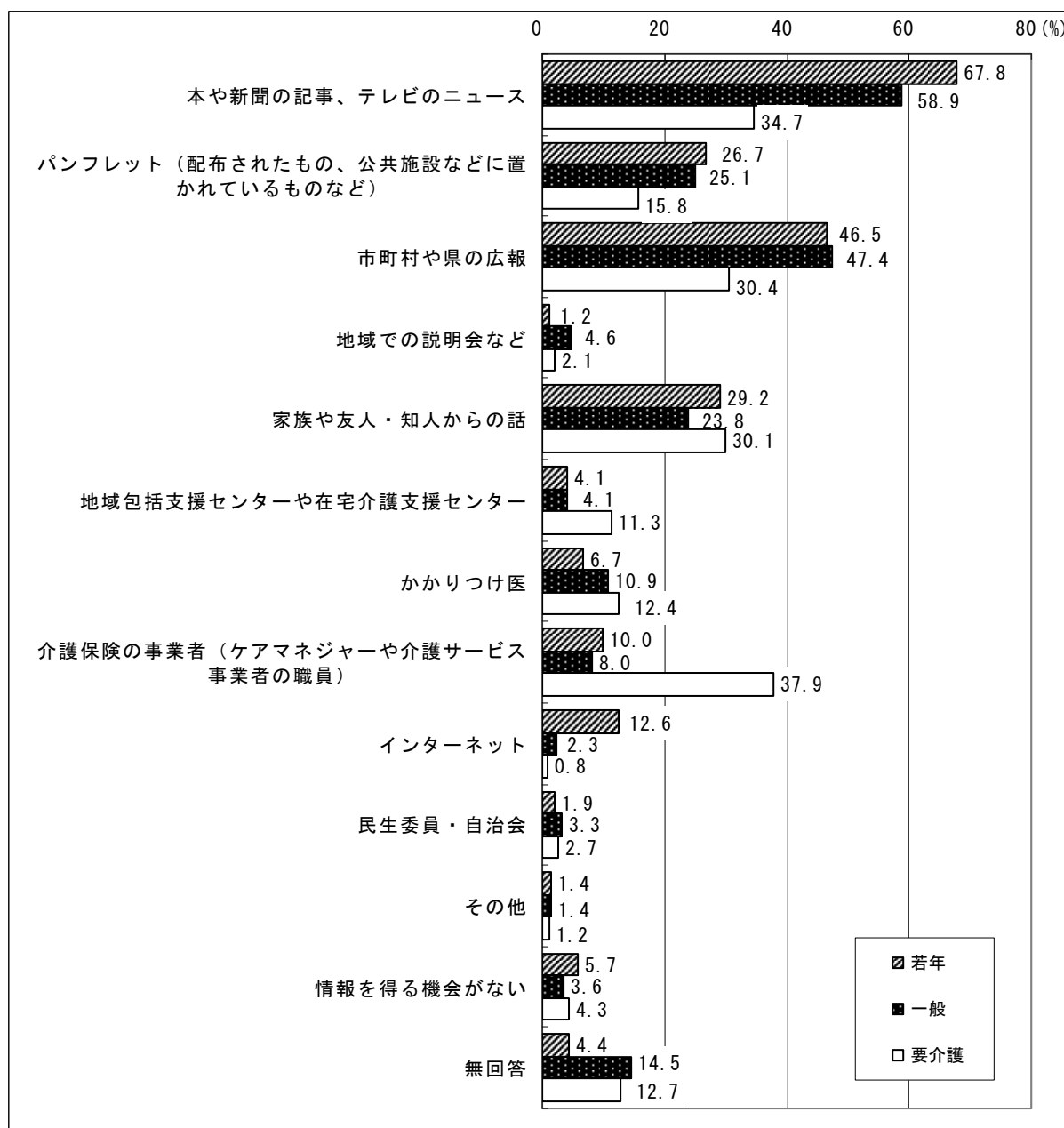
図表 525 介護保険の今後の費用負担のあり方について



### ⑬介護や保健、医療等に関する情報の入手方法

介護や保健、医療等に関する情報の入手方法については、若年者、一般高齢者ともに同様の傾向となっており、「本や新聞の記事、テレビのニュース」をあげる人の割合が最も高くなっています。一方、要介護者では「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」をあげる人の割合が最も高くなっています。

図表 526 介護や保健、医療等に関する情報の入手方法（複数回答）

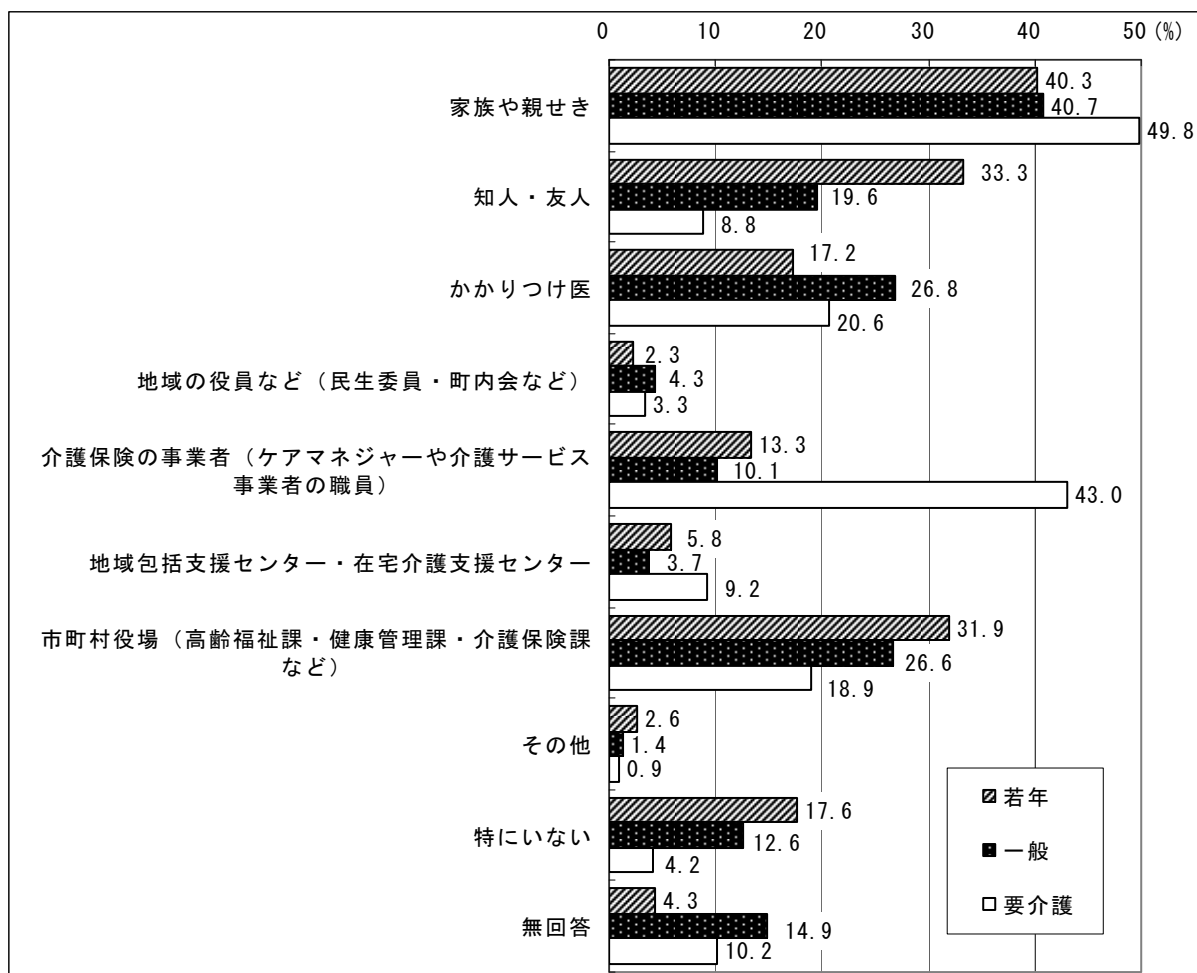




⑭介護や保健、医療等に関することでの相談相手

介護や保健、医療等に関することでの相談相手については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに「家族や親せき」をあげる人の割合が最も高いのは同じですが、その次に高いのは、若年者は「知人・友人」、一般高齢者は「かかりつけ医」、要介護者は「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」となっています。

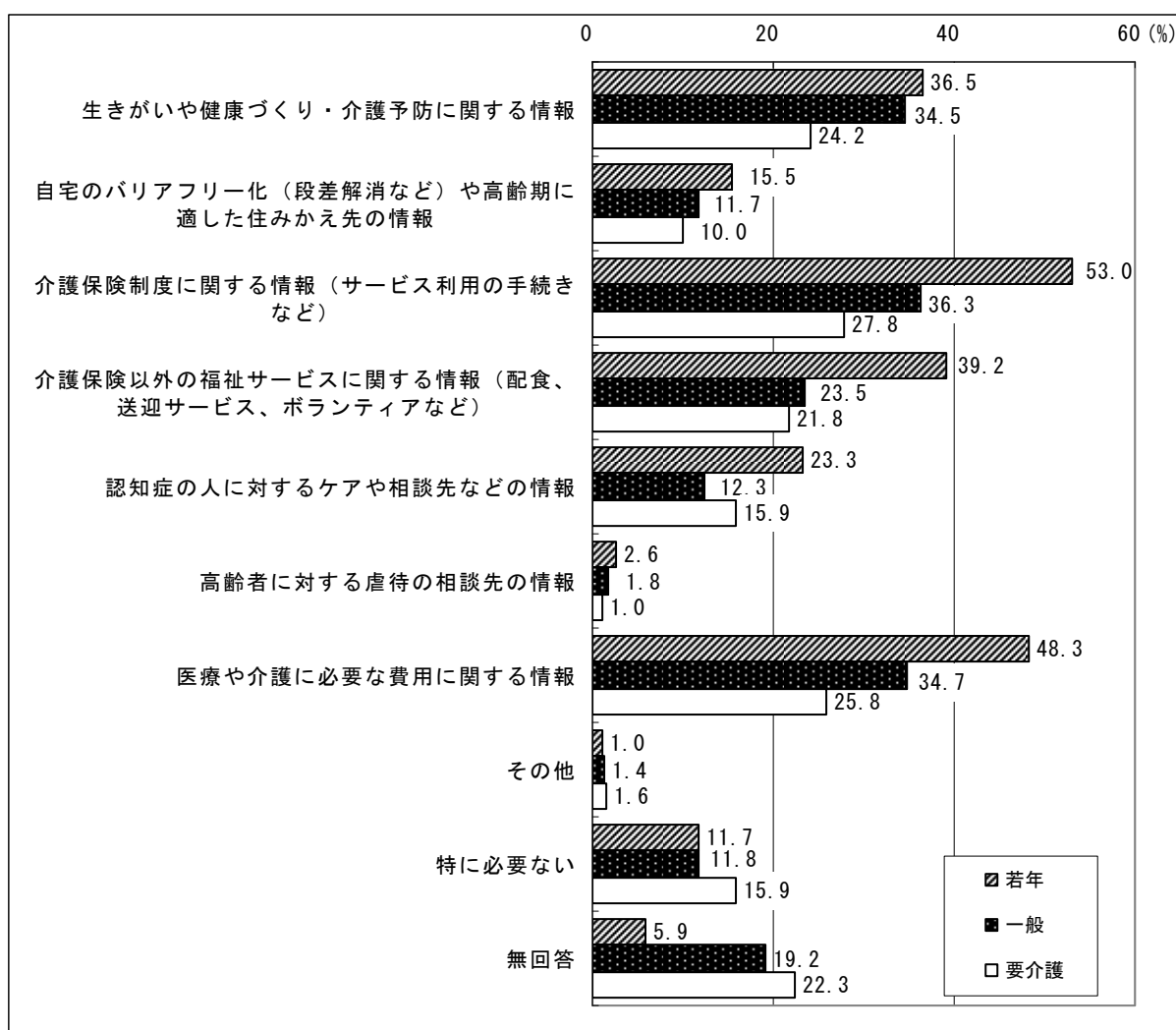
図表 527 介護や保健、医療等に関することでの相談相手（複数回答）



### ⑮介護や保健、医療等に関することでほしい情報

介護や保健、医療等に関することでほしい情報については、若年者、一般高齢者、要介護者ともに上位にあげているものに大きな違いはみられず、「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」、「医療や介護に必要な費用に関する情報」、「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報」といったことがあげられています。

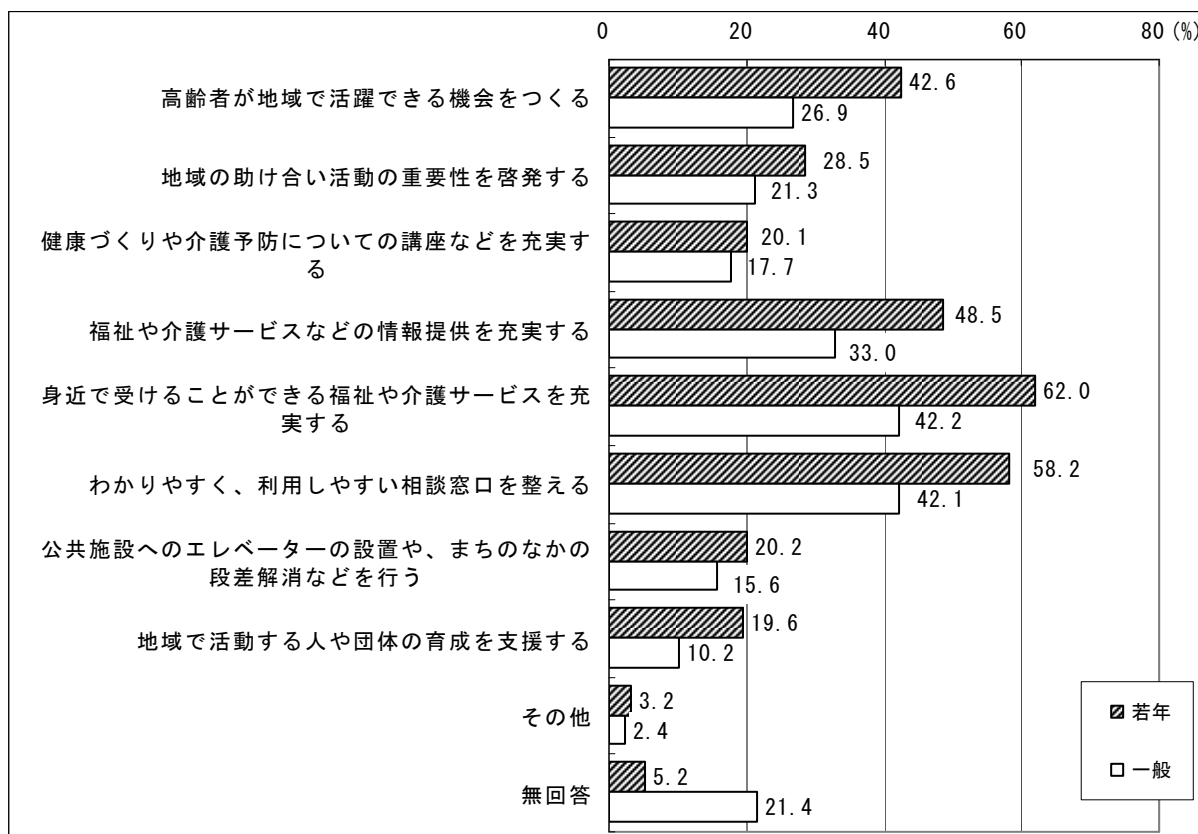
図表 528 介護や保健、医療等に関することでほしい情報（複数回答）



⑩行政が重点的に取り組むべきことについて

行政が重点的に取り組むべきことについては、若年者、一般高齢者ともに上位にあげられているものに大きな違いはみられず、「身近で受けることができる福祉や介護サービスを充実する」、「わかりやすく、利用しやすい相談窓口を整える」があがっています。

図表 529 行政が重点的に取り組むべきことについて（複数回答）



## 2. 若年者、一般高齢者の健康状態について

現在の健康状態のよい人の特徴としては、  
若年者では、

- ・ 年齢が低い方が健康な人の割合が高くなっています。ただし、年齢が高くなっても、持病はあるものの、生活に支障がない人の割合が高くなっています。
- ・ 年収が高くなるにつれ、健康で病気はない人の割合が高くなっており、「500万円以上1000万円未満」の世帯では、約半数が健康で病気はないとしています。一方、「100万円未満」の世帯では、約10%が「重い病気がある」としており、他に比べて高くなっています。
- ・ 自分の性格では楽天的でマイペースな人の方が健康で病気はない人の割合が高くなっています。一方、ささいなことでも気になりくよくよする人の約9%は「重い病気がある」としており、他に比べて高くなっています。
- ・ 生活に充実している人の半数が、健康で病気はない人が半数を占めています。一方、生活に充実していない人の約19%は「重い病気がある」としています。

以上をまとめると、健康状態のよい人は、年齢が低い人の他、年収がある程度高い人や楽天的でマイペースである性格であり、生活に充実している人が多くみられます。

一般高齢者では、

- ・ 世帯の貯蓄額が「2000万円以上」の人は他に比べて健康で病気はない人の割合が高くなっています。一方、「貯蓄がない」人では、約14%が「重い病気がある」としており、他に比べて高くなっています。
- ・ 自分の性格では楽天的でマイペースな人の方が健康で病気はない人の割合が高くなっています。一方、ささいなことでも気になりくよくよする人の約20%は「重い病気がある」としており、他に比べて高くなっています。
- ・ 生活に充実している人の半数が、健康で病気はない人が半数を占めています。

以上をまとめると、健康状態のよい人は、世帯の貯蓄額が高い人や楽天的でマイペースである性格であり、生活に充実している人が多くみられます。

図表 530 【若年者】＜年代・性別、世帯の年収別、自分の性格別、生活の充実度別＞現在の健康状態[N=2,030]

		合計	病気がない	健康でこれといった病気がない	加齢に伴う衰えはあるが、同じ年代の人からすると元気	加齢に伴う衰えはない	あるが、生活に支障はない	ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない	重い病気がある	無回答
合計		2,030	770	477	689	60	34			
		100.0	37.9	23.5	33.9	3.0	1.7			
年代・性別	40～49 歳男	244	136	47	56	4	1			
		100.0	55.7	19.3	23.0	1.6	0.4			
	40～49 歳女	325	194	52	67	9	3			
		100.0	59.7	16.0	20.6	2.8	0.9			
	50～59 歳男	285	99	64	110	8	4			
		100.0	34.7	22.5	38.6	2.8	1.4			
	50～59 歳女	374	146	99	108	11	10			
		100.0	39.0	26.5	28.9	2.9	2.7			
世帯の年収別	100 万円未満	143	38	37	51	14	3			
		100.0	26.6	25.9	35.7	9.8	2.1			
	100 万円以上 300 万円未満	518	159	123	207	17	12			
		100.0	30.7	23.7	40.0	3.3	2.3			
	300 万円以上 500 万円未満	491	184	110	178	11	8			
		100.0	37.5	22.4	36.3	2.2	1.6			
	500 万円以上 1,000 万円未満	652	307	156	173	10	6			
		100.0	47.1	23.9	26.5	1.5	0.9			
自分の性格別	1,000 万円以上	190	71	43	67	6	3			
		100.0	37.4	22.6	35.3	3.2	1.6			
	不明	36	11	8	13	2	2			
		100.0	30.6	22.2	36.1	5.6	5.6			
	楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない	126	56	29	34	6	1			
		100.0	44.4	23.0	27.0	4.8	0.8			
	どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である	688	304	167	201	13	3			
		100.0	44.2	24.3	29.2	1.9	0.4			
自分の性格別	どちらともいえない	705	274	173	229	18	11			
		100.0	38.9	24.5	32.5	2.6	1.6			
	どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする	419	114	98	185	17	5			
		100.0	27.2	23.4	44.2	4.1	1.2			
	ささいなことでも気になり、くよくよする	66	17	7	35	6	1			
		100.0	25.8	10.6	53.0	9.1	1.5			
自分の性格別	不明	26	5	3	5	0	13			
		100.0	19.2	11.5	19.2	0.0	50.0			

		合計	健康でこれといった病気はない	加齢に伴う衰えはあるが、同じ年代の人からすると元気	加齢に伴う衰えはあるが、生活に支障はない	ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない	重い病気がある	無回答
生活の充実度別	充実している	396	199	86	105	4	2	
		100.0	50.3	21.7	26.5	1.0	0.5	
	どちらかといえば充実している	1,211	466	299	407	21	18	
		100.0	38.5	24.7	33.6	1.7	1.5	
	どちらかといえば充実していない	278	75	64	120	12	7	
		100.0	27.0	23.0	43.2	4.3	2.5	
	充実していない	108	20	18	47	20	3	
		100.0	18.5	16.7	43.5	18.5	2.8	
	不明	37	10	10	10	3	4	
		100.0	27.0	27.0	27.0	8.1	10.8	

図表 531 【一般高齢者】＜自分の性格別、世帯の貯蓄額別＞ 健康状態 [N=3, 259]

		合計	健康でこれといった病気はない	加齢に伴う衰えはあるが、同じ年代の人からすると元気	加齢に伴う衰えはあるが、生活に支障はない	ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない	重い病気がある	無回答
合計		3,259	408	804	1,494	280	273	
		100.0	12.5	24.7	45.8	8.6	8.4	
世帯の貯蓄額別	貯蓄がない	467	58	109	211	63	26	
		100.0	12.4	23.3	45.2	13.5	5.6	
	200万円未満	411	49	108	192	47	15	
		100.0	11.9	26.3	46.7	11.4	3.6	
	200万円以上 500万円未満	570	65	152	282	47	24	
		100.0	11.4	26.7	49.5	8.2	4.2	
	500万円以上 1,000万円未満	442	57	111	222	36	16	
		100.0	12.9	25.1	50.2	8.1	3.6	
	1,000万円以上 2,000万円未満	465	51	121	248	32	13	
		100.0	11.0	26.0	53.3	6.9	2.8	
2,000万円以上	462	89	121	199	35	18		
	100.0	19.3	26.2	43.1	7.6	3.9		
無回答	442	39	82	140	20	161		
	100.0	8.8	18.6	31.7	4.5	36.4		
自分の性格別	楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない	225	63	59	83	16	4	
		100.0	28.0	26.2	36.9	7.1	1.8	
	どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である	944	163	291	404	54	32	
		100.0	17.3	30.8	42.8	5.7	3.4	
	どちらともいえない	1,150	116	295	584	104	51	
		100.0	10.1	25.7	50.8	9.0	4.4	
	どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする	611	49	118	341	71	32	
		100.0	8.0	19.3	55.8	11.6	5.2	
ささいなことでも気になり、くよくよする	133	3	26	63	27	14		
	100.0	2.3	19.5	47.4	20.3	10.5		
無回答	196	14	15	19	8	140		
	100.0	7.1	7.7	9.7	4.1	71.4		

### 3. 若年者、一般高齢者の生活への充実について

生活への充実度が高い人の特徴としては、  
若年者では、

- ・ 世帯の1か月の生活費の額が高い人ほど、充実している人の割合が高くなっており、特に「40万円以上」では約91%が「充実している」または「どちらかといえば充実している」としています。一方、「10万円未満」では約28%が「どちらかといえば充実していない」または「充実していない」としています。
- ・ 自分の性格では楽天的でマイペースな人の方が充実している人の割合が高くなっていきます。一方、ささいなことでも気になりくよくよする人の約44%が「どちらかといえば充実していない」または「充実していない」としており、他に比べて高くなっていきます。

以上をまとめると、生活費にある程度ゆとりがある人や楽天的でマイペースな性格の人に生活の充実度が高い人が多くみられます。

一般高齢者では、

- ・ 若年者と同様に、自分の性格では楽天的でマイペースな人の方が充実している人の割合が高くなっていきます。一方、ささいなことでも気になりくよくよする人の約35%が「どちらかといえば充実していない」または「充実していない」としており、他に比べて高くなっていきます。

以上をまとめると、楽天的でマイペースな性格の人に生活の充実度が高い人が多くみられます。

図表 532 【若年者】＜世帯の1か月の生活費別、自分の性格別、現在の健康状態別＞生活の充実度 [N=2, 030]

		合計	充実している	いる え ば 充 実 し て	ど ち ら か と い え ば 充 実 し て い な い	い え ば 充 実 し て い な い	ど ち ら か と い え ば 充 実 し て い な い	い え ば 充 実 し て い な い	無回答
合計		2,030	396	1,211	278	108	37		
		100.0	19.5	59.7	13.7	5.3	1.8		
世帯の1か月の生活費別	10万円未満	138	26	70	19	20	3		
		100.0	18.8	50.7	13.8	14.5	2.2		
	10万円以上 20万円未満	580	86	362	91	31	10		
		100.0	14.8	62.4	15.7	5.3	1.7		
	20万円以上 30万円未満	762	140	456	111	43	12		
		100.0	18.4	59.8	14.6	5.6	1.6		
	30万円以上 40万円未満	381	100	223	39	10	9		
	100.0	26.2	58.5	10.2	2.6	2.4			
40万円以上	127	35	80	9	3	0			
	100.0	27.6	63.0	7.1	2.4	0.0			
無回答	42	9	20	9	1	3			
	100.0	21.4	47.6	21.4	2.4	7.1			

		合計	充実している	どちらかといえば充実している	どちらかといえば充実していない	充実していない	無回答
自分の性格別	楽天的でマイペース。人の目を余りにしない	126	44	54	15	12	1
		100.0	34.9	42.9	11.9	9.5	0.8
	どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余りにしない方である	688	180	428	51	22	7
		100.0	26.2	62.2	7.4	3.2	1.0
	どちらともいえない	705	129	450	90	24	12
		100.0	18.3	63.8	12.8	3.4	1.7
	どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする	419	35	236	105	34	9
		100.0	8.4	56.3	25.1	8.1	2.1
	ささいなことでも気になり、くよくよする	66	6	29	13	16	2
		100.0	9.1	43.9	19.7	24.2	3.0
	無回答	26	2	14	4	0	6
		100.0	7.7	53.8	15.4	0.0	23.1

図表 533 【一般高齢者】＜自分の性格別＞生活の充実度 [N=3, 259]

		合計	充実している	どちらかといえば充実している	どちらかといえば充実していない	充実していない	無回答
合計		3,259	656	1,813	347	170	273
		100.0	20.1	55.6	10.6	5.2	8.4
楽天的でマイペース。人の目を余りにしない		225	84	95	14	9	23
		100.0	37.3	42.2	6.2	4.0	10.2
どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余りにしない方である		944	236	580	67	18	43
		100.0	25.0	61.4	7.1	1.9	4.6
どちらともいえない		1,150	198	672	120	57	103
		100.0	17.2	58.4	10.4	5.0	9.0
どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする		611	84	331	98	53	45
		100.0	13.7	54.2	16.0	8.7	7.4
ささいなことでも気になり、くよくよする		133	19	45	23	24	22
		100.0	14.3	33.8	17.3	18.0	16.5
無回答		196	35	90	25	9	37
		100.0	17.9	45.9	12.8	4.6	18.9



## 4. 事業所について

事業所の月間収支についてみると、

- ・ 通所系サービス、短期入所サービス、施設系・居住系サービスは居宅介護支援や訪問系サービスに比べて、黒字の割合が高くなっています。一方、居宅介護支援では半数が「断続的な赤字である」なっています。
- ・ 運営主体別では、「社会福祉法人」、「医療法人」は他に比べて、黒字の事業所の割合が高くなっています。
- ・ 開設期間別でみると、開設期間が長くなるにつれ、黒字の事業所の割合が高くなっています。一方で、開設期間が「1年未満」の事業所の約42%が断続的な赤字となっています。

事業所の月間収支は、サービスの種別や運営主体、開設期間によって大きな違いがみられ、特に黒字の事業所は、通所系サービス、短期入所系サービス、施設系・居住系サービスの事業所に多くみられます。また、社会福祉法人や医療法人であったり、開設期間が長い事業所が多くなっています。

図表 534 【事業所】＜サービス種別、運営主体別、開設期間別＞月間収支の状況 [N=1,365]

		合計	黒字である	概ね均衡	現在は赤字だが、近々黒字になる予定である	ある 断続的な赤字である	無回答
合計		1,365	263	490	109	458	45
		100.0	19.3	35.9	8.0	33.6	3.3
サービス種別	居宅介護支援	310	23	91	20	168	8
		100.0	7.4	29.4	6.5	54.2	2.6
	訪問系サービス	362	59	138	27	122	16
		100.0	16.3	38.1	7.5	33.7	4.4
	通所系サービス	248	66	91	18	65	8
		100.0	26.6	36.7	7.3	26.2	3.2
運営主体別	短期入所サービス	90	34	33	9	12	2
		100.0	37.8	36.7	10.0	13.3	2.2
	施設系・居住系サービス	191	72	79	12	25	3
		100.0	37.7	41.4	6.3	13.1	1.6
	社会福祉法人	418	122	131	30	124	11
		100.0	29.2	31.3	7.2	29.7	2.6
運営主体別	医療法人	212	53	81	7	67	4
		100.0	25.0	38.2	3.3	31.6	1.9
	営利法人(株式会社、有限会社など)	620	74	241	66	221	18
		100.0	11.9	38.9	10.6	35.6	2.9
	NPO法人	33	1	13	1	15	3
		100.0	3.0	39.4	3.0	45.5	9.1
	その他の法人	67	12	21	4	28	2
	100.0	17.9	31.3	6.0	41.8	3.0	
無回答		15	1	3	1	3	7
		100.0	6.7	20.0	6.7	20.0	46.7

		合計	黒字である	概ね均衡	現在は赤字だが、 近々黒字になる 予定である	継続的な赤字で ある	無回答
開設期間別	1年未満	57	4	7	16	24	6
		100.0	7.0	12.3	28.1	42.1	10.5
	1年～3年未満	173	22	54	24	69	4
		100.0	12.7	31.2	13.9	39.9	2.3
	3年～5年未満	254	38	103	20	91	2
		100.0	15.0	40.6	7.9	35.8	0.8
	5年以上	864	196	324	49	269	26
		100.0	22.7	37.5	5.7	31.1	3.0
	無回答	17	3	2	0	5	7
		100.0	17.6	11.8	0.0	29.4	41.2

## 5. 従事者について

従事者について、今後も現在の職場で介護の仕事を継続したいとする人の特徴としては、

- 年齢が高いほど、現在の職場での介護の仕事の継続意向が高くなっています。一方、20代では「続けたいが、続けるのは難しい」人の割合が約28%と他に比べて高くなっています。また、別の職場で続けたい、続けたくないといった、現在の職場を希望していない人が半数弱を占めています。
- 介護職の人の月収別では、概ねどの月収でも、今の職場で続けたいとする人の割合が最も高いものの、「15万円以上20万円未満」、「20万円以上25万円未満」の人は、「続けたいが、続けるのは難しい」とする人の割合が約26~28%と他に比べて高くなっています。
- 介護の仕事をするうえでの、悩みや不安、負担感の有無では、特になく大半が今の職場で続けたいと考えています。一方、続けたいが、続けるのが難しいと考えているのは、勤務時間や体力的な負担などを感じている人、雇用の不安定さに不安を感じている人、能力やキャリアアップに対する不安を感じている人、仕事自体にやりがいを感じられない人などがあげられます。

今後も現在の職場で介護の仕事を続けたい人は、比較的年齢が高い人が多くなっているものの、生計の柱となる人については、ある程度の収入がないと継続が難しいと考えている人が多いことがうかがえます。なかでも比較的若い男性や月収が「15万円~25万円」の層は継続が難しいとしています。また、勤務時間などへの不満や雇用形態の不安定さ、キャリアアップなど将来に対する不安、仕事へのやりがいを感じていないことが継続への障害となっている人が多いことから、これらの環境を改善することが継続につながると考えられます。

図表 535 【従事者】＜年齢別、介護職員の月収別、介護の仕事をするうえでの、悩みや不安、負担感の有無＞  
介護の仕事の継続意向 [N=3, 379]

		合計	け たい 今 の 職 場 で 続	け たい 別 の 職 場 で 続	続 け たい が、 し い 続 け る の は 難	続 け たい が、 続 け たい が、	続 け た く な い	無 回 答
合計		3,379	2,070	321	679	159	150	
		100.0	61.3	9.5	20.1	4.7	4.4	
年齢別	～29 歳	518	252	74	143	32	17	
		100.0	48.6	14.3	27.6	6.2	3.3	
	30～39 歳	915	551	99	198	37	30	
		100.0	60.2	10.8	21.6	4.0	3.3	
	40～49 歳	890	559	83	173	39	36	
		100.0	62.8	9.3	19.4	4.4	4.0	
	50～59 歳	730	477	51	126	34	42	
	100.0	65.3	7.0	17.3	4.7	5.8		
60 歳以上	286	209	12	35	14	16		
	100.0	73.1	4.2	12.2	4.9	5.6		
無回答	40	22	2	4	3	9		
	100.0	55.0	5.0	10.0	7.5	22.5		
介護職員の月収別	5 万円未満	61	43	4	7	5	2	
		100.0	70.5	6.6	11.5	8.2	3.3	
	5 万円以上 10 万円未満	236	165	18	44	3	6	
		100.0	69.9	7.6	18.6	1.3	2.5	
	10 万円以上 15 万円未満	281	178	32	42	10	19	
		100.0	63.3	11.4	14.9	3.6	6.8	
	15 万円以上 20 万円未満	683	357	78	192	36	20	
		100.0	52.3	11.4	28.1	5.3	2.9	
	20 万円以上 25 万円未満	431	256	36	111	17	11	
		100.0	59.4	8.4	25.8	3.9	2.6	
	25 万円以上 30 万円未満	157	104	12	27	8	6	
		100.0	66.2	7.6	17.2	5.1	3.8	
	30 万円以上 40 万円未満	52	38	5	4	4	1	
	100.0	73.1	9.6	7.7	7.7	1.9		
40 万円以上 50 万円未満	6	5	1	0	0	0		
	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0		
50 万円以上	4	2	0	2	0	0		
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
無回答	24	15	2	4	3	0		
	100.0	62.5	8.3	16.7	12.5	0.0		

	合計	今の職場で続 けたい	別の職場で続 けたい	続けたいが、 難しい	続けたいが、 続けるのは難 しい	続けたくない	無回答
介護の仕事をするうえで、 悩みや不安、負担感の有無別	仕事内容のわりに給与が少ない	2,003	1,073	255	515	117	43
		100.0	53.6	12.7	25.7	5.8	2.1
	社会保険や福利厚生などの制度が不十分	682	347	99	186	28	22
		100.0	50.9	14.5	27.3	4.1	3.2
	労働時間が長い	579	265	90	170	33	21
		100.0	45.8	15.5	29.4	5.7	3.6
	労働時間が不規則である	581	298	66	171	36	10
		100.0	51.3	11.4	29.4	6.2	1.7
	早朝、夜間勤務がある	243	101	28	87	23	4
		100.0	41.6	11.5	35.8	9.5	1.6
	有給休暇がとりにくい	1,568	836	195	407	94	36
		100.0	53.3	12.4	26.0	6.0	2.3
	雇用が不安定である	461	209	72	147	20	13
		100.0	45.3	15.6	31.9	4.3	2.8
	正社員、正職員になれない	159	75	33	42	4	5
		100.0	47.2	20.8	26.4	2.5	3.1
	自分の資格や能力が評価されない	503	204	98	163	34	4
		100.0	40.6	19.5	32.4	6.8	0.8
	昇進などのキャリアアップが望めない	623	275	96	204	38	10
		100.0	44.1	15.4	32.7	6.1	1.6
	自分の能力を伸ばす時間がとれない	693	376	90	184	28	15
		100.0	54.3	13.0	26.6	4.0	2.2
	仕事の内容に展望がもてない	753	269	123	263	79	19
		100.0	35.7	16.3	34.9	10.5	2.5
	介護の仕事の内容などについて、一般の人に十分理解されていない	1,241	747	118	306	52	18
		100.0	60.2	9.5	24.7	4.2	1.5
	責任が重すぎる	1,065	531	133	304	74	23
		100.0	49.9	12.5	28.5	6.9	2.2
	職員同士の人間関係がうまくいかない	448	211	84	128	17	8
		100.0	47.1	18.8	28.6	3.8	1.8
	介護の知識や技能について未熟な職員が多い	969	531	129	233	53	23
		100.0	54.8	13.3	24.0	5.5	2.4
	利用者の家族との対応がうまくいかない	250	126	26	70	19	9
		100.0	50.4	10.4	28.0	7.6	3.6
	利用者とのコミュニケーションがうまくいかない	159	85	19	39	11	5
		100.0	53.5	11.9	24.5	6.9	3.1
	仕事がつきつく体力的な負担が大きい	1,032	468	125	352	68	19
		100.0	45.3	12.1	34.1	6.6	1.8
	仕事と家庭の両立が難しい	846	413	111	253	50	19
		100.0	48.8	13.1	29.9	5.9	2.2
	仕事にやりがいがない	304	68	72	106	51	7
		100.0	22.4	23.7	34.9	16.8	2.3
IT化が遅れている・手書きの書類が多い	601	309	85	165	35	7	
	100.0	51.4	14.1	27.5	5.8	1.2	
パソコンを使う作業が難しい	471	304	41	92	23	11	
	100.0	64.5	8.7	19.5	4.9	2.3	
資格や契約に基づく内容以外の仕事をさせられる	377	163	62	119	27	6	
	100.0	43.2	16.4	31.6	7.2	1.6	
その他	351	159	47	111	26	8	
	100.0	45.3	13.4	31.6	7.4	2.3	
特にない	607	484	28	69	17	9	
	100.0	79.7	4.6	11.4	2.8	1.5	
無回答	129	47	0	4	2	76	
	100.0	36.4	0.0	3.1	1.6	58.9	

従事者の、収入、労働時間、福利厚生、仕事の内容、職場の人間関係、利用者との関係についての満足度指標（「非常に満足」＋「満足」）－（「やや不満」＋「非常に不満」で計算した数値）をみると、

- ・ 職種別では、どの職種も職場の人間関係や利用者との関係については、満足度指数が高くなっています。一方、収入や福利厚生については、どの職種も満足度指数が低くなっています。特に相談員、介護職員では指数が低くなっています。労働時間については、満足度指数が低いのは、管理職、相談員、介護職員となっており、労働時間の満足度指標が低い職種と収入の満足度指数が低い職種が概ね同様の傾向となっています。その他、仕事の内容については、介護職員の満足度指数が低くなっています。
- ・ 現在の職場での今後の就労意向別にみると、職種別同様、利用者との関係については、おおむね満足度指数が高くなっています。一方、収入については、今後続けたい人も転職を希望する人も満足度指数が低くなっています。転職希望を持っている人や継続が難しいと考えている人は、労働時間に対する満足度指数がかなり低くなっています。また、仕事の内容についても満足度指数が低くなっています。

従事者については、収入と労働時間に対する満足度の関係性がやや強いことがうかがえます。また、相談員や介護職員の満足度が相対的に低いことがうかがえます。また、現在の職場で継続できるかどうかは労働時間、仕事の内容、職場の人間関係に対する満足度が影響していることがうかがえます。

図表 536 【従事者】＜職種別別、現在の職場での今後の就労意向別＞満足度指数  
（「非常に満足」＋「満足」）－（「やや不満」＋「非常に不満」で計算した数値）

		収入	労働時間	福利厚生	仕事の内容	関係 職場の人間	関係 利用者との
合計		-37.6	-7.6	-17.2	1.0	24.6	44.8
職種別	管理者	-22.3	-14.0	-18.3	19.5	35.8	57.3
	介護支援専門員	-24.4	0.0	-13.5	6.1	28.2	47.5
	相談員	-42.4	-16.6	-21.7	6.2	24.3	59.6
	看護職員	-13.2	0.2	-18.6	4.3	31.7	42.5
	介護職員	-48.6	-12.6	-20.2	-5.3	21.2	42.5
	その他	-37.7	-4.9	-18.7	14.0	24.2	53.3
就労意向 現在の職場での今後の	今の職場で続けたい	-23.3	5.7	-6.1	19.6	37.4	52.2
	続けたいが、別の職場で続けたい	-68.6	-33.0	-44.5	-37.4	-10.3	37.2
	続けたいが、続けるのは難しい	-63.8	-32.2	-34.3	-27.4	9.7	37.2
	続けたくない	-57.2	-22.0	-35.8	-39.7	-5.7	5.7